始

柑橘害蟲調査報告

大正五年三月（出版第八九號）

柑橘害蟲調査報告

大正五年三月（出版第八九號）

緒言

本報ハ技手故新渡戸稻雄ガ生前ニ提出セシモノニシテ臺灣産柑橘害蟲ヲ網羅シ之ヲ通俗的ニ記述シ重要害蟲ノ寫眞ヲ添附セリ、附錄ニハ技師素木得一及故新渡戸稻雄ノ施行セシ青酸瓦斯燻蒸試驗及天牛類驅除豫防試驗ノ成績ヲ登載セリ、本島害蟲驅除豫防上ノ參考ニ資センガ爲メ印刷ニ附シ以テ當業者ニ頒ツ

大正五年三月

臺灣總督府農事試驗場

正　誤　表

頁	行	誤	正
12	8	Aleuroidae	Aleurodidae
14	19	Capaea	Cappaea
16	5	bilinae	bilinea
37	12	體一分	體長一分
39	2	eayptiaca	egyptiaca
46	9	Ceroplestes	Coroplastes
50	14	化發ス	發生ス
51	4	成蟲期	成蟲期
51	14	aurantü	aurantii
66	7	薔　薇	茶　樹
68	2	persiae	persicae
70	8	否　ヤ	削除ス
70	12	華　棉	草　棉
74	—	圖版ハ こみかん	あぶらむしナリ
75	10	flovescens	flavescens
76	4	卵子ヲ下ス	卵子ヲ產下ス
89	7	Lithacolletis	Lithocolletis
102	2	Narasa	Narosa
136	2	Oplinsa	Ophiusa
155	7	viridescene	viridescens
190	6	citri.	citri
附　錄			
14	9	分子里	分子量
18	8	現　像	現　象
26	7	弱用酸性	弱酸性
32	9	Barlett	Bartlett
表(第四區)		最後ノ行 … 結合ハ結實ノ誤	
93	1	現像	現　象

柑橘之害蟲調查報告

目次

柑橘之害蟲調査報告

技手　新渡戸稻雄

一　總論

柑橘ハ本島主要農産物ノ一ナリ、本島人古來是ヲ嗜食スルノミナラズ、正月ノ吉例必ラズ是ヲ用ユルノ慣例アリ、而シテ是ニ投ズル金モ、内地ニ於テハ見ルベカラザル高價ヲ拂ヒテ尙恬然タリ、サレバ總督府ニ於テモ、地方廳ニ於テモ是レガ栽培ニ適スル地ヲ擧ゲテ柑橘園ニ當テントシ、極力奬勵シタル結果、明治三十七年ノ調査ニ於テ栽培面積三百十七甲歩ナリシガ大正二年ニハ一千七十九甲歩即チ十年間ニシテ三倍餘ニ進ミタリ、今ヤ瓤囊薄スク酸味少ナク多漿ナル等ノ故ヲ以テ、内地ニ於テ盛ンニ歡迎セラル、以テ斯業ノ前途ヲ卜知スルヲ得ベシ

又是ヲ價格ノ點ニ於テ視ルモ明治三十七年代ハ一斤ニ付平均四錢一厘强ナリシモ、大正二年ニハ一斤ニ付、平均六錢二厘强ヲ示シ、大正三年ニハ椪柑ノ如キ一斤ニ付八錢内外ヲ唱フルニ到レリ、

以テ斯業ノ膨脹ハ、尚充分需用ニ應ジ兼ヌルヲ視ルニ足ルベシ、然ルニ是ヲ生産ノ方面ヨリ視ル時ハ一甲當平均五千九百五斤ニシテ、是ヲ一甲歩植付本數六百本ニ割當ツルトキハ約一本十斤平均トナル、今是ヲ更ニ幼木ニシテ結實セザル樹數半アリト假定スルモ、尚一本當リ二十斤ニ過ギズ、是ヲ内地ニ於ケル紀州ニ比較スレバ、二分ノ一弱（紀州蜜柑一甲當一萬五千七百八十斤　温州蜜柑一甲當一萬千四百十斤）ニ當リ如何ニモ奇異ノ觀ニ堪ヘザランモ實地ニ當リテ原因ヲ探究スレバ、思ヒ半ニ過グルモノアルベシ、今左ニ少シク原因タルベキモノヲ開陳スベシ

一　手入、稀レニ熱心ナルモノアリテ、本島ノ如キ雜草ノ生ジ易キ地ニアリテスラ、園内ニ一草ヲ見ルコト能ハザル迄ニ、周到ナルモノアリト雖ドモ、多クノ者ハ、草茫々タルカ、或ハ密植ノ結果、陰地ト成リテ雜草ノ繁茂セザル類ノミ、又、落葉落果ノ如キ枯死セル枝ノ如キモノニ對シテモ殆ンド念頭ニ置カズ、又、紀州ニアリテハ主ニ傾斜セル土地ニ栽培スレ共、土壤ノ乾燥ヲ憂ヒテ地面ニ雜草及藁ヲ敷布ス、然ルニ本島ニテハ、此注意ナク、痔薄乾燥ノ地ニ植ユルガ故ニ傾斜地ヨリモ地下水高キ平地ヲ可トスルモノアルニ至レリ、桃園廳下、石崗仔ノ柑橘園ヲ踏査セバ土地肥沃ニシテ適當ノ濕氣ヲ有スル傾斜地ノ如何ニ有利ナルカヲ知ルニ足ルベシ

二　剪定、未ダ曾テ本島人ノ柑橘樹ヲ剪定セルヲ見タルコトナシ、接穂ヲ採集スルカ、或ハ近來内地人ノ嗜好ニ投ゼンガ爲メニ、二三葉ヲ附ケテ採果スルノミ

三　施肥、他作物ニ比シテ割合ニ多量ノ肥料ヲ施用スレドモ、多クハ人糞尿ノミニシテ、一方ニ成分ノ偏セルヲ悟ルモノ甚ダ稀レナリ、又屎肥或ハ堆肥ヲ根元ニ散布シ置クモノアリト雖モ、是等ハ宅地内ニ栽培セラルルモノニ限ルト云フモ可ナリ

四　株間、近來一甲ニ對シ六百本ヲ適數トナシテ奬勵ス、本島人間ノ習慣ハ、一甲ニ對シ八百本乃至千二百本ニシテ、千本ヨリ千二百本ヲ植ユルヲ常トス、是重大ナル理由ノ存スルコトニシテ輕輕ニ閑却スベキモノニ非ラズ、小職ノ觀察ヲ左ニ記サン

（イ）樹齡短カキコト、植付後三年目ヨリ結實ヲ初メ、七八年目ヨリ多産期ニ入リ、十二三年目ヲ以テ絶頂トナス、夫レヨリ漸次下降シテ二十年ニ達スレバ殆ンド廢物同然トナルベシ、小職ノ巡廻中二十五年乃至三十年木ヲ見ルコトアリト雖トモ、阿緱廳鹿寮地方ノモノヲ除カバ斯カル老木ハ全ク收支相償ハザルガ如シ、然ルニ是ヲ紀州ノモノニ見レバ、植付後三年目ヨリ結實シ九年目頃ヨリ多産期ニ入リ、十五年目ヨリ二十五年目迄ヲ絶頂期トナシ、四十年ヲ超ユルト雖ドモ、尚收支相償フ、海草郡ニアルモノヽ如キハ二百年ニシテ、尚相當利益ヲ擧ゲツヽアル樹アリ之レ本島ハ紀州ニ比シ温暖ナルガ故ニ、樹ノ早熟スルコトアルベシト雖ドモ其差餘リニ懸隔アリ、殊ニ鹿寮ノ例ニ依ルモ其原因ナカルベカラズ、前年紀州ノ柑橘園ニ附キテ害蟲ノ調査ヲナセルニ介殼蟲ノ寄生ヲ受ケザルモノ多ク、又假令寄生ヲ受ケタル樹ト雖ドモ、介殼蟲少數

ニシテ點々附着シ居ルノミニシテ、本島ノ柑橘園ヲ見タル眼ニハ殆ンド介殼蟲ノ存在ヲ認ムルニ足ラザル有樣ナリ、是レ樹齡ヲ短縮シ樹ノ發育ヲ抑制シタル最大因由ナルベキヲ信ズ、是ガ引ヒテ多年ノ經驗上、株間ヲ短縮スルノ慣習ヲ生ゼシメタルモノナルベシ

(ロ) 栽培上ノ注意、本島人ノ一技一藝ニ達スルコトノ深ク、此點ニ於テハ內地人ノ遠ク及バザルコト多シ、然リト雖ドモ大綱ニ眼ヲ注ギ、尙進ンデ活用ノ才ニ至リテハ遠ク內地人ニ及バズ、今此性質ノ表現トシテ、柑橘樹ヲ密植スルノ有利ナルヲ知リテ、何ガ故ニ柑橘樹ノ發育不良ニシテ樹齡短カキヤヲ探究スルニ及バザル、是レ第二ノ原因タラザルベカラズ

五 柑橘栽培ニ關スル知識、園藝作物ヲ作ルモノハ普通作物ヲ作ルモノヨリハ、一段ノ知識ト技能ヲ要スルハ一般ニ認ムル所タルベシ、然ルニ本島人ノ果樹ニ對スル觀念ハ、本島ニ於ケル主要果樹芭蕉、龍眼、檬果、蓮霧、楊桃、柿等ノ現狀ヲ視テモ想像シ得ラルベシ、殆ンド野生ノ狀態ト撰ブナシ、柑橘ヲ夫レ等ニ比スレバ稍注意ヲ拂フト云フニ過ギズ未ダ如何ニセバ可ナルヤノ問題ニ入ルコト遙遠ナリ

六 樹ニ對スル愛情、人ト人トノ間、人ト家畜トノ間ニノミ愛情アルモノニ非ラズ、又其反響右二者ノ場合ノミニ限ラザルベシ、人ト植物間ニ於テモ是ンノ視ント欲ス、栽培家中第一流トシテ許サルヽモノヽ行動及、其ノ作物ニ對スル態度ヲ視レバ能ク此間ノ消息ヲ窺知シ得ベシ、此點ニ於

テ本島人ノ樹ニ對スル愛念ノ缺乏ヲ認メザル能ハズ

七 販賣上ノ缺陷、貧者ハ一日モ早ク金ヲ得ンコトヲ欲シ、富者ハ價ノ上昇ヲ待チテ永ク樹上ニ置クヲ普通トス、前者ニアリテハ果實ノ未ダ成熟セザル內ニ賣却セザルベカラズ、又最モ騰貴スルヲ待タンニハ、舊正月トナル、前者ニアリテハ品質ノ如何ニヨリテ價格ヲ定ムル能ハズ、後者ニアリテハ樹勢ト著シク關係ス、殊ニ甚ダシキハ收穫ノ多キヲ望ミテ樹勢ノ衰退ニ思ヒ及バズ、前年迄ハ見事ナリシ園モ、豐產ナリシ翌年ハ介殼蟲ノ跳梁跋扈ニ遇ヒ、再ビ起ツ能ハザラシムルヲ普通トス、樹勢ニ應ジテ摘果ヲナスガ如キハ未ダ曾テ見ザル所ナリ、加フルニ需要者ノ多クハ品質ノ如何ヲ多ク問ハザルガ故ニ、商人ハ唯目方ニ重キヲ置キ介殼蟲ノ附着果實ノ外觀及ビ果ノ大小、不齊等ヲ重視セザルガ故ニ、良果ヲ出サントスル念慮ニ缺乏ス

以上ノ理由ニヨリ本島ノ柑橘栽培業ハ、栽培甲數ヲ增加スレドモ其割合ニ增收ナク、賣價昇騰スレドルモ利益少ナシ、是レガ救濟策トシテハ肥培ノ方法ヲ改良スルト共ニ、蟲害ヲ除去スルニ勉ムルヲ肝要トス、特ニ介殼蟲類ニ對シテ最モ注意ヲ拂フノ必要ナルヲ感ズ、夫レ害蟲ニ對スルノ方策タルヤ多岐多樣ニシテ容易ニ論斷シ難シト雖ドモ、要ハ其習性ヲ究メ長所ヲ利用シ短所ヲ衝クノ他ニ出デズ然リト雖ドモ唯單ニ蟲害ヲ除キタレバトテ夫ニテ充分ナリト云フベカラズ、其結果タルヤ最モ經濟的ナラザルベカラザルニアリ、何ントナレバ經濟ヲ離レテ農業ハアレドモ、經濟ヲ離レ

テ害蟲驅除ナケレバナリ、害蟲驅除豫防ノ策タル宛ラ人類ニ於ケル醫術ノ如ク、畜類ノ醫師ヲ獸醫ト云フニ對シ、植醫ト云フヲ得ベキカ、從テ其方法モ略相同ジ、假令肺病患者ニ對シテ營養療法ヲ用ユルガ如ク介殼蟲ノ寄生ニ對シテハ樹勢ヲ旺盛ナラシムレバ其繁殖ヲ抑制シテ敢テ樹ノ衰フルヲ見ズ、又外科手術ヲ行フニ當リ健康ノ良否ニ重キヲ置クガ如ク樹ノ旺盛ナレバ、枝葉ヲ食害サレタリトテ其恢復早クシテ樹勢ニ影響スルコト少シ、又免疫性ヲ有スルモノハ病毒ニ對シテ強キガ如ク樹種ニ依リテ蟲害ニ對スル抵抗力ニ甚ダシキ差等アリ彼ノ有名ナルふるろさせらニ對シ米國種葡萄ノ如キ又ハ苹果ノ線蟲ニ對シのるざらんすばい種アリ、二點小綠橫這ニ對シ、印度綿アルガ如シ、又場合ニ依リ藥劑ヲ以テ直接病原菌ヲ驅殺スルガ如ク、害蟲ノ場合モ種類ニヨリテ藥劑ヲ用ユルヲ有利トスル場合アリ、又病菌ニ對シ白血球ノ强敵アルガ如ク、害蟲ニ對シテヨリ多クノ强敵アリ、農家ハ是レヲ稱シテ益蟲ト呼ブ、又黴菌類ノ寄生シテ斃スモノ甚ダ多シ、是等ヲ總稱シテ天敵又ハ自然的驅除者ト云フ、又病菌ヲ日光ニ晒シテ殺スガ如ク、土中ノ害蟲ニ對シテ乾燥過濕及乾濕ト溫度ノ激變等ニ遇ハシメテ斃スコトアリ、又醫師ガ齒ノ更新或ハ腫物ノ場合手ニテ處理シ、敢テ器具藥劑ノ力ヲ藉ラザルコトアリ、害蟲ニ於テモ亦然リ又手ヲ用ヒテ驅除スルコトノ充分有利ナル場合アリ、世人多ク素人ノ方法トナスト雖ドモ醫師ノ貴キハ早カラズ晩カラズ適當ノ時ニ手ヲ下スニアリ、又醫師ハ往々民間療法ニ注意ヲ拂フガ如ク、舊來ノ方法中甚ダ有効ナルモノアリ、即チ浮塵子

ニ對スル注油驅除法ノ如シ、又醫師ハ患者ノ性質ニ鑑ミテ萬事酌酌スルガ如ク害蟲驅除ノ實行ニ當リテモ、地方人ノ習慣生計ノ程度、其他四圍ノ事情ニ依リ、其方法ヲ異ニセザルベカラズ、某害蟲ニ對シ外國ニテハ藥劑ニテ驅除スルヲ最モ有利ナリトスレドモ、本島ニテ必ラズシモ其方法有利ナリト云フベカラズ、又醫師ハ病菌ノ跋扈期ニ當リテ注意シ、病菌ノ鋭鋒ヲ避クルガ如ク、作物ノ栽培モ亦害蟲ノ生存ニ最適ノ時期ヲ避クルカ或ハ其期節ニ當リテ、蟲害ニ堪ヘ得ル狀態ニアラシムルノ方法ヲ講ズル場合アリ、又、輪作法、食物誘引法、潛所誘殺法等ヲ應用スルアリ、又醫師ハ衞生機關ノ設備ヲ稱フ、害蟲ニアリテモ一害蟲ハ必ラズシモ一種ノ植物ノミニテ滿足スルモノ少シ、一點大螟蛾ノ如ク稻ノ他ハ食セザルモノアリト雖モ、綿吹介殼蟲ノ如ク數十種ノ植物ヲ嗜食スルモノアリ、故ニ一作物ヲ栽培スルニ當リ、其附近ニ該作物ノ主要害蟲ノ食スルモノヽアリタル場合、又ハ害蟲ノ潛伏ニ適スル場所ヲ存スル場合、又ハ害蟲ノ生存ニ適スルガ如キ栽培法、其他害蟲ノ生存ニ適スル狀態ナルヤ否ヤニ注意スルヲ要ス、次ギニ衞生思想ノ普及最モ肝要ナリト云フガ如ク、害蟲驅除事業モ亦、害蟲ニ關スル知識ノ普及ヲ以テ最要ノ問題トナス、尙是ヲ概括スレバ人醫ハ經濟ヲ離レテ尙存在スベキモ、植醫ハ經濟ヲ離レテ起ツ能ハズ、左レバ天敵ノ利用ト、蟲害ノ少ナキ作物ノ作出ヲ以テ最モ有利トナシ、右二法ノ行ハレザル間ハ、其時代ニ應ジテ最モ有利ナル除害法ノ講究ニ務メ適法ヲ適時ニ行フノ他ナカルベシ、此ノ適法ヲ適當ノ時期ニ行ハシメントスレバ農家ニ

害蟲ニ關スル知識ヲ涵養セシムルノ外他ニ途ナシ、

二、本島產柑

- 根ヲ侵スモノ……
- 枝幹ヲ侵スモノ……
  - 皮部ヲ侵
  - 材質部ヲ
- 枝ヲ侵スモノ……
- 枝葉ヲ侵スルモノ……
  - 咀嚼口ヲ有
  - 吸收口ヲ有

柑橘害蟲索引

- 葉ヲ侵スモノ……
  - 吸收口ヲ有
- 葉果ヲ侵スセノ……
  - 吸收口ヲ有
  - 咀嚼口ヲ有
- 果實ヲ侵スモノ……
  - 吸收口ヲ有
  - 咀嚼口ヲ有

島産柑橘害蟲索引表

- 侵スモノ
  - 皮部ヲ侵スモノ
    - 咬食スルモノ
      - 體長一厘内外鬚根ニ頭部ヲ挿入シテ喰フ體形蚯蚓狀ノモノト蠶狀ナナセルモノノ二形アリ何レモ白色ニシテ稍ヤ透明ナリ　……みかんせんちゅ
      - 體長二厘弱普通根ノ皮部ヲ侵ス白色ニシテ透明ハ脚ヲ有ス　……みかんねくひだに
      - 體長五六分乳白色ニシテ頭部小、眼大ニシテ凸出シ前肢著シク肥大シ蟾蜍ノ前肢ノ如ク捕獲肢ヲナシ地上ヲ歩行シ能ハズ　……こにいにいぜみ
      - 前種ニ酷似シ少シク細長ナリ　……はどろもぜみ
    - 滋液ヲ吸收スルモノ
      - 體長一分五厘内外帶褐暗白色ニシテ頭部球狀胸部細短腹部膨大シテ翅ナク泥土ヲ運ビ其下ニアリテ加害シ社會的生存ヲナス　……ひめしろあり
    - 表面ヨリ内部ニ及ボスモノ
      - 帶褐黄白色ニシテ二寸五六分ニ長ズ圓筒狀ニテ無脚材質部ヲ食ヒテ生活シ鋸屑樣ノ糞ヲ幹外ニ排泄ス　……どまだらかみきり
      - 體長七八分ニ達ス、乳白色ニシテ細長圓筒狀ニシテ無脚材部ヲ食ヒ細末ノ糞ヲ幹外ニ排除ス　……とびいろひめかみきり
      - 成蟲ハ體長六分内外、稍ヤ長方形ニシテ茶褐色ノ不規則斑紋アリ觸角ハ黑ト灰白色ノ疏ヲナセリ、幼蟲ハ乳白色ニシテ一寸内外ニ長ズ無脚ナリ　……ちゃまだらかみきり
  - 主ニ幹部ヲ侵スモノ
    - 主ニ枝條ヲ侵スモノ
      - 體長六七分ニ達ス無脚ニシテ扁平乳白色ニシテ胸部廣大腹部狹長樹皮下ニアリ材質部ヲ旋食シ食痕内ニ糞ヲ密積ス　……みかんながたまむし
      - 枝幹ニ小孔ヲ穿チテ食入ス、體長一分弱ノ甲蟲ニシテ全體黑ク小豆狀ヲナス、徑五六厘ノ直ナル孔道ヲ作リテ食害ス、食痕黑色ヲ呈ス　……みかんひめしんくひ
    - 稚枝ヲ縦ニ裂クモノ
      - 鋸蟷ニ似テ細長後肢著シク長クシテ雌ハ尾端ニ扁平鋸狀ノ産卵器ヲ有ス　……くだまきもどき
      - 數箇ノ凸起アリテ星狀ヲ呈ス　……かめのかふらふむし
      - 徑一分内外、桃色ノ蠟質分泌物ニテ扁平短大翅鞘圓形ニシテ割合ニ大、頭部短廣ニシテ眼大群居ス、成蟲ハ灰黑色ニシテ一分内外、翅ヲ直立シテ枝葉上ニアリ　……ももいろふかひがらむし
  - 固定滋液ヲ吸フモノ
    - 體長六七厘淡褐色ニシテ腰部少シク透明ナリ　……みかんあざみうま
    - 體長一分弱紅褐色ニシテ光澤アリ、脚肥大ナリ　……ひめあかあり
    - 體長二分五厘内外橙紅色ニシテ各體節ノ兩側ヨリ綿絮ヲ分泌シ、内後部ノ十五條ハ伸長シテ卵囊ヲ構成ス、尙體面ニハ毛及白粉ヲ有ス　……わたふきかひがらむし
    - 幼蟲時代ハ全體紅色ナルモノアリ、成蟲トナレバ黑色トナリ、總狀ノ翅ヲ生ズルノミ、形ニ於テ變セズ、體長一分内外細長ナリ　……をかだわたふきかひがらむし
    - 大運動不活潑ナリ　……みかんわらぢかひがらむし
    - 體長一寸餘、本邦産蟋蟀中最大ニシテ穴居シ褐色ニシテ光澤アリ、脚肥大　……わらぢかいがらむし
    - 前種ニ似テ扁平綿絮ハ黄色ヲ呈ス、卵囊ハ腹面ニ形成セラレ粗末ナリ、體側ヨリ分泌スル綿絮束ハ伸長シテ施捻シ卵囊ノ特ニ長フシテ尾狀ヲ呈ス、體下ニ産卵ス　……みかんかひがらむし
    - 前種ニ酷似シ更ニ扁平小形、地色暗黑、體側ヨリ生ズル綿絮中尾節ノモノ特ニ長フシテ尾狀ヲ呈ス、體下ニ産卵ス　……をながわらぢかいがらむし
    - 體長二分五厘内外、扁平楕圓ニシテ脚及觸角眼口等ハ黑ク其他ノ部分ハ白粉ヲ裝フ　……みかんこなかいがらむし
    - 滋液ヲ吸收スルモノ（介殼ヲ有セザルモノ）
      - 楕圓形ニシテ扁平帶綠暗褐ニシテ稍ヤ木葉狀ヲ呈ス、充分成長スレバ一分内外ニ及ビ背面少シク隆起シ、淡褐色ニシテ長楕圓形、一分二厘内外ニ及ビ殼下ニ産卵ス　……かめのこかいがらむし
      - 圓形ニシテ殼徑四五厘灰白色ナリ枝ニ普通ナルモ又果面ニモ寄生ス　……ふとながかいがらむし
      - 介殼ハ圓形扁平ニシテ殼徑四五厘淡褐色ナリ　……はひいろまるかいがらむし
      - 殼長七八厘半球狀ニシテ濃褐色滑澤ニシテ殼内ニ卵子ヲ充積ス　……あかまるかひがらむし
      - 成蟲ハ有翅ノモノハ黑色カ、黑褐色ニシテ光澤アリ、脚ハ黄色、無翅ノモノハ黑色、有翅ノモノハ黑褐色、光澤アリ、脚ハ黄色、幼蟲ハ赤褐色、脚ハ褐節　……みかんたまかひがらむし
      - 密集シ活動シツヽ滋液ヲ吸フ　……みかんあぶらむし
      - 成蟲、有翅ノモノハ眞黑色ニシテ光澤アリ、脚ハ淡黄、無翅ノモノハ暗黑又ハ黑褐色ニシテ脚ハ有翅ノモノト等シ、幼蟲ハ帶褐黄綠色、灰褐又ハ灰赤色、脚ハ淡黄　……こみかんあぶらむし
      - 固定シ滋液ヲ吸收スルモノ（介殼ヲ有ス）
        - 咀嚼口ヲ有スルモノ
          - 嫩芽ヲ咬切スルモノ
            - 體長二分五厘内外、扁平楕圓ニシテ脚及觸角眼口等ハ黑ク其他ノ部分ハ白粉ヲ裝フ　……みかんとげかめむし
            - 前種ニ酷似シ背面少シク隆起シ、淡褐色ニシテ長楕圓形、一分二厘内外ニ及ビ殼下ニ産卵ス　……こきしもふりかめむし
          - 皮部ヲ咬食スルモノ
            - 體長七分内外稍方形ナシ全體黑色ニシテ黄褐ノ小斑點ヲ密布シ、肩部鈍角ニシテ捕ヘレバ悪臭ヲ放ツ、前翅ノ先端膜質ナリ　……きしもふりかめむし
            - 全體黑色ニシテ腹部ノ背面ニ淡褐色ノ短毛ヲ密生ス、胸背ニ二對、腰部ニ一對ノ刺アリ、脚ハ細長、體長二分五厘内外　……くろとげあり
            - 體長一分二三厘、細長扁平黄白色ノ蟲ニシテ表皮下ニ沿ヒ葉肉ヲ食ヒ廻リ、白色ノ蟲疵ヲ印ス、葉ハ爲メニ縮ムモノ多シ　……みかんはむぐりが
            - 枝葉ヲ絲ニテ綴リ袋狀ノ巣ヲ作リテ内ニ蟄シ、頭胸ヲ現ハシ食ヲ求ム幼時ハ直立シテ歩ムモ長ズレバ葉裏ニ懸垂シテ食フ　……おほみのが
    - 固定シ滋液ヲ吸フモノ
      - 體長一寸六七分扁平暗褐色ナセル甲蟲ニシテ全體淡黑色、背面少シク淡ク背綠亞背綠上ニ十二對ノ黑色ノ三角紋ヲ有ス　……はすもんよたう
      - 體長三分内外長方形ニシテ扁平暗褐色ナリ、亞背綠上ニ十二對ノ黑色ノ三角紋ヲ有ス　……ながこがね
      - 裝フ、日中ハ土塊下或ハ隱所ニアリ、夕刻ヨリ出デテ食害ス　……こあをどうがね
      - 體長六七分短楕圓、背面ハ滑澤ニシテ青綠色、腹面黑キ甲蟲ニシテ日中ハ主ニ葉間ニ靜止シ、夕刻ヨリ盛ンニ食害ス　……たいわんあをどうがね
      - 成蟲ハ全體瑠璃色ニシテ光澤アリ、體長八分、鞘翅緣反起ス、幼蟲ハ體長二寸内外ニ及ブ、蟷蟷中、中形種ニシテ、全體帶黄乳白色、六脚ヲ有シ葉面ニ、密ニ絹絲ヲ張リテ内ニ居ス　……たいわんしろはまき
      - 體長五分ニ及ブ、淡綠色ニシテ細長、頭部ハ黑褐、體面ニ白色ノ短毛ヲ粗生ス　……わたのはまき
      - 體長六七分ニ及ブ、葉裏蟲中最モ肥太シ、觸板、淡褐、全體黄綠色ニシテ細長、頭部ハ黑褐、體面ニ白色ノ短毛ヲ粗生ス　……さくらとびはまき
    - 綴リ合セテ食フモノ
      - 網狀ヲ食フモノ
      - 單棲滋液ヲ吸收スルモノ
        - 閒接ニ害スルモノ
          - 葉肉ヲ潛リ食フモノ

スモノ……

咀嚼口ヲ有スルモノ……

區分	特徵	名稱
	殼長七八厘半球狀ニシテ濃褐色滑澤ニシテ殼內ニ卵子ヲ充積ス	みかんたまかひがらむし
密集シ活動シツヽ滋液ヲ吸フ…	成蟲ハ有翅ノモノハ黑色カ、黑褐色ニシテ光澤アリ、脚ハ黃色、無翅ノモノハ暗黑乃至黑褐色、光澤アリ脚ハ黃色、幼蟲ハ赤褐色、脚ハ蹠節及脛節ノ先端暗色	みかんあぶらむし
	成蟲、有翅ノモノハ眞黑色ニシテ光澤アリ、脚ハ淡黃、無翅ノモノハ暗黑又ハ黑褐色ニシテ脚ハ有翅ノモノト等シ、幼蟲ハ帶褐黃綠色、灰褐又ハ灰赤色、脚ハ淡黃	こみかんあぶらむし
單棲滋液ヲ吸收スルモノ	圓形ニシテ腹部膨太シ、黃色ニシテ、背面ニ黑斑ヲ有シ、絲狀ノ長キ口吻ヲ有ス、成蟲トナレバ、全體綠色ニシテ翅ヲ生ジ肩部刺狀ヲナス	みかんとげかめむし
	前種ニ似テ小形、黃褐斑ハ微細ニシテ明カナラズ、體長三分餘	こきしもふりかめむし
	體長七分內外稍方形ヲナシ全體黑色ニシテ黃褐ノ小斑點ヲ密布シ、肩部鈍角ニシテ捕フレバ惡臭ヲ放ツ、前翅ノ先端膜質ナリ	きしもふりかめむし
間接ニ害スルモノ	全體黑色ニシテ腹部ノ背面ニ淡褐色ノ短毛ヲ密生ス、胸背ニ二對、腰部ニ一對ノ刺アリ、脚ハ細長、體長二分五厘內外	くろとげあり
葉肉ヲ潜リ食フモノ	體長一分二三厘、細長扁平黃白色ノ蟲ニシテ表皮下ニ沿ヒ葉肉ヲ食ヒ廻リ、白色ノ蟲痕ヲ印ス、葉ハ爲メニ縮ムモノ多シ	みかんはむぐりが
網狀ヲ食フモノ	枝葉ヲ絲ニテ綴リ袋狀ノ巣ヲ作リテ內ニ蟄シ、頭胸ヲ現ハシ食ヲ求ム、幼時ハ直立シテ歩ムモ、長ズレバ葉裏ニ懸垂シテ食フ	おほみのが
	體長一寸六七分ニ及ブ圓筒狀ノ螟蛉ニシテ全體淡黑色、背面少シク淡ク、背線亞背線ハ黃褐、亞背線上ニ十二對ノ黑色ノ三角紋ヲ有ス	はすもんよたう
	體長三分內外長方形ニシテ扁平暗褐色ヲナセル甲蟲ニシテ少シク白粉ヲ裝フ、日中ハ土塊下或ハ隱所ニアリ、夕刻ヨリ出デテ食害ス	ながこがね
	體長六七分短楕圓、背面ハ滑澤ニシテ青綠色、腹面黑キ甲蟲ニシテ日中ハ主ニ葉間ニ靜止シ、夕刻ヨリ盛ンニ食害ス	こあをどうがね
	成蟲ハ全體瑠璃色ニシテ光澤アリ、體長八分、鞘翅縁反起ス、幼蟲ハ體長二寸內外ニ及ブ、蠐螬中、中形種ニシテ、全體帶黃乳白色、六脚ヲ有シ頭ト脚ハ赤褐色土中ニ棲息ス	たいわんあをどうがね
綴リ合セテ食フモノ	體長五六分ニ及ブ、全體淡綠色ニシテ銀色ノ短毛ヲ粗生セリ	みかんのはまき
	體長四分ニ及ビ、全體青綠色ニシテ少シク黃色ヲ帶ブ、葉ノ一部ヲ折リ合ハシテ住スルヲ特性トス	たいわんしろはまき
	體長六七分ニ及ブ、青綠色ニシテ、甚ダ細長、白色ノ二線ヨリナル背線ヲ有シ葉面ニ、密ニ絹絲ヲ張リテ內ニ居ス	わたのはまき
	體長五分ニ及ブ、淡綠色ニシテ細長、頭部ハ黑褐、體面ニ白色ノ短毛ヲ粗生ス	さくらとびはまき
	體長六七分ニ及ブ、葉捲蟲中最モ肥太シ、循板、淡褐、全體黃綠色ニシテ銀色ノ短毛ヲ粗生ス、數葉ヲ合セテ葉先ヨリ食フ	おほあときはまき
不規則粗糙ニ食フモノ	成蟲ハ全體青綠色ニシテ頭頂著シク尖リ、雌蟲ハ體長一寸一分、雄蟲ハ七分內外ナリ	おんぶばつた
	體長二寸二三分、全體綠色ニシテ本邦產蝗類中最大、後翅桃紅色ヲ呈シ跳力強ク常ニ葉上ニアリテ食害ス	たいわんおほばつた
主ニ先端ヨリ食フモノ	幼蟲體長五六分無毛ニシテ楕圓形肥滿シテ青綠色五條ノ白色線ヲ縱走シ、同線ノ中間ニ各一本ノ白色波狀ノ細線ヲ縱走ス	みかんいらが
	幼蟲體長五六分、背線隆起シ、兩側翼狀ニ擴大シ、背面ニ不規則ノ黑斑アリ、爲メニ一見鳥糞ニ似タリ、全體無毛白色ニシテ	けなししろいらむし
	幼蟲體長五分內外、普通ノ、**いらむし**形ニシテ、背面黑ク他ハ青綠色ナリ	おびいらが
	楕圓形綠色ニシテ體長一寸內外ニ及ブ、背線白ク、其兩側青綠色、背線ニ沿ウテ兩側ニ八對ノ赤色點アリ、內前方ノ一對ハ明カニシテ他ハ微カナリ	あかほしいらむし
	幼蟲體長六七分、**あかほしいらむし**ニ酷似シテ扁平、背線ハ白色ニシテ中央ニ、二條ノ桃紅色ノ細線ヲ走ラス	ふたすぢいらが
	幼蟲體長六七分、楕圓扁平ニシテ青綠色、背線上ニ一本ノ紫紅色ノ肉突起ヲ有シ、其後方ニ二個ノ赤色點ヲ有セリ	はいぐろいらが
	幼蟲體長六七分、楕圓扁平ニシテ各環節ノ兩側突出シ、背面ノ中央ニ帶紫暗褐色ノ一大紋ヲ有セリ	あとばねいらが
永ク一定ノ場所ニ止マラザルモノ	體長五分ニ及ブ、全體黃褐色ノ軟毛ニテ掩ハレタル蛄蟖ナリ	たいわんごまだらこけが
	體長一寸四五分ニ達ス、黑色ノ長毛ヲ密生シヨク地上ヲ疾走ス、日中モ葉上ニアリテ食害スル蛄蟖ハ	まへあかひとり
	體長一寸二三分ニ及ブ、背線橙黃色ニシテ、明カニ顯ハレ、全體暗褐色ノ長毛ヲ密生セル蛄蟖ハ	はいいろひとり
	體長七八分ニ及ブ、全體帶褐色ニシテ黃褐色ノ短毛ヲ星狀ニ生ゼル蛄蟖ハ	みかんかのこ
主ニ中肋ヲ殘シテ食フモノ	體長一寸二三分ニ及ブ、二齡迄ハ黑色ニシテ背面ニ四條ノ白線ヲ橫走ス	うすもんなみしやく
	體長一寸七分ニ及ブ、黃綠色、背線ハ黃白、第二、八ノ兩節ニ黑疣アリ	こよつめえだしやく
	體長一寸六分、灰紫暗色ニシテ、黑キ微小ノ點ヲ密布シ、黃赤色ノ突起アリ、背面ニ二箇ノ瘤狀突起アリ	くすえだしやく
	體長一寸六七分少シク扁平、頭ハ體ト同樣淡紅褐色ノ小斑點ヲ密布ス、名胸節ノ背面ニ、紅褐色ノ小點左右ニ一個宛アリ	みかんえだしやく
	體長一寸五分ニ及ブ、帶紅綠色、小黑斑ヲ散布ス、第四ト第六ノ兩節ニ黑色ノ斑紋ヲ有ス	みかん　えだしやく
	細長ニシテ赤褐色、頭黑クシテ顏面灰白色、背線ハ淡黑色、各環節ノ背面ニハ四個ノ小黑點アリ、體長一寸四五分ニ及ブ	みかんほそえだしやく
	幼蟲ハ一寸內外ニ及ブ、體稍肥大帶綠灰白色ナリ	あとのこはえだしやく
不規則ニ葉縁ヨリ食フモノ	體長一寸七八分ニ及ブ、全體黑褐色ノ螟蛉ニシテ背線黑ク、第十一環節ノ背上突起シテ尾角狀ヲ呈シ其後面黑色ナリ	みかんくちば
	體長一寸五六分ニ及ブ、全體帶黃白色ニシテ黑色ノ小點ヲ密布セル螟蛉ニシテ第十一節ノ背面ニ角狀突起ヲ有ス、尾脚ヲ後方ニ伸出スルノ性アリ	みかんあしぶと
	體長九分ニ及ブ、全體鮮綠色ニシテ、背線、亞背線ハ濃厚各體節ニ、數個ノ突起アリテ銀色ノ短毛ヲ生ズル螟蛉ハ	たばこが
	體長七八分、毛少ナク、背線ハ赤色ニシテ其兩側黃色、第四、五ノ兩節ノ背面ニ黑斑アリ、毒毛ヲ有スル蛄蟖ハ	たいわんきどくが
	體長一寸二分ニ及ブ、背線黃色ニシテ、第四節上ニ黑斑アリ、毒毛ヲ有スル蛄蟖ハ	はぐろきどくが
	體長九分ニ及ブ、黑色ニシテ黃褐色ノ斑紋ト、同色ノ短キ集毛ヲ生ジ毒毛ヲ有スル蛄蟖ハ	ほしきどくが
	體長九分ニ及ブ、眞黑色ニシテ背腹ノ境ヲ走ル、白色ノ縱線ト多クノ白色ノ橫線ヲ有シ、背面ニハ黃褐ノ短キ集毛アリ毒毛ヲ有スル蛄蟖ハ	だんだらきどくが
	體長一寸二三分ニ及ブ、第四、五、六ノ背上ニ直立セル集毛アリ、頭ハ紅色ニシテ其後側ヨリ角狀ニ長毛ヲ射出ス、成蟲ノ雌ハ四翅退化シ繭面ニ產卵ス	こしろもんどくが
	體長二寸ニ達ス、全體白色ナリ、體側ヨリ多クノ長毛ヲ發シ、頭部ハ淡褐、後側ヨリ長毛ヲ角狀ニ射出ス	ももどくが
	體長一寸五分ニ及ブ、全體淡黑色ニシテ、背線白ク、頭部ノ後側ヨリ黑色ノ長毛ヲ角狀ニ射出シ、背面ニ淡褐色ノ集毛四個アリ、體側ヨリ一對ノ總狀黑毛ヲ有シ毒毛アル蛄蟖ハ	みかんきどくが
	體長一寸二分內外ニ達ス、淡綠色ニシテ圓筒狀ヲナシ第三節膨大シ其後緣藍黑色ナリ、又腹部ニ斜廻セル細キ三線ヲ有ス捕フレバ叉狀ノ臭角ヲ出シ惡臭ヲ放ツ	あげは
	前種ニ似テ稍短大、第三節ノ後緣ニ褐色ノ斑紋アリ、腹部ノ背面ニハ二箇ノ斜帶ト黑點ヲ散在ス、體色少シク黃色ヲ帶ビ鮮美ナラズ	をなしあげは
	幼蟲ハ一寸五分內外ニ達ス、第三節ニ紋ナク普通眼狀紋ノ位置ニ朱色ノ半月狀紋アリ又體側ニ斜走セル細線數條ヲ有ス	からすあげは
	幼蟲ハ二寸內外ニ長ス、腹面白色ニシテ桃紅色ヲ呈シ、斜廻セル二條ノ帶線ヲ有ス	をなしくろあげは
	幼蟲ハ細長、背面ノ後部ニ八狀ノ二點アリ、腹面桃色、腹側ニ二箇ノ斜帶ヲ有ス、內前ノモノハ背上ニテ左右相接ス	しろをびあげは
	幼蟲ハ背面濃綠、腹面白色ニシテ紅色殆ントナク三條ノ斜帶ヲ有ス、體長二寸四分內外ニ及ブ	ながさきあげは
	體長四分五厘內外普通綠色ニシテ金屬性光輝ヲ放チ前頭突出シテ先端ニ口ヲ附ケ翅面ニ軟毛ヲ粗生ス	あをこふきぞうむし
固定シテ滋液ヲ吸收スルモ	黑色或ハ淡灰色扁平ニシテ大形半圓形ニシテ主ニ中肋ニ沿ヒテ寄生ス、長徑一分內外	はんえんかひがらむし
	みかんかひがらむし、似テ扁平暗褐色ニシテ殼形稍不整ナリ、雄蟲ハ雌蟲ノ割合ニ多ク雄蟲ノ繭ハ白粉ノ如シ	きいろかひがらむし

- ……スモノ……
  - 永ク一定ノ場所ニ止マラザルモノ……
    - [illegible]葉上ニアリテ食害スル蛄蟖ハ……[illegible]へおかひとり
    - 體長一寸二三分ニ及ブ、背線橙黄色ニシテ、明カニ顯ハレ、全體暗褐色ノ長毛ヲ密生セル蛄蟖ハ……はいいろひとり
    - 體長七八分ニ及ブ、全體帶褐色ニシテ黄褐色ノ短毛ヲ星狀ニ生ゼル蛄蟖ハ……みかんかのこ
  - 主ニ中肋ヲ殘シテ食フモノ……
    - 體長一寸二三分ニ及ブ、二齢迄ハ黒色ニシテ背面ニ四條ノ白線ヲ横走ス……うすもんなみしやく
    - 體長一寸七分ニ及ブ、黄綠色、背線ハ黄白、第二、八ノ兩節ニ黒疣アリ……こよつめえだしやく
    - 體長一寸六分、灰紫暗色ニシテ、黒キ微小ノ點ヲ密布シ、黄赤色ノ突起アリ、背面ニ二箇ノ瘤狀突起アリ……くすえだしやく
    - 體長一寸六七分少シク扁平、頭ハ體ト同樣淡紅褐色ノ小斑點ヲ密布ス、名胸節ノ背面ニ紅褐色ノ小點左右ニ一個宛アリ……みかんえだしやく
    - 體長一寸五分ニ及ブ、帶紅綠色、小黒斑ヲ散布ス、第四ト第六ノ兩節ニ黒色ノ斑紋ヲ有ス……みかん　えだしやく
    - 細長ニシテ赤褐色、頭黒クシテ顔面灰白色、背線ハ淡黒色、各環節ノ背面ニハ四個ノ小黒點アリ、體長一寸四五分ニ及ブ……みかんほそえだしやく
    - 幼蟲ハ一寸内外ニ及ブ、體稍肥大帶綠灰白色ナリ……あとのこはえだしやく
  - 不規則ニ葉縁ヨリ食フモノ……
    - 體長一寸七八分ニ及ブ、全體黒褐色ノ螟蛉ニシテ背線黒ク、第十一環節ノ背上突起シテ尾角狀ヲ呈シ其後面黒色ナリ……みかんくちば
    - 體長一寸五六分ニ及ブ、全體帶黄白色ニシテ黒色ノ小點ヲ密布セル螟蛉ニシテ第十一節ノ背面ニ角狀突起ヲ有ス、尾脚ヲ後方ニ伸出スルノ性アリ……みかんあしぶと
    - 體長九分ニ及ブ、全體鮮綠色ニシテ、背線、亞背線ハ濃厚各體節ニ、數個ノ突起アリテ銀色ノ短毛ヲ生ズル螟蛉ハ……たばこが
    - 體長七八分、毛少ナク、背線ハ赤色ニシテ其兩側黄色、第四、五ノ兩節ノ背面ニ黒斑アリ、毒毛ヲ有スル蛄蟖ハ……たいわんきどくが
    - 體長一寸二分ニ及ブ、背線黄色ニシテ、第四節上ニ黒斑アリ、毒毛ヲ有スル蛄蟖ハ……はぐろきどくが
    - 體長九分ニ及ブ、黒色ニシテ黄褐色ノ斑紋ト、同色ノ短キ集毛ヲ生ジ毒毛ヲ有スル蛄蟖ハ……ほしきどくが
    - 體長九分ニ及ブ、眞黒色ニシテ背腹ノ境ヲ走ル、白色ノ縱線ト多クノ白色ノ横線ヲ有シ、背面ニハ黄褐ノ短キ集毛アリ毒毛ヲ有スル蛄蟖ハ……だんだらきどくが
    - 體長一寸二三分ニ及ブ、第四、五、六ノ背上ニ直立セル集毛アリ、頭ハ紅色ニシテ其後側ヨリ角狀ニ長毛ヲ射出ス、成蟲ノ雌ハ四翅退化シ繭面ニ産卵ス……こしろもんどくが
    - 體長二寸ニ達ス、全體白色ナリ、體側ヨリ多クノ長毛ヲ發シ、頭部ハ淡褐、後側ヨリ長毛ヲ角狀ニ射出ス……ももどくが
    - 體長一寸五分ニ及ブ、全體淡黒色ニシテ、背線白ク、頭部ノ後側ヨリ黒色ノ長毛ヲ角狀ニ射出シ、背面ニ淡褐色ノ集毛四個アリ、體側ヨリ一對ノ總狀黒毛ヲ有シ毒毛アル蛄蟖ハ……みかんきどくが
    - 體長一寸二分内外ニ達ス、淡綠色ニシテ圓筒狀ヲナシ第三節膨大シ其後縁嵴黒色ナリ、又腹部ニ斜廻セル細キ三線ヲ有ス捕フレバ叉狀ノ臭角ヲ出シ惡臭ヲ放ツ……あげは
    - 前種ニ似テ稍短大、第三節ノ後縁ニ褐色ノ斑紋アリ、腹部ノ背面ニハ二箇ノ斜帶ト黒點ヲ散在ス、體色少シク黄色ヲ帶ビ鮮美ナラズ……をなしあげは
    - 幼蟲ハ一寸五分内外ニ達ス、第三節ニ紋ナク普通眼狀紋ノ位置ニ朱色ノ半月狀紋アリ又體側ニ斜走セル細線數條ヲ有ス……からすあげは
    - 幼蟲ハ二寸内外ニ長ス、腹面白色ニシテ桃紅色ヲ呈シ、斜廻セル二條ノ帶線ヲ有ス……をなしくろあげは
    - 幼蟲ハ細長、背面ノ後部ニ八狀ノ二點アリ、腹面桃色、腹側ニ二箇ノ斜帶ヲ有ス、内前ノモノハ背上ニテ左右相接ス……しろをびあげは
    - 幼蟲ハ背面濃綠、腹面白色ニシテ紅色殆ントナク三條ノ斜帶ヲ有ス、體長二寸四分内外ニ及ブ……ながさきあげは
    - 體長四分五厘内外普通綠色ニシテ金屬性光輝ヲ放チ前頭突出シテ先端ニ口ヲ附ケ翅面ニ軟毛ヲ粗生ス……あをこふきぎうむし
  - 吸收口ヲ有スルモノ……
    - 固定シテ滋液ヲ吸收スルモノ……
      - 黒色或ハ淡灰色扁平ニシテ大形半圓形ニシテ主ニ中肋ニ沿ヒテ寄生ス、長徑一分内外……はんえんかひがらむし
      - みかんかひからむし、似テ扁平暗褐色ニシテ殼形稍不齊ナリ、雄蟲ハ雌蟲ノ割合ニ多ク雄蟲ノ繭ハ白粉ノ如シ……きいろかひがらむし
      - 黒色微細一見ひめくろかひがらむしニ似テ周縁白ク、又周縁ヨリ毛狀物ヲ併出シ背中線隆起セリ……まーらつとこなじらみ
      - 幼蟲ハ黄色ノ扁平ノ介殼物下ニアリ、點々葉裏ニ寄生ス、一見葉捲蟲ノ卵子ニ酷似ス、成蟲ハ微小ニシテ二翅ヲ有シ全體黄色ナリ……きいろこなじらみ
    - 密集シ活動シツヽ滋液ニ吸フ……
      - 成蟲有翅ノモノハ體綠色ニシテ背面ニ暗色ノ大紋アリ、脚ハ、脛節ノ末端ト跗節ハ暗色、無翅ノモノハ、黄綠又ハ赤褐色、脚ハ蹠節ハ黒ク、他ハ淡黄ナリ、幼蟲ハ淡黄綠或ハ淡黄色、脚ハ蹠節綠色他ハ體ト同色……ぺるしやあらむし
      - 成蟲ノ有翅蟲ハ綠色、脚ハ淡黄色、無翅ノモノハ綠色、黄綠色、脚ハ有翅蟲ニ相同ジ、幼蟲ハ淡黄綠色ナリ……りんごあぶらむし
      - 成蟲有翅ノモノハ暗色、黒色、暗綠色、橙黄色、脚ハ暗色、無翅ノモノハ綠色乃至黒綠色、脚ハ黄白色ナリ、幼蟲ハ暗綠色ヲ呈ス……わたあぶらむし
    - 滋液ヲ吸收シ横走スルモノ……
      - 淡綠色、方形ノ大翅ヲ有シ、體長二分五厘内外、頭ヨリ胸背ニ渡リ、紅色ノ細線ヲ縱走ス、翅ハ體ニ沿ヒテ疊置ス、幼蟲ハ多クノ綿絮ヲ附着ス……あをばはごろも
      - 體長一分二厘内外綠色ニシテ扁平、常ニ葉面ニ棲息シ、活潑ニ飛躍ス、翅ヲ屋斜狀ニ置ク……みどりひらたうんか
      - 全體淡綠色ニシテ細長、體長一分弱、幼蟲ハ翅ヲ欠クノミニテ、形貌成蟲ト異ナラズ……うすばひめよこばい
      - 體長二分五厘内外、綠色長大ニシテ翅先黒ク、頭胸ノ背面ニ五箇ノ小黒點ヲ有ス……おほつまぐろよこばい
      - 體長二分内外、黄褐色ニシテ光澤アリ頭部短廣翅ハ體側ニ沿ヒテ緊接シ前翅ハ少シク硬化シ外縁黒シ、幼蟲ハ成蟲ニ似テ翅ヲ欠クノミ……かはいろづきんよこばい
    - 單棲滋液ヲ吸收スルモノ……
      - 體長四分内外、全體青綠色ニシテ捕フレバ惡臭ヲ發ス……あをかめむし
      - 前種ニ似テ小形、前翅ノ先端卽膜質部ニ不規則ノ黒斑ヲ有ス體長一分四厘内外……こあをかめむし
      - 稍半球狀ヲナシ全體帶紅暗褐色ナリ、稜狀部ハ著シク發達シテ腹部ヲ覆フ、前後兩翅ハ膜質ニシテ黒ク稜狀部面ニハ小黒點ヲ横列ス、體長四分……みかんかめむし
- ……スセノ……
  - 吸收口ヲ有スルモノ……
    - 固定シテ滋液ヲ吸收スルモノ……
      - 殼長三厘内外、楕圓ニシテ黒色扁平ニシテ葉面ニ密着ス、介殼ノ前端ニ幼殼ヲ附着シ、後端ニハ薄膜ヲ有ス……ひめくろかひがらむし
      - 圓形ニシテ黒ク褐色或ハ白色ノ輪紋アリ、介殼ハ離脱シ易ク體ハ肥滿シテ黄色ナリ……まるかひがらむし
      - 牛角狀ニシテ淡褐色長徑七八厘殼面ニハ皺襞少ナシ……みかんかひがらむし
      - 前種ニ酷似シテ細長、彎曲少ナク殼面ニ小皺多シ……ながかひがらむし
      - 前種ニ似テ殼面帶褐黒色ナリ……くろながかひがらむし
    - 毛狀ノ長吻ニテ滋液ヲ吸フモノ……
      - 全體綠色兩肩尖リテ刺狀ヲナシ、腹節ノ各後縁モ刺狀ニ尖リ前翅ノ先端卽チ膜質部ハ黒ク口吻ハ長ク八九分アリ、體長七分内外……みかんとげかめむし
  - 咀嚼口ヲ有スルモノ……
    - 表皮ヲ食ヒ粗糙トナスモノ……
      - 微細ニシテ紅色、普通葉面ニアリ、結實後ハ好ンデ果實ニ集マル、食痕粗糙トナリ褐色ニ變ズ八脚ヲ有ス、體長二厘弱……みかんあかだに
- ……スモノ……
  - 吸收口ヲ有スルモノ……
    - 固定シテ滋液ヲ吸收スルモノ……
      - 圓形ニシテ殼徑四五厘灰白色ナリ、枝ニ普通ナリ……はいいろまるかひがらむし
    - 密集シテ滋液ヲ吸フモノ……
      - 體長一分二三厘楕圓ニシテ肥大シ、紅褐色、體面ヨリ白粉ヲ分泌シ、果ト果ト、又ハ果ト葉ト密接セル間ニ好ミテ寄生ス……みかんわらじかひがらむし
      - 體長一分内外、短楕圓形、帶紫暗色、體面ヨリ白粉ヲ分泌シ、球狀ノ卵囊ヲ形成ス、花托ニ好ミテ寄生ス……わらぢかひがらむし
  - 咀嚼口ヲ有スルモノ……
    - 無傷ノ果實ヲ侵スモノ……
      - 無頭無脚錐狀ノ蛆ニシテ數頭乃至十數頭、果肉内ニ棲息シ白色ニシテ跳飛スルコトアリ、體長三分内外……みかんこみはい
    - 有傷ノモノノミ侵スモノ……
      - 前種ニ似テ細小一分二三厘ニ達ス、一果肉ニ數十頭棲息ス……ばななはい

三　本邦柑橘害蟲目錄

記載番號	和名	學名	產地 内地	產地 臺灣	異名
	白蟻科	**Termitidæ.**			
一	やまとしろあり	Leucotermes speratus Kolbe.	一	一	しろあり、きあししろあり
一	ひめしろあり	Odontotermes formosanus Shiraki.		一	
	蝗蟲科	**Acrididæ.**			
二	おほまるいなご	Podisma mikado Boliv.	一		
二	おんぶばった	Atractomorpha bedeli Boliv.	一		
三	おほあをばった	Acridium flavicorne Olivier.	一		
三	つちいなご	,, japonica Boliv.	一		
	螽蟖科	**Locustidæ.**			
四	くだまきもどき	Holochora japonica Brunn.	一	一	くだまきだまし
	蟋蟀科	**Gryllidæ.**			
五	たいわんおほこほろぎ	Brachytrypus achatinus Stal.		一	とうかう、とぐや
	薊馬科	**Thripidæ.**			
六	みかんあざみうま		一		

		介殼蟲科	Coccidæ.		
七	わたうきかいがらむし	Icerya purchasi Mask.	1	1	しいらしゆりやまたかがらむし
八	きかだきたうきかいがらむし	,, Okadæ Kuwana.	1	1	わたかがらむし
九	きいろうきわたうきかいがらむし	,, egyptiaca Dougl.		1	
一〇	みかんわらうかいがらむし	Pseudococcus citri Risso.	1	1	みかんこかがらむし みかんこかがらむし
一一	わらうかいがらむし	,, filamentosus Ckll.		1	
一二	きたがわらうかいがらむし	,, longicornis Ket.		1	
一三	みかんいたがいがらむし	Orthezia insignis Dougl.		1	
一四	かのかいがらむし	Ceroplastes floridensis Comst.	1	1	からすみのらむし からすみのらむし からすみのらむし
一五	ゆういろらいがらむし	,, sp.		1	
	ひのらむし	,, ceriferus Anders.	1		
	ろびーかいがらむし	,, rubens Mask.	1		
一六	みかんたまがいがらむし	Lecanium hemisphaericum Targ.		1	
	みかんきるかいがらむし	,, psludomagnoliarum Kuwana.	1		
一七	ふじはがかいがらむし	,, longulum Dougl.		1	
	ひせまるかいがらむし	,, hesperidum L.	1		ひらたかたかいがらむし
一八	はんえんかいがらむし	,, sp.		1	
	はたかかいがらむし	Monophlebus sp.	1		
	ひゆわたかいがらむし	Takahashia japonica Ckll.	1		
	りんごかいがらむし	,, citricola Kuwana.	1		

一九	かのこかいがらむし	Pulvinaria aurantii Ckll.	1	1	みかんのわたかいがらむし みかんのこかがらむし わたかがらむし
	きうかのこかいがらむし	,, okitsuensis Kuwana.	1		
	ゆうせいわたかいがらむし	,, citricola Kuwana.	1		こかのこかがらむし
	かきわたかいがらむし	,, psidii Mask.	1		
二〇	ひのこうかいがらむし	Parlatoria zizyphus Lucas.	1	1	いらむし いらむし いらたかがらむし
	きるこうせいかいがらむし	,, pergandii Comst.	1		
	こうせいかいがらむし	,, protens Curtis.	1		はかがらむし はかがらむし はかがらむし
	こはかいがらむし	Dactylopius citri Risso.	1		
	ねこいかいがらむし	Ripersia sp.	1		
	なしのこうなかがらむし	Leucaspis japonica Ckll.	1		こうなかがらむし
二一	きいろかいがらむし	Chionaspis flova Green.	1	1	きいろかがらむし
	はらんのたかかいがらむし	,, aspidistræ Sig.	1		こうきかがらむし
	やのねたかかいがらむし	,, citri Comst.	1		みかんのかいがらむし やのねかがらむし
	こうたかかいがらむし	Hemichionaspis minor. Mask.	1		みかんこうかがらむし
	こういろかいがらむし	,, aspidistræ Sign.	1		
二二	みかんかいがらむし	Lepidosaphes citricola Pack.	1	1	たかがらむし
二三	たかかいがらむし	,, gloverii Pack.	1	1	いたかがらむし こうかんかがらむし みかんきかがらむし
二四	こうはかかいがらむし	,, cocculi Green.		1	
	りんごかいがらむし	,, pomorum Bouche.	1		

二五	はいいろまるかいがらむし			1	
二六	まるかいがらむし	Aspidiotus ficus Ashm.	1	1	しとろまるかいがらむし いろまるかいがらむし ろまるかいがらむし たまるかいがらむし まるかいがらむし かいがらむし がらむし らむし むし し
二七	あかまるかいがらむし	,, aurantii Mask.	1	1	あかいろかいがらむし
	みかんのまるかいがらむし	,, duplex Ckll.	1		みかんのまるかいがらむし かんのまるかいがらむし んのまるかいがらむし のまるかいがらむし まるかいがらむし るかいがらむし かいがらむし いがらむし がらむし らむし むし し
	きまるかいがらむし	,, aurantii var citricola Cog.	1		みかんのまるかいがらむし
	しろこんかいがらむし	,, aldopunctatus Ckll.	1		
	さんほーせいかいがらむし	,, perniciosus Comst.	1		さんのせーかいがらむし
	粉虱科	**Aleuroidæ.**			
	りあんこしらみ	Aleurodes giffardi Kotinsky.	1		りあんこしらみ
二八	まるらっとこなしらみ	,, marlatti Qua.	1	1	みかんのこなしらみ
	みかんこなしらみ	,, citri Riley, and Howard.	1		
二九	きいろこなしらみ	,, sp.		1	
	蚜類科	**Aphidæ.**			
	ぐしーこうあぶらむし	Gu? sp?	1		
三〇	こみかんあぶらむし	Toxoptera citrifolia Maki.		1	
三一	みかんあぶらむし	Myzus citricidus Kirkaldy.	1	1	
三二	ぐるしまあぶらむし	,, persicæ Sulz.		1	
三三	りんごあぶらむし	Aphis pomi De Geer.	1	1	

三四	わたあぶらむし	,, gossypii Glov.		1	
	木虱科	**Psyllidæ.**			
三五	みかんきしらみ	Diaphorina citri Kuwayama.		1	
	ぐにきしらみ	Psylla sp.	1		
	白蠟蟲科	**Fulgoridæ.**			
三六	あさひはしろう	Geisha distinctissima Wlk.	1	1	
	ぐりかうはしろう	Ricania japonica Melich.	1		
	まるらんか	Hemisphaerius variabilis Butl.	1		
	こあおうし	Scaphocephalus discolor Uhl.	1		
	きいろうんか	Oliarus sp.	1		
	はちのしうんか	,, sp.	1		
三七	おびりりたうんか	Osea dimiduata Motsch.		1	
	浮塵子科	**Jassidæ.**			
	さしようこはい	Parabolocrates prasinus Mats.	1		
	りしゅんようこはい	Eutettix sellatus Uhler.	1		ゅんようこはい
	みかんりようこはい	Conometopius citri Mats.	1		
三八	うすはりようこはい	Chlorita flavescens Fab.	1	1	みかりようこはい すはりようこはい
三九	おほうまびようこはい	Tettigonia ferruginea var. apicalis Wlk.	1	1	
四〇	かはいろうきんようこはい	Tartessus gokaensis Mats.		1	
	きしようこはい		1		

	くろよこばい		1		
	角蟬科	**Membracidæ.**			
	こうのぜみ	Machaerotypus sellatus Uhler.	1		
	蟬科	**Cicadidæ.**			
	にいにいぜみ	Platypleura kaempferi F.	1		
四一	こにいにいぜみ	„ nepanda Linn.		1	
四二	はこうもぜみ	Cicada ochracea Wlk.		1	
	盲椿象科	**Capsidæ.**			
	ひげぼそがめ	Capsus sp.	1		
	縞椿象科	**Coreidæ.**			
	くもかめむし	Leptocorisa varicornis F.	1		
	椿象科	**Pentatomidæ.**			
四三	あをかめむし	Nezara viridula L.	1	1	
	ちゃばねあをがめ	Plautia fimbriata Fabr.	1		
	ちゃばねがいだ	Halyomorpha picus Fabr.	1		
四四	みかんかめむし	Solenostethium citri Shiraki.		1	
四五	みかんえげかめむし	Rhynchocoris humeralis Thunb.		1	
四六	きしもふりかめむし	Erthesina fullo Thunb.		1	
四七	こきしもふりかめむし	Capaea taprobanensis Dall.		1	
四八	こあをかめむし	Elasmostethus membranaceus Shiraki.		1	

	細蛾科	**Graciliaridæ.**			
四九	みかんはむぐりか	Lithocolletis citrivola Shiraki.	1	1	みかんせんそうが
	葉捲蛾科	**Tortricidæ.**			
	みかんはまき		1		
五〇	みかんのはまき	Archips citrinella Shiraki.		1	
	あこまきはまき	„ podana Schift.	1		おなじもの
五一	おはあこまきはまき	„ ingentana Christ.		1	
五二	たいわんこうはまき	„ podana Schiff.		1	
五三	わたのはまき	Oxygrapha gossypiella Shiraki		1	
五四	さくらこがはまき	Oxygrapha formosana Shiraki.	1	1	みかんのこはまき
	みかんひめはまき	Pandemis ribeana Hb.	1		
	螟蛾科	**Pyralidæ.**			
	もものめいが	Dichocrocis punctiferalis Guen.	1		ももこがね、くるみこがね、ものもりこがね、ものもりこがね
	みかんのしんくい		1		
	避債類科	**Psychidæ.**			
	みのが	Pachytelia unicolor Hufn.	1		
五五	おはみのが	Clania variagata Cram.		1	たいわんみのむし
	みかんのしろみのむし	Hyalina albida Esp.	1		
	刺蛾科	**Cochlidæ.**			
	いらが	Monema flavescens Wk.	1		

五六	みかんいらが	Nagoda nigricans Moor.	一	けなしあをいらむしが
五七	けなししろいらむし	Norosa nitobei Shiraki.	一	けなしんろいらむしが
五八	おびいらが	Orthocraspeda trima Moore.	一	
五九	あかほしいらむし	Susica taiwania Shiraki.	一	
六〇	ふたすぢいらが	Conia bilinae Wlk.	一	
六一	はいぐろいらが	Contheyla bruneus Shiraki.	一	
六二	あとばねいらが	Thosea bicolor Shiraki.	一	
	燈蛾科	**Arctidæ.**		
六三	くはごまだらひとり	Diacrisia imparilis Butl.	一	とまふてふ、すむしてふ、おすぐろしろたいもどき
六四	たいわんごまだらこけが	Miltochrista arcuata Moor.	一	
六五	まへあかひとり	Amsacta lactinea Cram.	一	
六五	はいいろひとり	Creatonotus transiens Walk.	一	とびいろひとりけむし
	鹿子蛾科	**Syntomidæ.**		
六六	みかんかのこが	Syntomis sp.	一	
	尺蠖蛾科	**Geometridæ.**		
六七	はなくひしやくとり	Boarmia sp.	一	
六八	うすもんなみしやく	" irrorata Brem. et Grey.	一	
六八	こよつめえだしやく	" acaciaria Boisd.	一	
六九	くすえだしやく	" sp.	一	
七〇	みかんえだしやく		一	

七一	みかんほそえだしやく	" sp.	一	
七二	みかんこえだしやく	Hypposidra talaca Wlk.	一	
七三	あとのこばえだしやく	Luxiaria contigaria Wlk.	一	
	夜蛾科	**Noctuidæ.**		
	うすえぐりば	Colpe capucina Esp.	一	
	あかえぐりば	" excavata Butl.	一	
	あけびこのは	Ophideres tyrannus Gn.	一	あけびのきのはが、ともゑどのは、ともゑてふ
	ひめあけびこのは	" fullonica L.	一	
	むくげこのは	Lagoptera juno Dalm.	一	
七四	みかんくちば	Arcilasisa plagiata Wlk.	一	
七五	みかんあしぶと	Ophiusa sp.	一	
七六	たばこが	Heliothis obsoleta Fab.	一	
七七	はすもんよたう	Prodenia litura Fabr.	一	
	毒蛾科	**Lymantridæ.**		
七八	たいわんきどくが	Porthesia taiwania Shiraki.	一	きどくが
七九	はぐろきどくが	" formosana Shiraki.	一	
八〇	ほしきどくが	Euproctis flavinata Wlk.	一	
八一	だんだらきどくが	" unipunctapex Shiraki.	一	
八二	こしろもんどくが	Orgyia postica Wlk.	一	
八三	ももどくが	" viridescens Wlk.	一	

八四	みかんどくが	Dasychira mendosa Hb.		1	
	鳳蝶科	**Papilionidæ.**			
八五	あげは	Papilio xuthus Linn.	1	1	
八六	きなしあげは	,, erithonius Cram.		1	
八七	からすあげは	,, bianor Cram.	1	1	
	もんきあげは	,, helenus L.	1		
	くろあげは	,, demetrius Cram.	1		
八八	きなしくろあげは	,, protenor Cram.	1	1	
八九	しろおびあげは	,, polytes L.		1	
九〇	ながさきあげは	,, memnon Linn.	1	1	
	家蠅科	**Muscidæ.**			
九一	ばなばい	Drosophila sp.		1	
	實蠅科	**Prypetidæ.**			
	みかんばい	Dacus feruginous Fab.	1		みかんみばい
九二	みかんこばい	,, diversus Coq. var. formosanus Shiraki.		1	
	天牛科	**Cerambicidæ.**			
九三	こまだらかみきり	Melanauster chinensis Forst.	1	1	ほしかみきり
	あとじろさびかみきり	Proanetha zonata Bat.	1		
九四	ちゃまだらかみきり			1	
九五	とびいろひかみきり	Cordylomera zambeziana Perin.		1	

	くはかみきり	Apriona rugicollis Chevr.	1		
	小蠹蟲科	**Scolytidæ.**			
九六	みかんひめしんくひ	Xyleborus nitobei Mats.		1	みかんこしくひ
	象鼻蟲科	**Curculionidæ.**			
九七	あをこふきぞうむし	Hypomeces squamosus Fab.		1	
	みかんのぞうむし	Pseudocneorrhinus sp.	1		
	叩頭蟲科	**Elateridæ.**			
	さびきこり	Lacon binodulus Motsch.	1		
	吉丁蟲科	**Buprestidæ.**			
九八	みかんながたまむし	Abrilus citri Mats.		1	
	金龜子科	**Scarabaeidæ.**			
	ばらこがね	Phyllopertha irregularis Waterh.	1		
	せまだらこがね	Anomara orientoa Ais.	1		
九九	ながこがね	Adoretus snicus Burm.		1	
一〇〇	たいわんあをどうかね	Euchlora expansa Bates.		1	
一〇一	こあをどうかね	,, trachypyga Bates.		1	
	はなもぐり	Glycyphana pilifera Motsch.	1		
	くろはなもぐそ	,, fulvistemma Motsch.	1		
	はなもぐろあとき	,, jucunda Fald.	1		
	水吸蟲科	**Cryptophagidæ.**			

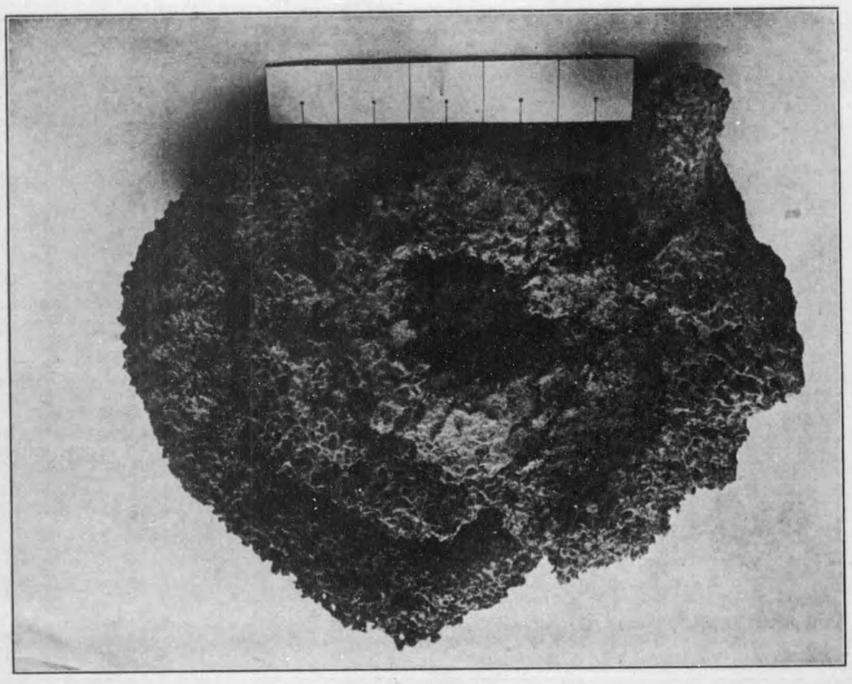
		內地	臺灣	計
ひめきのこむし	Cryptophagus sp.	一		一
擬飄蟲科 Endomychidæ.				
べにはむしだまし	Saula japonica Gorham.	一		一
蟻科 Formicidæ.				
あかあり	Polyrhachis dives F. Smith.		一	一
くろとげあり		一		一
ひめあかあり		一		一
胡蜂科 Vespidæ.				
すずめばち	Vespa mandarina Sm.	一		一
きいろすずめばち	,, auraria Sm.	一		一
だんごばち		一		一
壁蝨類 Acarina.				
さびだに	Phytoptus oleivorus Aehmead.	一		一
あかだに	Tetranychus mytilaspidis.	一		一
むほしだに		一		一
しろだに	,, sex-maculatus Riley.	一		一
みかんあかだに		一		一
みかんねくひだに		一		一
線蟲類 Nematodes.				
みかんせんちゆ	Tylenchulus semipenetrans Cobb.	一		一
計		一〇二	一〇七	總種數百八十三種

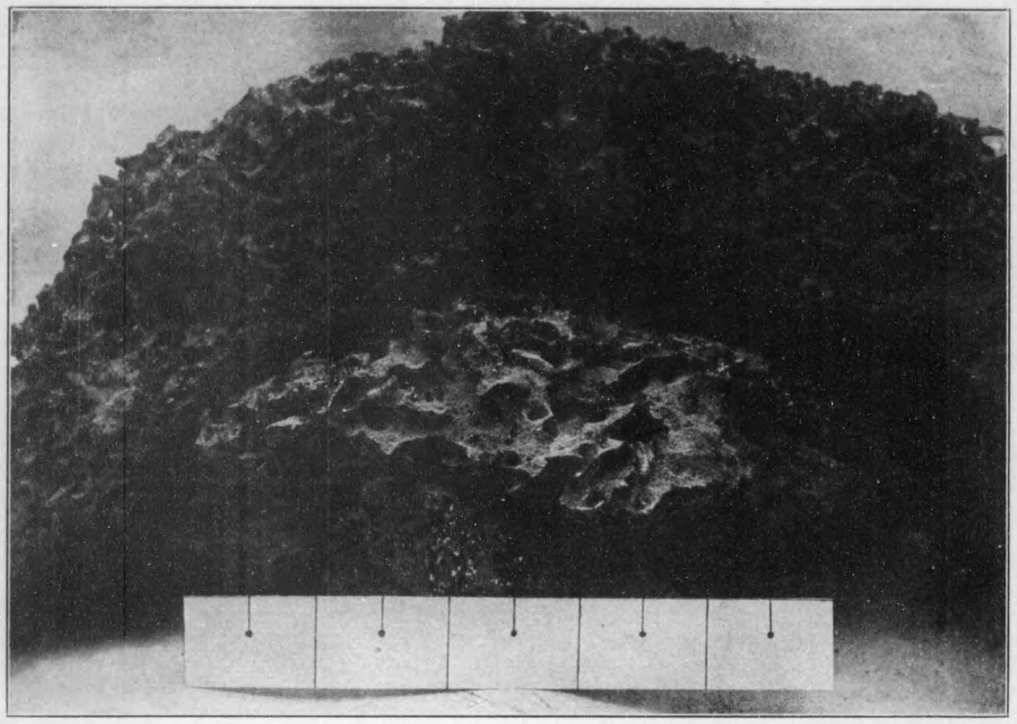
本邦ニテ柑橘害蟲トシテ知ラレタルモノ、內地ニ於テ百九種、本島ニ於テ百七種、其種類百八十三種ニシテ內地臺灣ノ兩土ニ亘リテ產スルモノ二十六種アリ、又臺灣ニモ產スル昆蟲ニシテ內地ニアリテ柑橘害蟲トセラルレドモ、本島ニテハ明治三十九年以來ノ調査中未ダ柑橘ヲ侵セルヲ見ザルモノハ**くはかみきり**(桑樹ニ甚ダ多シ)**もんきあげは**(鳳蝶ヨリ多シ)**ひしもんよこはい**(少シ)**さんほうぜーかひがらむし**(內地ヨリ輸入セル西洋薔薇ニ數年間繼續シテ棲息シ來リタルノミニテ更ニ增殖セズ)**つのららむし**(茶樹ニ於テ稀レニ甚ダシク寄生セルモノヲ見ル)**やまとしろあり**六種アリ次ギニ科別ノ統計ヲ作リテ對照スレバ左ノ如シ

科名	種數 內地	種數 臺灣	科名	種數 內地	種數 臺灣	科名	種數 內地	種數 臺灣	科名	種數 內地	種數 臺灣
白蟻科	一	一	角蟬科	一	一	塵子蛾科	〇	一	吉丁蟲科	〇	一
蝗蟲科	二	二	蟬科	二	二	尺蠖蛾科	二	〇	金龜子科	一	七
螽蟖科	一	一	青椿象科	一	一	夜蛾科	〇	五	木吸蟲科	五	四
蟋蟀科	〇	一	絲椿象科	一	一	毒蛾科	〇	〇	擬瓢蟲科	一	七
蒭馬科	〇	一	椿象科	三	一	鳳蝶科	六	六	蟻科	一	六
介殼蟲科	三四	一	細蛾科	一	一	家蠅科	一	〇	胡蜂科	三	一
粉蝨科	三	二	葉捲蛾科	四	一	實蠅科	五	一	壁蝨類	四	一
蚜蟲科	三	五	螟蛾科	二	〇	天牛科	〇	三	線蟲類	〇	〇
木蝨科	一	一	避債蟲科	二	一	小蠹蟲科	一	一			
白蠟蟲科	六	二	刺蛾科	一	七	象鼻蟲科	七	一			
浮塵子科	七	三	燈蛾科	一	三	叩頭蟲科	三	〇	計	一〇九	一〇七

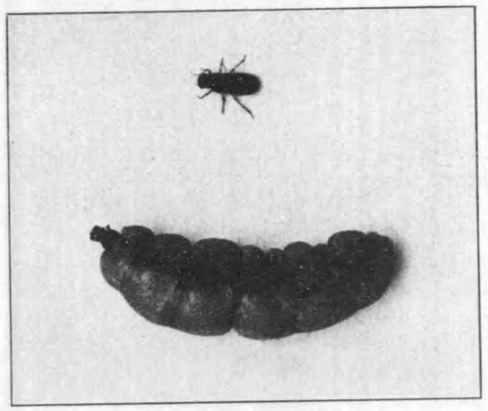
姬白鱘生存狀態

中央ノ王巣





巣ル成養ヲふんにハ層内蟻(職)兵ハ層外



女王

四　各論

一　ひめしろあり

學名　Odontotermes. formosanus Shiraki.

昆蟲學上ノ位置

白蟻目　Isoptera.　白蟻科　Termitidae.

形態上ノ特徴　女王ハ腹部著シク膨大シ乳白色ニシテ淡褐ノ小點ヲ散布ス脊腹ニハ黑褐長方形ノ幾丁質板ヲ横列シ體長一寸以上二寸ニ及ブモノアリ、王ハ羽蟻時代ヨリ少シク肥大スルノミ、兵蟻ハ割合ニ小ク大腮比較的纖弱ニシテ内方ニ一個宛ノ小齒ヲ有ス職蟻ハ頭大胸部細ク腹部球狀ニ膨大ス腰部ハ著シク縊レタル觀ヲ呈シ一見萎縮セル形ヲナス腹背ニハ内臓物透見シテ紋様ニ現ハル

經過習性　未ダ彼等ノ壽命ヲ知ル能ハザレドモ女王死スレバ次第ニ絶滅スルモノノ如シ（女王ノ壽命ハ大凡四五年ナランカ）、毎年四月ヨリ八月ニ亘リテ羽蟻巣外ニ出デ空中ニ群飛ス、空中或ハ地上ニテ雌雄相求メ地上ヲ馳走ス、適所ヲ索メテ雌雄土中ニ入リ相協力シテ營巣シ三四週日ヲ經テ産卵ヲ始ム、始メハ數粒宛數日間産卵シテハ休止シ暫ラク休止シテハ産卵ス、斯クシテ次第ニ其

數ヲ增シ個數ノ殖ユルニ從ヒ女王モ亦腹部膨大シ遂ニハ全ク匍匐スルコト能ハザルニ到リ職蟻及兵蟻ノ保護ヲ受クルニ到ル、其後ハ唯產卵スルノミニシテ營巢其他ノ勞働ハ職蟻之ニ當リ幼蟲ノ保育及ビ團體ノ擁護ニハ主ニ兵蟻是レヲ掌ルモノノ如シ、職蟻ハ地上ニ道ヲ通ジ樹木ノ表面ニ泥土ヲ塗リ其內ニアリテ表皮ヲ食シ又甘蔗、篦麻、甜瓜ノ如キモノニアリテハ內部ニ蝕入シテ表皮ヲ殘ス竹ニアリテハ枯死セルモノ表面ニ泥土ヲ塗リ次第ニ食ヒ行クナリ、電柱ノ如キハ割目ヨリ內部ニ食入スルコトアルモ多クハ土際ヲ表面ヨリ食フヲ常トス、一體該種ノ性質トシテ泥土ヲ塗布シ其內ニアリテ表面ヨリ次第ニ食フト共ニ生キタル物ヲ好ミテ襲フヲ特徵トス、本蟲ハ自己ノ排泄物等ヲ集メテ巢ヲ營ム、巢ニハ一面ニ一種ノ菌繁殖ス幼蟲、兵蟻、王及女王ハ此菌ヲ主要食料トス巢ハ總テ土中ニアリ淺キモノハ地面下一寸內外深キモノハ丈餘ニ及ブ、是等ノ巢ハ凡テ女王ヲ中心トシテ造ラレ通路ニテ相連絡ス王臺ハ獨立シテ存在スルモノ多ケレドモ又巢內ニ抱擁セラルルモノアリ、何レモ扁平ノ土塊ニシテ王ト女王ノ居所ナリ、該種ハ原野ヲ好ミ又竹藪ニ棲息ス十數間ノ遠キニ出働スル事アリ

島內ニ於ケル被害物　甘蔗、篦麻、甜瓜、茶、柑橘、桃、柿、檬果、蓮檬、楝、楓、龍眼、想思樹、杉、松、枯竹、木材、薔薇、樟、茄苳、蕃石榴、楊桃

分布　臺灣

島內分布狀況　全島到ル所ニ產ス、大害ヲナス事アリ、臺南地方最モ甚ダシ

驅除豫防法

一、羽蟻ヲ好ミテ食スルモノニ蝙蝠、蛙、家禽類アリ又蟻類ハ巢內ヲ襲ヒテ職蟻及兵蟻其他幼蟲ヲ啣ヘテ自巢ニ運ブ、故ニ是等自然界ニ於ケル敵蟲類ヲ出來得ル限リ利用スルヲ可トス

二、女王ヲ捕殺スルコト

三、一時的ナレドモ通路ヲ攪破スルハ効アリ

二、おんぶばった

學名　Atractomorpha bedeli Bolivar.

昆蟲學上ノ位置

直翅目　Orthoptera.　蝗蟲科　Acrididae.

形態上ノ特徵　成蟲ハ全體靑綠色ニシテ前後兩端著ク尖リ、雌雄其ノ大サヲ異ニス、雌ハ一寸一二分、雄ハ七分內外、幼蟲ハ體形成蟲ニ似テ帶黃綠色、纖弱ナリ

經過習性　年二回發生ス、普通卵子ノ狀態ニテ越年シ三月ヨリ五月ノ間ニ孵化シ六月ニ入リテ羽化ス八月中第二回ノ幼蟲孵化シ十月ヨリ羽化スルモノ多シ、十二月ニ入ラバ多クハ斃死スレドモ中

ニハ翌年ノ一二月頃迄生存スルモノアリ

幼蟲成蟲共ニ加害ス、今迄ノ調査ニヨレバ農作物中甘藷ヲ最モ好ムモノノ如ク、柑橘ヲ食害スルコトハ寧ロ少ナシ、幼蟲成蟲共ニ遲鈍ニシテ成蟲ノ如キハ他ノ蝗類ニ比シテ飛逃スルコト少シ、常ニ葉上ニアリ、葉緣ニ沿ヒテ食害ス

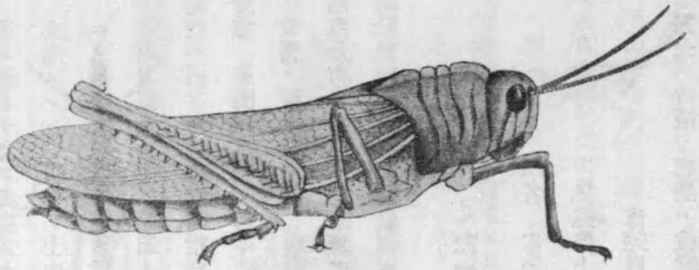
産期 到ラバ土中ニ産下ス、卵子ハ黃白色ニシテ長楕圓、數粒乃至二三十粒ヲ塊狀ニ産下シ、一種ノ粘液ニテ包結ス、成蟲幼蟲共ニ群集性ナラザレドモ、孵化セル地ヨリ遠ク離レザルガ故ニ、甘藷畑ニ在リテハ、往々群居スルガ如ク見ユルコトアリ

島内ニ於ケル被害物 柑橘、甘蔗、甘藷、稻、雜草

分布 日本

島内分布狀況 全島到ル所、山野ノ別ナク生存シ其數尠ナカラズ

驅除豫防法



一、幼蟲成蟲共ニ捕蟲網ニテ捕殺スベシ

二、冬期被害地ヲ耕耡スルヲ可トス

三 おほあをばつた

學名 Acridium flavicorne Vier.

昆蟲學上ノ位置

直翅目 Orthoptera 蝗蟲科 Acrididae.

形態上ノ特徵 本邦産蝗蟲中最大ノモノニシテ、全體綠色、後翅淡紅色ナリ、後脚ヨク發達シ脛節ノ後緣紅色ニシテ多クノ剛刺ヲ有シ跳躍力强大ナリ、幼蟲ハ全體鮮綠色ニシテ成蟲ト體形同ジク唯ダ翅ヲ缺クノミ

經過習性 年二回發生ス、卵子ノ狀態ニテ越年スルヲ普通トスルモ儘々成蟲態ニテ越年スルモノアリ、幼蟲成蟲共ニ柑橘ノ葉ヲ食害ス、幼蟲ハ形成蟲ト等シキモ翅ヲ缺ギ觸角ノ環節數少シ、孵化當時ハ群棲スルモ長ズルニ從ヒ漸次離散ス、成蟲ハ常ニ柑橘ノ葉上ニアリ葉

或ハ嫩芽ヲ食フ獨棲性ナリ、時ニ雄ノ雌蟲ニ近ヅキ二三頭集合スルコトアレドモ一時的ナリ卵巣成熟スレバ、腹部ヲ土中ニ差シ込ミ黄色ニシテ長楕圓ノ大ナル卵子ヲ塊狀ニ産下ス、卵ハ膠質物ニテ包マレ塊狀ヲナス、一卵塊内ニ數十粒ヲ含ム、成蟲、幼蟲共ニ性遲鈍ニシテ容易ニ飛去セズ、跳躍力强キモ他ノ蝗蟲ノ如ク一躍數尺ノ遠キニ達スルコト能ハズ

島内ニ於ケル被害物　柑橘、甘蔗、棉

分布　臺灣、瓜哇、めるぼーん、ばーも、しるべと、あつさむ、かんぼぢや、こうちんちやいな、支那ノ南方

島内分布ノ狀況　全島到ル所ニ産スルモ其數尠シ

驅除豫防法　圓形捕蟲網ニテ捕殺スベシ

四　くだまきもどき

學名　Holochlora japonica Brunn.

昆蟲學上ノ位置

直翅目　Orthoptera.　螽蟖科　Locustidae.

形態上ノ特徴　成蟲ハ螽蟖ニ似テ細長、翅ハ廣大ニシテ尾端ヲ超ユ、尾端ニ有スル産卵器ハ扁平短大

ニシテ上方ニ卷轉シ、緣邊ニ小齒ヲ列シ宛ラ鋸ノ如シ、雄蟲ハ翅ニ發音鏡ヲ有ス體長一寸内外、翅先ハ遙カニ尾端ヲ超ユ

經過習性　年二回發生ス、第一回ノ成蟲ハ五月ヨリ七月ニ亘リテ現ハレ、第二回ノ成蟲ハ八月以後ニ現ハル

幼蟲成蟲共ニ肉食性トシテ知ラレ居レドモ、植物性ノモノヲ取ルコト無キニシモアラズ、産卵ハ單ニ柑橘ノミヲ選ブニアラザレドモ時トシテハ非常ニ侵サルルコトアリ、幼蟲、成蟲共ニ柑橘ヲ食フガ如キ形跡ナシ、而シテ柑橘園ニテハ多クハ成蟲ニシテ幼蟲ヲ見ルコト甚ダ稀ナリ、單棲性ニシテ成蟲ハ趨火性アリ、該蟲ハ稚枝ヲ裂キテ内ニ産卵スルガ故ニ害蟲トセラルルノミ

島内ニ於ケル被害物　柑橘、桑

分布　日本

島内分布狀況　全島到ル所ニ産スレドモ、平地ヨリ山地ニ近ヅクニ從ヒテ多シ

驅除豫防法

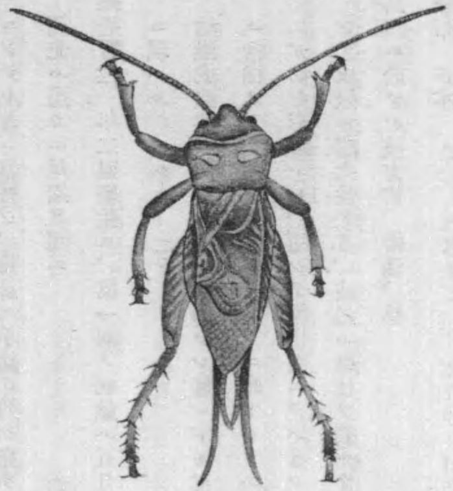
一、捕蟲網ニテ成蟲ヲ捕殺スベシ

五　たいわんおほこほろぎ

學名　Brachytrypus achatinus Stal.

昆蟲學上ノ位置

直翅目　Orthoptera.　蟋蟀科　Gryllidae.



形態上ノ特徴　本邦産蟋蟀中最大ノモノニシテ脚ヨク發達シ剛刺ヲ有ス、殊ニ後肢ノ發達著シ幼蟲ハ形成蟲ニ類シテ小サク、光澤薄クシテ翅ヲ缺クノミ

經過習性　年二回發生シ二三月ノ候第一回ノ幼蟲現ハレ六七月ノ候成蟲トナル

幼蟲ハ初メ日夜ノ差別ナク葉上ニアリテ食害スレドモ長ズルニ從ヒテ主ニ夜間食ヲ求ムルニ至ル、性强猛ニシテ鬪爭ヲ好ミ同類相咬ガ故ニ同棲スルコトナク各自穴居シ長ズルニ從ヒ次第ニ其深サヲ增シ、老成スル頃ニハ三尺乃至四尺ニ及ブ、常ニ孔内ニ蟄居シ夜間密カニ出デテ食ヲ求ム食大ナレバ葉柄ヨリ小ナレバ莖ヨリ咬ミ切リ孔内ニ引キ入レテ食フ、成蟲トナレバ同ジク孔内ニ棲息スレドモ夜間ハ出デ、雄蟲ハ發音ス、其音高クヨク響キテ愛スベシ雌ハ受精後土中ニ入リテ一所ニ產卵ス成蟲幼蟲共ニ擧動敏捷ナラズ故ニ地上ニアル時ハ容易ニ捕フルコトヲ得

島内ニ於ル被害物　柑橘、胡麻、西瓜、茄子、甘藷、落花生、甘蔗、茶、樟、想思樹、杉、棉、竹、陸稻

分布　南方支那、印度、臺灣

島内分布ノ狀況　全島ニ產シ到ル所被害多ク、殊ニ嘉義廳下ニ甚ダシ

驅除豫防法

一、甘藷ヲ養ノ目ニ切リ豆油ヲ塗リタル後、亞砒酸ヲ塗抹シテ一個宛蟲孔ニ入レ翌朝其蟲孔ヲ檢シ孔口上ニ新土アレバ更ニ投入スベシ、新土ナケレバ死セルノ證ナリ竹ノ嫩芽ノ切口ニ亞砒酸ヲ塗リテ用ユレバ一層効アリ

二、蟲孔ヨリ水ヲ注入シ蟲ノ出デ來レルモノヲ捕殺スベシ、又水ヲ注入スルト共ニ石油二三滴ヲ滴下スレバ一層有効ナリ

三、籐ヲ細ク割リタルモノ、或ハ割竹ノ先ニ杉ノ葉或ハ釣針ヲ括リ付ケ、孔内ニ刺シ入レ蟲ヲ退

ヒ出シテ捕フルモヨシ

六　みかんのくだあざみうま

學名　未　詳

昆蟲學上ノ位置

總翅目　Thysanoptera.　管薊馬科　Phlaeothripidae.

形態上ノ特徵　成蟲ハ全體黑色ニシテ翅ハ稍ヤ白ク體長一分內外、細長ニシテ翅ハ常ニ背上ニ置キ、四翅共ニ狹長ニシテ周緣ニ毛ヲ列生ス、幼蟲ハ形成蟲ニ似テ淡紅或ハ暗黑色ヲ呈シ翅ヲ缺ク

經過習性　年幾回發生スルヤ明カナラザレドモ、夏季ニアリテハ常ニ幼蟲ヲ見ルガ故ニ、化生數尠カラザルヲ知ル

幼蟲、成蟲共ニ嫩枝又ハ嫩葉上ニアリテ生活シ、嫩葉ノ表皮ヲ食ヒテ捲縮セシメ發育ヲ害スルコトアリ、性群居ヲ好ミ往々一樹ノ中ニテモ或枝ニ限リテ存在スルコトアリ

島內ニ於ル被害物　柑橘

分布　臺灣

島內分布狀況　全島到ル所ノ柑橘園ニ見レドモ、概シテ南部地方ニ多シ、然シ其害恐ルヽニ足ラズ

驅除豫防法

一、松脂合劑二十倍乃至三十倍液ヲ注射スルヲヨシトス

二、石油乳劑十倍乃至三十倍液ヲ注射スルモヨシ

七　わたふきかひがらむし

學名　Icerya purchasi Mask.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　介殼蟲科　Coccidae.

形態上ノ特徵　成蟲ハ背面龜甲狀ニ隆起シ、全體橙黃色ニシテ黑色ノ短毛ヲ粗生シ、背上ニハ蠟質物ヨリナル毛及ビ粉ヲ裝フ、眼觸角口部及ビ脚ハ黑シ、腹ハ體ノ半ヲ占メ各節ノ兩側緣ハ少シク突出シ、其先端ヨリ束狀ヲナセル綿樣物ヲ分泌ス、是等ノ綿絮束ハ次第ニ伸長シ腹面ヨリ分泌セル板狀ノモノト合シテ囊ヲ形成ス、爲メニ囊面ニハ十五條ノ隆起線ヲ縱走ス、是レ卵囊ニシテ產卵スルニ從ヒ次第ニ長大シ二分五厘內外ニ及ブ、該種ハ柑橘ニ寄生スル介殼蟲中最大ノモノニシ

テ介殼ヲ有セズ、背面僅カニ硬化シ體面ニ有スル綿絮物ハ一二齡中ハ黄色ヲ帶ブレド三齡後ニ到レバ純白トナルヲ特徴トス

經過習性

調査地 / 項目	蠶			西ケ原		
	經過月日	世代日數		經過月日	世代日數	
孵化	明治四十二年四月二十二日			明治四十三年十月二十日		
幼蟲老熟卵囊形成	六月十八日	五十八日	(卵ト成蟲期ヲ除キテ)	明治四十四年五月二十六日	百八十九日	(卵ト成蟲期ヲ除キテ)
孵化	七月七日					
幼蟲老熟卵囊形成	九月二十六日	八十二日		八月十二日	八十三日	
孵化	十月二十六日			九月二十日		
幼蟲老熟卵囊形成	明治四十三年二月十六日	百十四日				

右表ノ如ク本島ニアリテハ、年三回發生シ夏季ノ一代ハ大凡九十日、秋季ニアリテハ百二三十日、冬季ニアリテハ百四五十日餘ヲ要ス

成蟲トナレバ卵囊ヲ形成スルト共ニ産卵ヲ初ム、産卵スルニ從ヒ卵囊增大ス、卵ハ一粒宛白色ノ絹絲樣ノモノニテ包マレ、卵子ハ數週日ニ亘リテ産ムガ故ニ前ニ産レタルモノヨリ漸時孵化ス、孵化セル幼蟲ハ數日間卵囊内ニアリテ容易ニ外ニ出デズ、卵囊ヲ辭セル幼蟲ハ體面ニ蠟質物ヨリ成ル長キ細毛ヲ有シ、外氣温暖ナレバ觸角ヲ前方ニ突出シ尾端ヲ擧ゲ

テ樹上ヲ盛ンニ上下シ容易ニ口吻ヲ樹皮下ニ挿入セザレドモ、寒冷ナル時ハ遠ク移動セズ、多クハ母體下ニ集リテ口吻ヲ樹皮下ニ挿入ス、幼蟲ハ食ヲ採ラザル以前ニアリテハ數日ニ亘リ絶食スルモ衰弱セズ、而シテ一旦口吻ヲ樹皮下ニ挿入シ樹液ヲ吸收スルヤ漸時體形ヲ變ズ、蛻皮當時ノ他ハ容易ニ移動セズ葉及ビ稚枝ヲ好ミ又幹ト雖モ皮薄キ部分ヲ選ビテ寄生ス、柑橘ニテハ主トシテ葉ノ裏面ニ寄生ス、蛻皮毎ニ居所ヲ換ヘ長ズルニ從ヒ葉面ヲ辭シテ枝幹ニ移ルヲ常トス、老熟スレバ卵囊ヲ形成シ同時ニ産卵ヲ初ム、飼育中ノ觀察ニヨレバ受精セズシテ數代存續スルコトヲ得ルモ代ヲ重ヌルニツレ體ノ大サヲ減ズルト共ニ産卵數著シク減退ス、斯カルモノノ卵子ヨリハ多クノ雄蟲ヲ生ズルヲ見ル然シテ産卵シ終レバ其儘斃死ス該蟲ノ生存スル所必ラズ煤病ヲ誘發ス

事項 / 寄主	想思樹	同	同	同	萩	柑橘	同	木藍	同	河原蓬
年月日	四十一年八月廿三日	四十一年十二月五日	四十二年一月廿日	四十二年三月六日	四十一年十二月五日	同 上	四十二年三月六日	四十二年二月七日	四十二年三月六日	同 上
蟲數	三	一〇	九	一〇	一〇	一九	一〇	九	一〇	一〇
平均體長	—	一、八五五	二、一七	二、三五五	二、三八	一、七八	二、一四	二、〇五	一、七八	二、三三
平均體幅	—	一、七二	一、七二	一、九八	一、九二	一、五八	一、六九	一、五一	一、七三	一、七七
平均卵囊長	—	二、四四	二、〇七	二、四九	二、一二	一、六三	一、九五	一、六四	一、九六	二、二三
平均卵囊幅	—	一、七七	一、七三	二、〇二	二、〇五	一、五七	一、七四	一、六四	一、七九	一、八一
平均卵數	五八一	四二三	五九四	九一〇	八九六	三三八	六二三	八〇四	五七九	八四四

島内ニ於ル被害物　さうしじゆ、きんきじゆ、びるまねむ、もらつかねむ、みやまはぎ、したん、

めどはぎ、はぎ、かつしやふろりだ、ぐれびれあろぶすた、さんごしどう、ぼいんしあなれぎあ、もくらん、とりのくちばし、れもん、ざぼん、なつみかん、ねーぶるれれんじ、きんかん、ぶつしゆかん、からたち、なし、あかぎ、こでまり、せいよーばら、あかりは、おほはぎ、くわ、たうごま、くろとん、なんきんはぜ、あかめがしわ、もくまわう、ぎよりう、いちゞく、おほいたび、しそ、たいわんひめじそ、べにばなさるびや、まるばはげいとう、なんてん、しかうくわ、しだれやなぎ、たいわんやなぎ、よもぎ、かわらよもぎ、しろばなせんたんぐさ、もつくわ、うらじろえのき、くす、こばのがまずみ、たいわんれんぎやう、ばんざくろ、ちいくのき、ほうらいむらさき、ごむかつら、けふちくとう、ちや、にとべかづら、つるどくだみ、はなしべのき、ゆうかり、えんのき、ほちやうじ、ぎよくらん、ふよう、てりはぼく、ひかげのかづら、以上列記セルモノハ其ノ一部ニ過ギズ

分布　日本、濠洲、にゆーじらんど、北あめりか、けーぷたうん、葡萄牙、しりあ、新嘉坡、南部支那

島内分布狀況　全島ニ傳播シ時々大害ヲナスコトアレドモ、**べたりや**瓢蟲ノ爲メニ直ニ食ヒ盡サルルヲ以テ恐ルベキ害ヲ見ザルナリ

驅除豫防法

一、**べたりや**瓢蟲ヲ應用スベシ

二、盆栽ノ場合ハ手ニテ潰殺スベシ、又筆ニテ松脂合劑十倍液ヲ塗布スルモヨシ、

三、果樹園ノ一部分ニ發生セル場合ハ松脂合劑十五倍液ヲ撒布スベシ

四、青酸瓦斯燻蒸法ヲ行フベシ

八　をかだわたふきかひがらむし

學名　Icerya okadae Kuwana.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　介殼蟲科　Coccidae.

形態上ノ特徴　成蟲ハ一見前種ニ似タレドモ卵嚢ノ構成ヲ異ニス、形ハ稍々卵形ニシテ扁平背部少シク膨起シ全體白粉ヲ裝ヒ、體ノ兩側ニハ綿絮ヨリナル小突起ヲ連ヌ、綿絮ノ表面ハ淡黄色ヲ呈セリ又背上ノ正中線ニ沿ヒテ綿絮ヨリ成ル瘤狀物アリ、共ニ黄色ヲ呈ス、老熟スレバ腹面ニ綿絮ヨリ成ル粗末ノ嚢ヲ造リテ産卵ス、體一分五厘乃至二分、幅一分乃至一分五厘、幼蟲ハ體形稍々長楕圓ニ近ク背面全ク黄色ノ粉及ビ綿絮ニテ覆ハル

經過習性

項目＼世代記	一代	二代	三代	一代	二代
孵化	四十四年三月三十一日	七月十七日	十一月十二日	四十五年四月二十九日	七月二十四日
產卵	六月二十日	十月十四日	四十五年三月二十六日	六月二十八日	
世代日數（成蟲期ヲ除ク）		百十七日	百六十四日	九十四日	

右表ノ如ク年三回發生ス

密集性ヲ有シ、葉及ビ稚枝ニ多ク寄生シ、**わたふきかひがらむし**ノ如ク長ズルニ從ヒ枝幹ニ移ルガ如キコト少シ、又彼ニ比シ生殖力弱ク傳播遲々タリ甚ダシク煤病ヲ誘發ス

島内ニ於ル被害物　柑橘、楓、**もくたちばな、あかりは**

分布　日本

驅除豫防法

一、**べたりや**瓢蟲ヲ應用スベシ

二、青酸瓦斯燻蒸ヲ應用スベシ

三、松脂合劑十五倍液ヲ撒布スベシ

九　えぢぷとわたふきかひがらむし

學名　Icerya cayptiaca Dougl.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　介殼蟲科　Coccidae.

形態上ノ特徴　幼蟲成蟲共ニ柑橘ヲ害ス大サ及ビ形前種ニ類スレドモ體ノ周緣ヨリ發スル綿絮束ハ長クシテ旋轉シ純白ナルガ故ニ前者ト區別スルコト容易ナリ、體ノ地色ハ鮮紅色ナリ老熟スレバ腹面ニ粗袋ヲ造リテ產卵ス、體長二分內外

經過習性　年幾回發生スルモノナルヤ未ダ明カナラザレドモ、多クモ三、四回ヲ出デザルベシ、葉及ビ葉腋ニ密集シテ寄生スルノ性アリ、成蟲トナリテモヨク移動ス、生殖力前者ヨリモ盛ナレドモ傳播力ハ微弱ナルモノヽ如シ、前者同樣煤病ヲ誘發ス

島内ニ於ル被害物　柑橘、**くろとん**、蕃石榴、蒲葵、榕樹

分布　臺灣、印度、埃及、錫蘭、濠洲

島内分布狀況　淡水、臺南等

驅除豫防法

一、青酸瓦斯燻蒸法ヲ行フベシ

二、松脂合劑十五倍液ヲ撒布スベシ

一〇 みかんわらぢかひがらむし

學名 Pseudococcus citri Risso.

昆蟲學上ノ位置

有吻目 Rhynchota. 介殼蟲科 Coccidae.

形態上ノ特徴 成蟲ハ介殼ヲ有セズ、楕圓形ニシテ地色淡黄、稍肥大、背面ニ白粉ヲ裝フ、各體節ノ側緣ヨリハ細長キ綿絮ヲ分泌ス、體長一分乃至一分五厘内外

經過習性 年六回化生ス左ノ如シ

項目＼世代記	一代	二代	三代	四代	五代	六代
孵化	四十五年二月十五日	四月二十一日	六月十四日	七月二十九日	九月十九日	十一月二十四日
産卵	四月五日	六月一日	七月十六日	九月二日	十一月一日	大正二年二月七日
世代日數（成蟲期ヲ除ク）		五十八日	四十六日	四十九日	六十一日	九十九日

常ニ幼蟲、成蟲ヲ見ル、乾燥セル園ヨリ蔭濕ノ地ニ多シ、性陰所ヲ好ムモノヽ如ク葉ト葉ト重ナレル間或ハ葉腋、果床等ニ密集ス、擧動不活潑ニシテ幼蟲モ多ク移動セズ、老成スレバ尾端ヨリ綿絮狀ノ卵囊ヲ分泌シ卵子ヲ産下ス、産卵シ終レバ其儘斃死ス、性甚ダシク群棲ヲ好ム煤病ヲ誘發ス

島内ニ於ル被害物 柑橘、蕃石榴、仙丹花、棉

分布 日本、歐洲、布哇、伯國、北亞米利加、瓜哇等

島内分布狀況 全島ニ産ス、果實ニ大害ヲナスコトアレドモ木ヲ枯死セシムルニ至ラズ

驅除豫防法

一、青酸瓦斯燻蒸法ヲ適用スベシ

二、松脂合劑十五倍液ヲ撒布スベシ

一一 わらぢかひがらむし

學名 Pseudococcus filamentosus Ckll.

昆蟲學上ノ位置

有吻目 Rhynchota. 介殼蟲科 Coccidae.

形態上ノ特徴 成蟲ハ前種ニ似テ、體短楕圓、地色暗黑色ニシテ紫色ヲ帶ビヨク肥大ス、體面ニハ

僅カニ白粉ヲ裝ヒ老成スレバ淡黄色ノ絹絲狀ノモノヲ分泌シ卵囊ヲ形成ス、卵囊ハ球狀ニシテ徑七八厘、蟲體ノ長サ一分内外

經過習性　臺北ニ於テ年七回化生ス左表ノ如シ

項目＼世代	一代	二代	三代	四代	五代	六代	七代
孵化	大正二年二月四日	四十五年四月二日	五月七日	六月十四日	八月四日	九月十五日	十月廿七日
産卵	三月廿九日	四月三十日	六月八日	七月廿八日	九月二日	十月十三日	大正二年一月十八日
世代日數（成蟲期ヲ除キテ）		三十三日	四十日	五十一日	三十七日	四十二日	百八日

葉腋ニ最モ多ク、果實之ニ亞ギ、又好ンデ新芽ニ寄生ス、甚ダシク密集シ一度寄生スレバ容易ニ移動セズ、成蟲トナレバ其儘産卵ヲ始ムルガ故ニ卵囊ハ疊々トシテ重積ス、是レヲ潰セバ紫色ノ液汁ヲ漏ラス、其害甚ダシ又煤病ヲ誘發ス

番號	産卵數
1	376
2	171
3	317
4	386
5	364
6	174
7	389
8	215
9	288
10	262
11	258
12	396
13	139
14	342
15	554
16	348
17	366
18	412
19	234
20	24
一頭平均	314

島内ニ於ケル被害物　柑橘、釋迦頭、甘藷、棉、桑

分布　臺灣、濠洲、布哇、瓜哇、まうりてゐうす

島内分布狀況　全島ニ産ス、殊ニ南部地方ニ多ク、大害ヲナス

驅除豫防法

前種ト同ジ

一二　をながわらぢかひがらむし

學名　Pseudococcus longicornis Ket.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　介殼蟲科　Coccidae.

形態上ノ特徵　介殼ヲ有セズ、體、前二者ニ酷似シテ扁平、地色灰黑ク背面ニ白粉ヲ密裝シ各體節ノ側緣ヨリハ細長キ綿絲ヲ出シ、内尾端ヨリ出ヅル二本ハ著シク長クシテ尾狀ヲ呈ス、故ニ斯ノ名アリ體長一分弱

經過習性　年幾回發生スルヤ未ダ不明ナリ

常ニ葉面ヲ匍匐シ又果實面ニ寄生ス、多クハ葉裏ニ棲息スレドモ葉腋ニ集マルコトモアリ、個數少ナキ種類ナルガ故ニ稀レニ見ルノミ、高燥ニシテ風通ショキ地ニ少ナク陰濕ノ地ニ多ク産卵ス、幼蟲ハ前二者ヨリ活潑ニシテヨク歩行シ、前者ノ如ク密集性ナラズ煤病ヲ誘發ス

島内ニ於ル被害物　柑橘

分布　臺灣、布哇

島内分布狀況　全島ニ產スレドモ稀レニ見ルノミ、大害ヲナセルヲ見ズ

驅除豫防法

前種ノ如シ

一三　みかんこなかひがらむし

學名　Orthezia insignis Dougl.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　介殼蟲科　Coccidae.

形態上ノ特徵　介殼ヲ有セズ、小判狀ニシテ扁平帶紅暗黑色ニシテ表面ニ白粉ヲ裝フ手ニテ摩ストモ**わらぢかひがらむし**ニ於ルガ如ク脫離シ易カラズ、體長二分五厘內外、幼蟲ハ形貌成蟲ト區別シ難ク唯ダ小形ナルノミ

經過習性　年何回發生スルモノナルヤハ未知ニ屬ス

幼蟲成蟲共ニ加害ス、今日迄ニ唯新竹廳下青草湖庄ニテ採集セルノミ、葉腋又ハ果床ニ寄生スル

ヲ見ル、性不活潑ナレドモ時々移行スルガ如シ

島内ニ於ケル被害物　柑橘

分布　臺灣、布哇

島内分布狀況　新竹ニテ採集シタルノミ未ダ他ニハ見ズ

驅除豫防法

前種ノ如シ

一四　かめのかふらふむし

學名　Ceroplastes floridensis Comst.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　介殼蟲科　Coccidae.

形態上ノ特徵　幼蟲成蟲共ニ介殼ヲ有セズ、背面ニハ蠟質物ヲ分泌シテ體ヲ覆フ、分泌物ハ幼蟲時ニ於テ星形ヲナセドモ長ズルニ從ヒ尖角ヲ失フ、色桃色ニシテ徑七八厘

經過習性　年何回發生スルヤ未ダ不明ナリ

好ミテ稚枝ニ、稀ニ葉ニ寄生ス、幼蟲ハ普通介殼蟲ノ幼蟲ト同ジク自由ニ歩行スレドモ一旦口吻

ヲ樹皮下ニ挿入シ樹液ヲ吸收シ初ムレバ、體ヲ玆ニ固定シ蠟質物ヲ分泌シ初メ一生移動スルコトナシ、幼蟲ハヨク運動ス、サレド母體ヨリ遠ク離ルルコト稀ナリ

島内ニ於ル被害物　柑橘

分布　日本、南亞米利加、印度、布哇、濠洲、瓜哇

島内分布狀況　全島ニ產ス、稀レニ著シク寄生セルモノヲ見ルモ一體ニ少ナシ、生殖力モ亦微弱ナリ

驅除豫防法

前種ノ如シ

一五　もゝいろらふかひがらむし

學名　Ceroplestes sp.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　介殼蟲科　Coccidae.

形態上ノ特徵　幼蟲成蟲共ニ、介殼ノ代リニ蠟質物ヨリ成ル厚キ覆ニテ體ヲ包ム、蠟質物ノ色ハ帶紅暗褐色ナリ、蠟被物ノ左右及ビ後側緣ニ暗白ノ短カキ隆起線ヲ有ス、背面ハ僅カニ凸凹アレドモ前種ノ如ク明カナラズ前種ヨリ稍々大ナリ

經過習性　年幾回發生スルヤ未ダ不明

今日迄採集セラレタルモノハ何レモ葉ノ表面ノ主脈上ニ寄生セリ、何レモ一頭宛ニシテ群集セルモノヲ見ズ、然シ其採集セルモノハ甚ダ僅少ナレバ斷言シ難シ、外形ニ於テハ Ceroplastes rubens Mask. ニ酷似スレドモ習性其他ノ點ニ於テハ然ラズ、暫ラク疑問ノモノトナシ置クベシ

島内ニ於ル被害物　柑橘

分布　臺灣

島内分布狀況　桃園、臺北ノ二廳下ニ於テ採集サレタルノミ本島ニ早クヨリ棲息セルモノナルヤ、否ヤモ不明ニシテ其害ノ如キモ論ズルニ足ラザル程微弱ナリ

驅除豫防法

一、青酸瓦斯燻蒸法ヲ行フベシ

一六　みかんたまかひがらむし

學名　Lecanium. hemisphaericum Targ.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　介殼蟲科　Coccidae.

形態上ノ特徴　幼蟲、成蟲共ニ短楕圓黑褐色ニシテ滑澤アリ、稍球狀ニ膨大セル介殼ノ下ニアリテ生活ス、成蟲ノ介殼ハ長徑七八厘内外、幼蟲ノモノハ成蟲ニ似テ小形ナルノミ

經過習性　年幾回發生スルヤ未ダ明カナラザレドモ、多クモ二回ヲ出デザルベシ左表ノ如シ

項目＼世代	一代	二代
孵化	四十五年一月十八日	
産卵	六月六日	六月二十八日
世代日數		死滅

葉ヲ好ムガ故ニ、葉面ニ多ケレドモ稚枝ニ見ルコトモ亦尠ナカラズ、該蟲ニハ蟻ヲ伴フヲ普通トス、老成スレバ殼内ニ産卵ス、卵ハ僅カノ白粉ニテ包マル幼蟲ハ密集スルコト尠シ

島内ニ於ケル被害物　柑橘

分布　各國ニ亘リ廣ク分布ス

島内分布狀況　全島ニ分布スルモ未ダ大害ヲナセルヲ見ズ

驅除豫防法

一、青酸瓦斯燻蒸法ヲ行フベシ

二、松脂合劑十五倍液ヲ撒布スベシ

一七　ふとながかひがらむし

學名　Lecanium longulum Dougl.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　介殼蟲科　Coccidae.

形態上ノ特徴　介殼ハ柔軟ニシテ體ト離レズ、長楕圓形ニシテ淡褐、成蟲ノ介殼ハ長徑一分四五厘、幼蟲ノ介殼ハ淡褐暗灰色ニシテ扁平、前後兩端其太サヲ同ジウス周緣ニ沿ヒ微カニ龜甲狀ノ紋刻ヲ現ハス、成蟲ハ殼下ニ産卵スルヲ以テ卵子ハ外部ヨリ見エズ

經過習性　年四回化生ス左表ノ如シ

項目＼世代	一代	二代	三代	四代	一代
孵化	四十五年二月二十六日	六月二十九日	七月廿一日	九月二十三日	一月八日
産卵	六月十五日	七月十九日	九月十二日	十二月十六日	五月十九日
世代日數（成蟲期ヲ除キタル）		三十五日	五十六日	九十六日	百五十五日

成蟲、幼蟲共ニ柑橘ヲ害ス、幼蟲ハ孵化後漸次介殼外ニ出ズ、龜甲介殼蟲ニ比シ良ク匍匐シ廣ク離散ス密集シテ寄生スレドモ龜甲介殼蟲ノ如ク密集セズ、一旦寄生セバ容易ニ移動セズ、稚枝ヲ

好ミ又葉ノ中肋ニ寄生ス、寄生部枯死スレバ他ニ移動ス、生殖力ニ於テハ前者ニ及バザレドモ傳播力ハ強シ該蟲ノ生存スル所必ズ煤病ヲ伴フ、往々煤病ノ爲メニ絶滅スルコトアリ

島内ニ於ケル被害物　柑橘、木麻黄、扶桑華、**くろとん**、葡萄、相思樹

分布　臺灣、布哇、支那

島内分布狀況　全島ニ產ス到ル所ニ於テ大害ヲナス前者ハ比較的南部ニ多キニ反シ之ハ北部ニ多シ

驅除豫防法

前種ノ如シ

一八　はんえんかひがらむし

學名　Lecanium sp.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　介殼蟲科　Coccidae.

形態上ノ特徵　介殼ハ扁平ニシテ廣大、半月形ヲナシ輪紋ヲ有スレドモ多クハ判明ナラズ、殼長一分一二厘、柑橘ニ寄生シ介殼ヲ形成スル介殼蟲中ニテ最大ノモノナリ

經過習性　年三回化發ス即チ左表ノ如シ

項目＼世代	一代	二代	三代
孵化	四十五年一月二十日	六月二十八日	八月二十三日
產卵	六月十六日	八月十四日	十二月二十八日
世代日數（成蟲期ヲ除キテ）		六十日	百三十七日

幼蟲、成蟲共ニ加害ス、性葉面ノ中肋ニ沿ヒテ寄生ス、其中肋ニ接セル部分ノ介殼ハ直線ヲナシ反對ノ側ハ延長シテ圓形ニ廣大セリ故ニ半圓形トナル、稍ヤ群集的ニ寄生ス陰濕ニシテ風通シ惡シキ所ニアルモノハヨク繁殖ス、幼蟲ハ運動不活潑ナリ

島内ニ於ル被害物　柑橘、榕樹、月橘

分布　臺灣、支那

島内分布狀況　全島至ル所ニ分布スルモ大害ナシ

驅除豫防法

前種ノ如シ

一九　かめのこかひがらむし

學名　Pulvinaria aurantii Ckll.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　介殼蟲科　Coccidae.

形態上ノ特徴　成蟲、幼蟲共ニ加害ス、介殼ハ柔軟短楕圓ニシテ帶褐灰綠色、成蟲ノ介殼ハ長徑一分二三厘、幼蟲時代ノ介殼ハ前端少シク尖リ後端太クシテ恰モ木葉ノ如シ、淡綠ヲ呈シ葉脈樣ノ模樣アリ、產卵ヲ初ムルヤ介殼ハ體ト共ニ縮小シ、後部ニハ長大ノ白色綿絮ニテ包メル卵塊ヲ生ズ

經過習性　年三回發生ス即チ左表ノ如シ

項目＼世代	一代	二代	三代	一代	二代
孵化	四十四年五月三日	八月五日	十月二十日	五月八日	八月五日
產卵	七月一日	十月二日	四十五年四月二十二日	七月二十三日	十月十四日
世代日數（成蟲期ヲ除キサ）		九十四日	二百三日	九十二日	八十三日

幼蟲ハ主ニ稚枝面ニ寄生シ、重リ合ハザレドモ密集スル性アリ、成蟲ト成レバ多クハ葉面ニ移リ產卵ヲ初ム生殖力强盛ニシテ樹勢ヲ弱ラスコト甚ダ大ナリ、該蟲ノ生存スル所煤病ヲ誘發ス

番號	產卵數
1	2283
2	1522
3	1018
4	998
5	1719
6	1475
7	1448
8	1325
9	1418
10	1682
11	794
12	1594
13	1249
14	1017
15	1363
16	1434
17	1312
一頭平均	1401

島內ニ於ル被害物　柑橘、月橘、臺灣蓮蹺

分布　日本

島內分布狀況　全島ニ產ス、北部ヨリ南部ニ多ク大害ヲナス

驅除豫防法

前種ノ如シ

二〇　ひめくろかひがらむし

學名　Parlatoria zizyphus Lucas.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　介殼蟲科　Coccidae.

形態上ノ特徴　柑橘ニ寄生スル介殼蟲中、最モ小ニシテ漆黑色ナリ、介殼ハ稍長方形ニシテ先端ニ楕圓形ノ幼殼ヲ附着ス、後緣ニハ暗白ノ薄膜ヲ有ス、扁平ニシテヨク密着ス殼長四厘內外

經過習性　年七回發生ス左表ノ如シ

項目＼世代	七代	一代	二代	三代	四代	五代	六代	七代
孵化	四十四年十一月廿九日	四十五年二月五日	三月廿日	五月八日	六月廿二日	七月廿六日	九月九日	十一月七日

産卵	四十五年一月廿二日	三月十二日	四月廿七日	六月十四日	七月廿日	八月廿九日	十月廿五日	一月十九日
世代日數（成蟲期ヲ除キテ）		五十日	四十七日	四十九日	三十八日	四十一日	五十八日	八十七日

幼蟲、成蟲共ニ加害ス、本島ニアリテハ圓介殼蟲ニ亞ギテ多ク何レノ柑橘園ニ於テモ見ザルコトナシ繁殖力著シク主ニ葉ニ寄生ス、果實ヲ好ミ稀レニ稚枝ニ寄生ス、ヨク密着スル性ニ富ミ斃死シタル後モ介殼ハ容易ニ離レズ、一旦吻口ヲ樹皮下ニ挿入スレバ他ニ移轉スルコトナシ、卵子ハ體下ニ產ス紫色ヲ帶ベリ

島内ニ於ケル被害物　柑橘、月橘、枳

分布　日本、濠洲、亞弗利加、亞米利加、布哇、支那

島内分布狀況　全島到ル所ニ產シ、圓介殼蟲ニ亞ギテ多キ種ナリ、北部ヨリ南部ニ一層多シ、葉ノミナラズ果實ヲモ侵スガ故ニ其害恐ルベキナリ

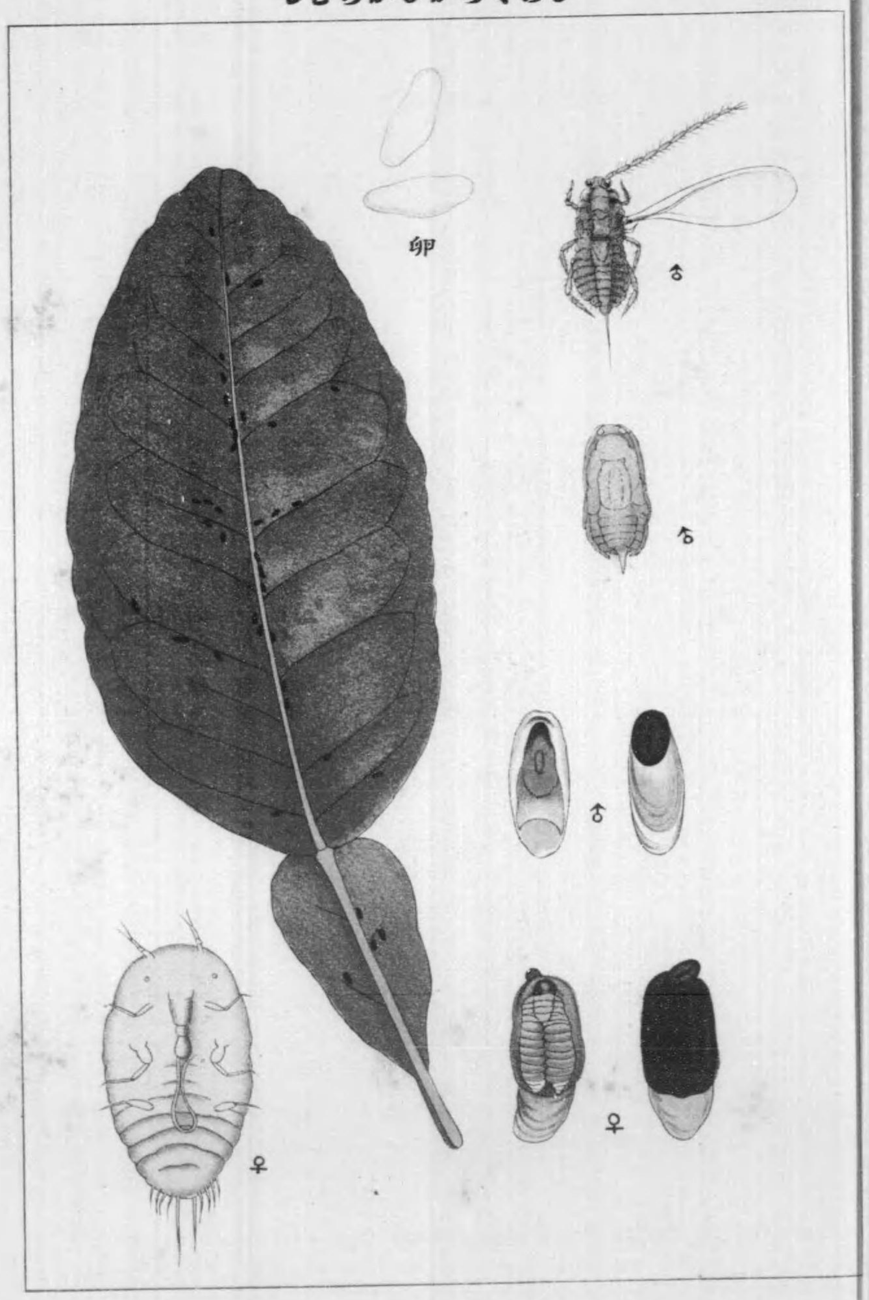
驅除豫防法

前種ノ如シ

二一　きいろかひがらむし

學名　Chionaspis flava Green.

しむらがひかろくめひ



昆蟲學上ノ位置

有吻目 Rhynchota.　介殼蟲科 Coccidae.

形態上ノ特徴　牛角狀ヲナシ、後部著シク擴ガリ側緣凹凸或ハ曲屈ス、濃褐扁平ノ介殼ヲ被ムリ一見軟カク見ユ、殼長一分內外、雄蟲ハ白色俵狀ノ繭ヲ營ムガ故ニ他ト區別シ易シ

經過習性　年五回發生ス左表ノ如シ

項目＼世代	一代	二代	三代	四代	五代
孵化	四十五年二月五日	四月二十四日	六月三日	八月七日	十月二十八日
產卵	四月八日	五月二十二日	七月二十六日	十月十三日	大正二年一月二十九日
世代日數（成蟲期ヲ除キテ）	四十五日	六十六日	八十日	百九日	

幼蟲成蟲共ニ加害ス、多クハ葉面ニ寄生スレドモ果實及ビ嫩枝ニモ寄生ス、生殖力微弱ニシテ雄蟲ヲ亂生スル癖アリ、植木鉢ノ木ニテ飼育スル時ハ、常ニ雄蟲ハ雌蟲ノ幾十倍ノ多キニ達ス

島內ニ於ル被害物　柑橘

分布　日本、錫蘭

島內分布狀況　本島ニテハ北部地方殊ニ宜蘭廳下ニ多ケレドモ南部地方ニテ見ルコト甚ダ稀ナリ

驅除豫防法

前種ノ如シ

二二 みかんかひがらむし

學名 Lepidosaphes citricola Pack.

昆蟲學上ノ位置

有吻目 Rhynchota. 介殼蟲科 Coccidae.

形態上ノ特徴 介殼ハ牛角狀ニシテ、後部稍廣ク淡褐色ニシテ少シク內曲ス、幼蟲時ノ介殼ハ成蟲ノモノト同形ニシテ唯小ナルノミ、成蟲ノ殼長一分二厘內外、前種ノ介殼ニ比シ硬ク見ユ、周緣調ヒテ不歪ナラズ

經過習性 年何回發生スルモノナルヤ未ダ明カナラズ

蜜柑類ニ於テハ稚枝ニ多ク、藻類ニアリテハ葉ニ多ク寄生ス、密集性ニシテ重ナリ合ヘリ、介殼ハ密着シテ蟲ノ斃死セシ後ト雖ヘドモ離剝セズ、該蟲ハ又ヨク果實ニモ寄生ス

島內ニ於ル被害物 柑橘

分布 日本、支那、北亞米利加、にゆーぢいらんど、濠洲、まてぃら、錫蘭

島內分布狀況 全島到ル所ニ產ス、新竹、嘉義、臺南廳下最モ甚ダシ、蜜柑類ヨリハ寧ロ藻類ヲ好

ムガ如シ又果實ニモ寄生スルガ故ニ其害恐ルベキナリ

驅除豫防法

前種ノ如シ

二三 ながかひがらむし

學名 Lepidosaphes gloverii Pack.

昆蟲學上ノ位置

有吻目 Rhynchota. 介殼蟲科 Coccidae.

形態上ノ特徴 先端尖リ後部少シク廣大シ、牛角狀ニシテ**みかんかひがらむし**ノ如ク彎曲セズ、狹長ニシテ殼色淡シ、殼長一分內外

經過習性 年幾回化生スルモノナルヤ判明セズ

主ニ葉面ニ寄生シ又果實面ヲモ好ム、性群棲ヲ好ミ重リ合フテ寄生スルモノ多シ、前種同樣藻類ニ於ケルモノ繁殖盛ナリ、斃死セシ後モ介殼ハ容易ニ離剝セズ

島內ニ於ル被害物 柑橘

分布 日本、支那、南北亞米利加、濠洲、錫蘭、印度、歐洲、布哇

島内分布狀況　全島ニ產ス大害ヲナス殊ニ藥類ニ多シ長形介殼ノ種類中最モ多ク其害モ亦甚ダシ

驅除豫防法

前種ノ如シ

二四　くろながかひがらむし

學名　Lipidosaphes cocculi Green.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　介殼蟲科　Coccidae.

形態上ノ特徵　牛角狀ニ先端尖リ、後端廣大シ少シク彎曲セル介殼ヲ形成ス、大サ及ビ形ハ**みかん かひがらむし**ニ酷似ス、黑色ナルガ故ニ此名アリ殼長一分二三厘

經過習性　年幾回化生スルヤ判明セズ

主ニ葉ニ寄生スレドモ又果實面ニモ寄生ス、性前二者ノ如ク群集セズ、又他種ト相交リテ寄生スル事ナシ

島内ニ於ル被害物　柑橘

分布　臺灣、錫蘭

島内分布狀況　全島到ル所ニ產ス、普通ニ見レドモ前二者ノ如ク數ニ於テ多カラズ、從ツテ其害モ前者ニ及バズ

驅除豫防法

前種ノ如シ

二五　はいいろまるかひがらむし

學名　未詳

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　介殼蟲科　Coccidae.

形態上ノ特徵　介殼ハ柔軟ニシテ圓形灰白色ナリ、少シク腫起シ殼點ヲ有セズ、殼長四五厘

經過習性　年幾回化生スルモノナルヤ未ダ不明

稚枝ニ最モ多ク寄生ス、果實面ニモ寄生スルコトアレドモ至ツテ稀ナリ、葉ニハ全ク寄生セザルナリ、性密集スルヲ好ム、傳播力微弱ナルニモ拘ラズ樹勢ヲ弱ラシムルコト大ナリ

島内ニ於ル被害物　柑橘

分布　臺灣、支那

島内分布狀況　南部地方ヨリ北部地方ニ割合ニ多ク產スレドモ、傳播力弱キガ故ニ憂フルニ足ラズ

驅除豫防法

前種ノ如シ

二六　まるかひがらむし

學名　Aspidiotus ficus Ashm.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　介殼蟲科　Coccidae.

形態上ノ特徵　介殼ハ黑色ニシテ圓形、中央高ク爲メニ笠狀ヲ呈シ、殼面ニハ波狀ニ輪線及ビ白輪ヲ有ス、殼徑五厘內外、雄蟲ノ介殼ハ小形ニシテ稍楕圓ヲナシ後部ニ薄膜ヲ有ス

經過習性　年六回化生ス左表ノ如シ

項目＼世代	一代	二代	三代	四代	五代	六代
孵化	四十五年二月二十七日	四月十七日	六月十二日	七月二十五日	十月十二日	大正三年一月二十二日
產卵	三月二十八日	五月二十三日	七月十八日	九月二十六日	大正二年一月二日	二月二十四日
世代日數（成蟲期ヲ除キタル）		五十七日	五十七日	七十一日	九十九日	五十四日

本島柑橘ニ寄生スル介殼蟲中、最モ多ク又繁殖力强大ナリ、雌蟲ハ主ニ葉裏ニ雄蟲ハ葉表ニ寄生ス、果實ハ彼等ノ最モ好ム所ニシテ稚枝ニハ其割合ニ寄生スルコト少シ、葉ハ該蟲ノ寄生スルヤ黃變スルヲ特徵トス、斃死スレバ介殼離脫シ易スク、介殼ト體トハ他種ニ比シ最モ分離シ易シ、

該蟲ノ寄生スル所僅カニ煤病ヲ誘發ス

島內ニ於ル被害物　柑橘、檳榔樹、樟、椰子

分布　日本、支那、印度、錫蘭、歐洲、南北亞米利加

島內分布狀況　全島到ル所ニ產シ、介殼蟲中最モ多クシテ蕃人ノ栽培スルモノニモ是ヲ見ル、南部地方ヨリ北部地方ニ一層多ク該蟲ノ寄生多キ時ハ落葉ス本島柑橘害蟲中最モ恐ルベキモノナリ

驅除豫防法

前種ノ如シ

二七　あかまるかひがらむし

學名　Aspidiotus aurantii Mask.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　介殼蟲科　Coccidae.

形態上ノ特徴　介殼ハ圓形ニシテ前種ニ酷似スルモ、隆起少ナク殆ド扁平ニシテ、帶赤褐色中央ニ蛇目狀紋アリ、殼徑五六厘薄クシテ緣邊不歪ナリ

經過習性　年五回化生ス左表ノ如シ

項目＼世代	一代	二代	三代	四代	五代
孵化	四十五年二月一日	五月二十七日	七月十二日	十月十八日	十一月二十七日
産卵	五月十二日	七月三日	十月二日	十一月十八日	大正二年一月十三日
世代日數（成蟲期ヲ除キテ）	五十三日	九十二日	四十七日	五十七日	

性稍ヤ密集シテ寄生ス、主ニ稚枝及ビ嫩芽ニ寄生シ復タ稀ニ果實而葉上ニモ寄生ス、幼蟲ハ不活潑ニシテ母體ヨリ遠ク去ルコトナクシテ口吻ヲ下シ、一旦居所ヲ定ムレバ移動スルコトナシ

臺灣ニ於ル被害物　柑橘、槇

分布　日本、支那、南部歐洲、喜望峯、まうりちうす、錫蘭、濠洲、にゆーじーらんど、さもあ、布哇、西印度、北亞米利加、なたる

島内分布狀況、全島至ル所ニ存在ス

驅除豫防法

前種ノ如シ

二八　まーらつとこなじらみ

學名　Aleurodes marlatti Qua.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　粉蝨科　Aleurodidae.

形態上ノ特徴　幼蟲ハ一見介殼蟲ニ酷似シ楕圓形ニシテ黑色、中央線隆起シ周緣ニ短刺ヲ有シ、緣邊白色、長徑四五厘ノ介殼樣物ニテ覆ハル、成蟲ハ二翅ヲ有シ暗色ニシテ翅面ニ白點ヲ有スル微小蟲ナリ

經過習性　年何回發生スルヤハ未ダ明カナラズ幼蟲時代ノミ加害ス、主ニ葉ノ裏面ニ棲息ス

幼蟲ハ孵化セル場所ニ寄生スルモノヽ如ク、一度寄生スレバ移動スルコトナク充分成長スレバ羽化シテ成蟲トナル、成蟲ハ葉裏ニ圓形ニ粗ニ産卵ス、孵化セバ介殼蟲ノ如ク葉ゝ組織内ニ口吻ヲ差シ込ミ養液ヲ吸收シテ生育ス、成蟲ハ羽化セル場所ヨリ遠ク去ルコト稀ナリ、運動不活潑ニシテ飛翔スレドモ數尺ノ外ニ出デズ

本島ニ於ル被害物　柑橘

分布　日本、北亞米利加

島内分布狀況　全島ニ產ス、北部地方ヨリ南部地方割合ニ多ク、殊ニ鳳山地方ニ多シ

驅除豫防法

一、青酸瓦斯燻蒸法ヲ行フベシ

二、松脂合劑十五倍液ヲ撒布スルモ効アリ

二九　きいろこなじらみ

學名　Aleurodes sp.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　粉蟲科　Aleurodidae.

形態上ノ特徵　幼蟲ハ介殼蟲ノ如キ被覆物ニテ、體ヲ保護スルハ前者ト同樣ナレドモ、前種ノ如ク著シカラズ、遙カニ扁平ニシテ小サク淡黃色ニシテ點々棲息シ居ルガ故ニ、一見螟蛾類ノ卵ノ如キ觀アリ、成蟲ハ形前種同樣ニシテ全體黃色ナルガ故ニ名アリ

經過習性　年幾回發生スルモノナルヤ未ダ不明ナレドモ、大正二年ニ飼育調査セシモノニヨレバ、

二月、三月、四月ト毎月羽化スルヲ見タリ、中途ニ於テ死滅セシニヨリ完成セザリシガ右ヨリ推ス時ハ、年七八回ノ世代ヲ送ルモノナルベシ

幼蟲期ノミ加害ス、成蟲ハ不活潑ニシテ遠所ニ飛ビ行クコトナク一飛二三尺ノ内ヲ出デズ、前種ノ如ク卵子ヲ相接シテ產附セザルモノヽ如シ、幼蟲ハ主ニ葉裏ニ一頭宛點々寄生シ全ク集合性アルヲ認ムルコト能ハズ、老熟スレバ被殼ノ中央ノ前方ヲ破リテ成蟲現ハル

島内ニ於ル被害物　柑橘

分布　臺灣

島内分布狀況　全島ニ亘リテ分布スルモ、北部ニ割合ニ多ク、一體ニ生殖盛ンナリト云ヘドモ種族繁昌セズ、樹ニトリテハ恐ルヽニ足ラズ

驅除豫防法

前種ノ如シ

三〇　こみかんあぶらむし

學名　Toxoptera citrifolia Maki.

昆蟲學上ノ位置

有吻目 Rhynchota. 蚜蟲科 Aphidae.

形態上ノ特徴 體長五厘内外、有翅ト無翅ノ二形アリ、有翅蟲ハ黑色ニシテ光澤アリ、前翅ノ緣紋ハ黑シ、無翅ノモノハ暗黑又ハ黑褐色ニシテ脚ハ暗色又ハ淡黃色ヲ呈ス、腹背上ニ有スル角狀管ハヤヽ大ナリ、幼蟲ハ帶褐黃綠色ニシテ脚ハ淡黃ナリ

經過習性 年幾回化生スルモノナルヤ未ダ不明

幼蟲、成蟲共ニ加害シ嫩芽葉ヲ好ム、北部臺灣ニ最モ普通ナリ

島内ニ於ル被害物 柑橘、薔薇

分布 臺灣

驅除豫防法

一、松脂合劑三十倍液ヲ撒布セバ効アリ

二、石油乳劑二十倍液ノ撒布モヨシ

三、清水ヲ唧筒ニテ强ク灌注セバ効アリ

三一 みかんあぶらむし

學名 Myzus citricidus Kirkaldy.

昆蟲學上ノ位置

有吻目 Rhynchota. 蚜蟲科 Aphidae.

形態上ノ特徴 柑橘ニ寄生スル蚜蟲中、最モ多クシテ最モ大形ノモノナリ、有翅、無翅ノ二形アリ、有翅ノモノハ體黑色又ハ黑褐色ニシテ光澤アリ、眼ハ黑赤、脚ハ黃色ナリ、無翅ノモノハ體肥大シ翅ヲ缺クノミ、腹部ノ後背ニアル角狀突起ハ割合ニ長ク、稍ヤ上向シテ後方ニ射出ス、體長六七厘、幼蟲ハ成蟲ト同形ニシテ赤褐色又ハ淡黃色ヲ呈ス

經過習性 年幾回世代ヲ重ヌルモノナルヤ未ダ明カナラザルモ、胎生スルガ故ニ其增殖著シ、春季發芽ト共ニ有翅ノ雌蟲盛ンニ活動ス、一旦寄生スレバ直チニ產兒ヲ初ム、盛夏ノ頃生殖著シク時ニ衰フルコトアレドモ、秋季ニ入リテ又盛トナリ晩秋ニ到リテ殆ド其影ヲ見ザルニ至ル、主ニ稚枝ニ群集シテ寄生スルガ故ニ、豪雨一過スレバ殆ド洗ヒ落サレ斃死スルモノ極メテ多シ

本島ニ於ル被害物 柑橘

分布 臺灣、布哇

島内分布狀況 全島到ル所ニ產ス、往々新芽ノ發育ヲ阻害ス、又苗木ノ發育ヲ害スルコト大ナリ

驅除豫防法

前種ノ如シ

三二　ぺるしやあぶらむし

學名　Myzus persiae Sulz.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　蚜蟲科　Aphidae.

形態上ノ特徴　柑橘ニ寄生スル蚜蟲中、前種ニ亞ギ大形ニシテ體長五六厘アリ、有翅無翅ノ二形アリ、有翅ノモノハ體綠色ニシテ背面ニ暗色ノ大紋アレバ他蟲ト區別スルコト容易ナリ、肢ハ暗色ヲ呈ス、無翅ノモノハ短紡錘形ニシテ黃綠又ハ赤褐色ノモノアリ、脚ハ淡黃ニシテ跗節黑シ、腹背上ニ有スル角狀管ハ長クシテ後內方ニ射出ス、幼蟲ハ淡黃綠又ハ淡黃色ナリ

經過習性　年幾回化生スルヤ未ダ不明ナリ

蔬菜ニ見ルコト普通ニシテ柑橘ニハ少ナシ、性嫩枝葉上ニ群棲シ秋季ヨリ初夏ニ亘リテ多シ

島內ニ於ル被害物　柑橘、蘿匐、甘藍、花椰菜、蕪菁、みづな、馬鈴薯、茄子、煙草、梨、李

分布　日本、支那、歐洲、北亞米利加、布哇

島內分布狀況　全島到ル所ニ分布ス、主ニ蔬菜ノ大害蟲ニシテ柑橘ニ取リテハサシタル害ナシ

驅除豫防法

前種ノ如シ

三三　りんごあぶらむし

學名　Aphis pomi De Geer.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　蚜蟲科　Aphidae.

形態上ノ特徴　柑橘ニ寄生スル蚜蟲中小形ノモノニシテ、有翅無翅ノ二形アリ、有翅蟲ハ體綠色ニシテ脚ハ淡黃、無翅ノモノハ綠色又ハ黃色、脚ハ淡黃色ナリ、背上ノ角狀管ハ稍ヤ長ク後外方ニ向ヒテ射出ス、幼蟲ハ淡黃綠色ニシテ脚ハ淡黃色ナリ

經過習性　年幾回化生スルモノナルヤ未ダ不明

島內ニ於ル被害物　柑橘、梨、かきばかんこのき、黃麻

分布　支那、歐洲、北亞米利加、濠洲、印度

島內分布狀況　全島ニ分布スレドモ其數甚ダ少ナク稀ニ見ルノミ比較的南部地方ヨリ北部ニ多シ

驅除豫防法

前種ノ如シ

三四　わたあぶらむし

學名　Aphis gossypii Glover.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota　蚜蟲科　Aphidae.

形態上ノ特徴　體長四五厘内外、有翅無翅ノ二形アリ有翅ノモノハ暗色、黑色、暗綠色、橙黃色ノ多色ニシテ何レモ脚ハ黑シ、又無翅ノモノモ深綠、暗綠、黑綠等アリテ脚ハ黃白色ナリ、背上ノ角狀管ハ短小ニシテ後外方ニ射出ス、幼蟲ハ暗黃又ハ暗綠色ニシテ脚ハ淡黃ナリ

經過習性　年幾回化生スルモノナルヤ否ヤ未ダ不明

幼蟲成蟲共ニ加害ス、初メ有翅蟲飛來シテ嫩葉ノ裏面ヲ索メテ寄生シ產卵ヲ初ム、仔蟲ハ何レモ雌蟲ニシテ成育スレバ受精スルコトナク、胎生兒ヲ產スルコト幾代トナク相同ジ、年中其生存ヲ見レドモ殊ニ初秋ヨリ初夏ニ亘リテ繁殖旺盛ナリ

島内ニ於ケル被害物　柑橘、梨、佛桑、華棉、瓜類

分布　臺灣、印度、布哇、北亞米利加

島内分布狀況　全島ニ亘リテ產ス

驅除豫防法

前種ノ如シ

三五　みかんきじらみ

學名　Diaphorina citri Kuwayama.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota　木蝨科　Psyllidae.

形態上ノ特徴　幼蟲ハ扁平短大、殆ド圓形ニ近ク帶黃淡褐色鞘翅ハ割合ニ大ナリ、體長六七厘、成蟲ハ灰白色ニシテ體及翅面ニ淡黑ノ不規則斑點ヲ有ス、體長七厘内外

經過習性　去ル明治四十五年ノ飼育ノ結果ニヨレバ、五回迄判然シタレドモ後ハ產卵セズシテ、永ク生存セル内ニ死滅セリ

項目＼世代	一代	二代	三代	四代	五代
產卵	四十五年二月十八日	四月五日	五月一日	六月九日	七月廿八日
孵化	二月二十七日	四月十三日	五月七日	六月十四日	八月七日
羽化	三月三十日	四月三十日	六月六日	七月十三日	九月二十六日
世代日數（成蟲期ヲ除ク）					

主ニ嫩芽ニ產卵ス、幼蟲ハ稚梢ニ寄生シ甚ダシク群集シテ棲息ス、爲メニ嫩芽ハ畸形トナルコト多シ、成蟲ハ翅ヲ合セ尻ヲ擧ゲ直立シテ靜止ス、手ヲ觸ルレバ敏活ニ飛去ス、成蟲ハ幼蟲ノ如ク群居セザレドモ羽化セル樹ヨリ遠ク飛ビ行クコトナシ、春季ヨリ初夏ニ亘リテ繁殖盛ナレドモ、盛夏後ハ臺北附近ニテ幼蟲ヲ見ルコト稀ナリ

島内ニ於ル被害物　柑橘

分布　臺灣

島内分布狀況　全島ニ產シ北部ヨリモ南部ニ多ク、殊ニ他里霧地方最モ多シ、樹ノ幼弱ナル時代ニハ著シク害セラルルコトアレドモ、成木ト成レバサシタル害ヲ被ラズ

驅除豫防法

一、松脂合劑十五倍液ヲ撒布スベシ

二、青酸瓦斯燻蒸法ヲ行フベシ

三、石油乳劑五倍液ヲ撒布セバ効アリ

三六　あをばはごろも

學名　Geisha distinctissima Wlk.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　白蠟蟲科　Fulgoridae.

形態上ノ特徵　全體鮮綠色、翅廣大ニシテ殆ド方形、網狀脈多ク翅底ニ顆粒狀ノ突起多シ、翅ハ頭ヨリ胸背ニ渡リ紅色ノ細線ヲ縱走ス、體長（頭先ヨリ翅先迄デ）三分五厘內外幼蟲ハ青綠色ニシテ腹部ヨリ白キ蠟質物ヲ分泌シ、尾端ニアルモノハ尾ノ如ク延長セリ

經過習性　年幾回發生スルヤ未ダ不明

幼蟲成蟲共ニ柑橘ニ加害ス、成蟲ハ嫩枝ノ皮下ニ產卵ス、幼蟲ハ常ニ稚枝又ハ葉裏ニ棲息ス、性敏捷ナレドモ成蟲ハ割合ニ遲鈍ナリ

島内ニ於ル被害物　柑橘、桑

分布　日本、支那

島内分布狀況　全島ニ產ス、平地ヨリ山地ニ近ヅクニ從ヒテ多シ、廣島縣ニアリテハ有名ナル柑橘ノ害蟲ナリト雖ドモ、本島ニアリテハ甚ダ稀ニ採集セラルルノミ

驅除豫防法

一、捕蟲網ニテ捕殺スベシ

二、石油乳劑五倍液ヲ幼蟲時代ニ撒布スレバ効アリ

三、松脂合劑二十倍液ヲ幼蟲ニ撒布スレバ効アリ

三七　みどりひらたうんか

學名　Osca diniduata Mostch.

昆蟲學上ノ位置

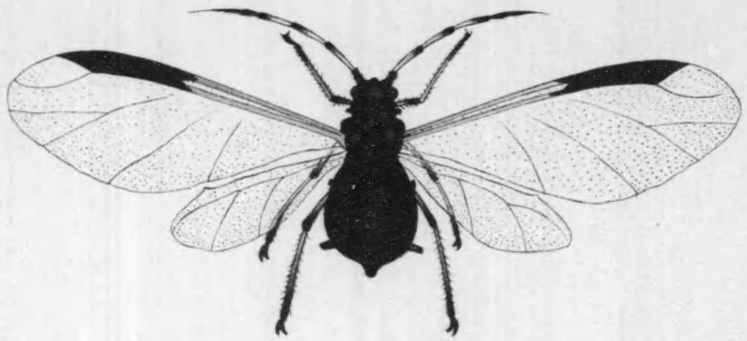
有吻目　Rhynchota　白蠟蟲科　Fulgoridae.

形態上ノ特徴　全體鮮綠色ニシテ扁平背面ニ濃綠色ノ細線ヲ有ス、前翅ハ少シク硬化シ翅先斜折シテ翅基ヨリモ薄シ、體長(靜止狀態ニ於テ頭ヨリ翅先迄デ)二分內外翅ハ廣クシテ屋斜狀ニ置ク

經過習性　年幾回化生スルヤ未ダ明カナラズ

幼蟲、成蟲共ニ柑橘ノ葉面ニ棲息ス、共ニ扁平ニシテヨク密接シテ止マリ殆ド葉ト同樣ノ色ナルガ故ニ見出シ難シ、之ニ觸ルレバ敏捷ニ飛去ス翅力、强ケレドモ遠飛力ニハ乏シ

本島ニ於ル被害物　柑橘、桑、なんきんはぜ(烏臼)



分布　日本、支那

島内分布狀況　全島ニ產ス、平地ヨリ山地ニ多ケレドモ未ダ大發生ヲ見ズ、今日迄ノ所恐ルベキモノト思ハレズ

驅除豫防法

一、青酸瓦斯燻蒸法ヲ行フベシ

二、捕蟲網ニテ捕殺スベシ

三、幼蟲期ニ石油乳劑五倍液ヲ撒布スベシ

四、松脂合劑二十倍液ヲ幼蟲ニ撒布セバ効アリ

三八　うすばひめよこばい

學名　Chlorita flovescens Fab.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　浮塵子科　Jassidae

形態上ノ特徵　全體淡綠色、細長微小靜止ノ狀態ハ倒三角形ニシテ長サ一分、弱脚ハ綠色ナリ、幼蟲ハ翅ヲ缺キ全體帶黃綠色ナリ

經過習性　年幾回發生スルモノナルヤ未ダ不明

幼蟲成蟲共ニ加害ス、茶樹ニ最モ多ク柑橘ニハ僅カニ見ルノミ、幼蟲成蟲共ニ常ニ葉裏ニ棲息シ之ニ近ヅケバ横行シテ反對ノ側ニ身ヲ隱ス、跳躍又ハ飛去スレドモ遠ク行カズ、產期到レバ尾端ニ有スル附屬器ヲ嫩芽又ハ葉肉ニ切リ込ミテ數粒宛並ベテ卵子ヲ產下ス

島內ニ於ル被害物　柑橘、茶、桑

分布　日本、支那、印度

島內分布狀況　全島ニ亘リテ產スレドモ、柑橘園ニハ僅カニ其存在ヲ認ムルノミニシテ、大害ヲ加フルコト有ルベシトモ思ハレズ

驅除豫防法

一、捕蟲網ニテ捕殺スベシ

二、幼蟲期ニ松脂合劑十五倍液又ハ石油乳劑五倍液ヲ撒布スレバ効アリ

三九　おほつまぐろよこばい

學名　Tettigonia ferruginea var. apicalis Wlk.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota　浮塵子科　Jassidae.

形態上ノ特徵　全體綠色ニシテ少シク黃色ヲ帶ブ長大ニシテ頭頂ニ一個後頭ニ一個前胸背ニ三個稜狀部ニ三個ノ黑點ヲ有ス、前翅ハ殆ド長方形ヲナシ翅先黑色ナリ、肢ハ淡黃ニシテ各環節ノ兩端ハ黑色ナリ、體ノ腹面ハ黑ク體長四分內外標本トスレバ橙黃色ニ變ズ

經過習性　年幾回世代ヲ經ルモノナルヤ未ダ明カナラズ、年々一月頃ヨリ柑橘園ニ成蟲現ハレ、三月頃最モ多ク五月後ニハ見ルコト稀ナリ

柑橘ニテハ幼蟲ヲ見ルコトナク成蟲ノミヲ見ル、少シク集合性アリ葉裏ニ多クシテ手ヲ近ヅクレバ、敏捷ニ横走シテ隱ルルカ又ハ飛ビ去ル

島內ニ於ル被害物　柑橘、桑、甘蔗、茶、桐

分布　日本、支那、馬來、印度、波斯

島內分布狀況　全島ニ產ス、平地ヨリ山地ニ多ク稍ヤ陰地ヲ好ム傾キアリ、大害ヲナスコトナシ

驅除豫防法

一、捕蟲網ニテ捕殺スベシ

四〇　かばいろづきんよこばい

學名　Tartessus gokaensis Mats.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　浮塵子科　Jassidae.

形態上ノ特徴　全體濃褐色ニシテ黄色ヲ現ハシ、頭部ヨリ第一胸背ニカケテ殊ニ鮮カナリ、複眼ハ黒ク前翅ハ少シク硬化シ外緣黒褐ナリ、翅ハ體側ニ緊接シテ疊ミ擧動遲鈍跳力强シ、體長二分六七厘體肥大ニシテ豪健ナリ、幼蟲ハ帶黄褐色ニシテ稍ヤ扁平ナリ

經過習性　年幾回世代ヲ經ルモノナルヤ未ダ明カナラズ

平地ヨリモ山地ニ多ク幼蟲成蟲共ニ加害ス、稍ヤ風通シ悪シキ場所ニ多シ、成蟲ハ柑橘樹ニ有リテ生活ス、手ヲ近ヅクレバ他種ノ如ク横走スルコト少ナク多クハ飛去ス、幼蟲ハ常ニ葉裏ニアリテ能ク横走ス

島内ニ於ケル被害物　柑橘

分布　日本

島内分布狀況　全島ニ産スレドモ平地ニハ甚ダ稀ナリ、山地ト云ヘドモ大害ヲ加フル程多カラズ

驅除豫防法

一、捕蟲網ニテ捕殺スベシ

二、幼蟲期ニ松脂合劑十五倍液カ石油乳劑五倍液ヲ撒布スレバヨシ

四一　こにいにいぜみ

學名　Platypleura nepanda Linn.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　蟬科　Cicadidae.

形態上ノ特徴　全體黑色ニシテ黑綠色ノ模樣ヲ現ハシ、小形ニシテ短大前頭平濶第一胸節ノ兩側扁平、前翅ニハ暗黑色ノ大ナル斑紋ヲ散在シ翅脈綠色ナリ、後翅ハ天鵞絨色ナリ、體長（翅ヲ除キテ）雌ハ六七分雄ハ八分、發音器ノ鱗板ハ一分二三厘ニシテ短大ナリ、幼蟲ハ帶黄乳白色ニシテ肥大、內曲シテ皮膚滑澤前肢ハ發達シテ鋏狀ヲナセリ

經過習性　世代日數ハ未ダ不明、成蟲ハ夏季ノミ現ハル

幼蟲ハ土中ニ棲息シ樹根ニ寄生シテ養液ヲ吸收ス、充分成長スレバ地下二三寸ノ所ニ小室ヲ作リ、地上ニ直上セル小孔ヲ設ケテ內ニ蟄居シ、成熟シテ地上ニ出テ、草木ニ攀登シテ蛻皮シ成蟲トナ

ル、成蟲ハ主ニ樹幹面ニ靜止シ、雄蟲ハ美音ヲ揚ゲテ鳴吟シ、雌ハ樹皮下ニ產卵ス、孵化セル幼蟲ハ樹皮ヲ傳ヒ土中ニ入リテ生活ス

島內ニ於ケル被害物　柑橘、棟

分布　臺灣、支那

島內分布狀況　全島ニ產ス深山ニハ產セズ、多クハ里村ノ附近ニ多シ、其ノ害甚シカラズ

驅除豫防法

一、成蟲ハ樹幹ニアルガ故ニ捕蟲網ニテ捕殺スルヲ可トス

二、蛹ハ夕刻土地ニ現ハレ、樹幹ニ攀登スルガ故ニ捕殺スベシ

四二　はごろもぜみ

學名　Cicada ochracea Wlk.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota　蟬科　Cicadidae

形態上ノ特徵　全體綠色又ハ褐色ヲ呈シ、翅ハ膜質透明ナルガ故ニ鮮麗ナリ、前頭三角狀ニ突出シテ扁平周緣黑色ナリ、雌蟲ニノミ前胸背ノ中央ニ黑斑ヲ有ス、又體ノ表面ニ白粉ヲ裝フ、發音器

ノ鱗板ノ長サ三分アリ雌ノ體長(翅ヲ除キ)七分、雄ハ八分五厘內外、幼蟲ハ帶褐乳白色ニシテ細長、前肢ヨリ發達シテ鎌狀ヲナセリ

經過習性　一世代ノ日數ハ未ダ明ナラズ、成蟲ハ年々夏季ヨリ初秋ニ亘リテ現ハル

幼蟲ハ土中ニ棲息シ樹根ニ寄生シテ養液ヲ吸收ス、成長スレバ地表ニ小孔ヲ穿チ二三寸ノ下ニ靜居シ、成熟スレバ地上ニ出デ主ニ樹幹ニ登リ、樹皮上ニアリテ蛻皮ス、成蟲ハ葉間或ハ小枝上ニアリ、雄蟲ハ發音ス其音愛スベシ、樹液ヲ吸收スルコトアリ

島內ニ於ケル被害物　柑橘

分布　臺灣

島內分布狀況　全島ニ產ス、南部ヨリ北部地方稍々多ク、平地ヨリモ山地ニ多シ、然レドモ深山ニハ稀ナリ、曾テ新埔ニテ一樹幹ニ百二十四箇ノ蛻皮殼ノ附着セルヲ見タリ、然レドモ未ダ該蟲ノ爲メニ樹ノ發育著シク阻害サレタルヲ聞カズ

驅除豫防法

一、夕刻柑橘園ヲ巡視シ、樹上又ハ草莖ニ攀緣セル蛹ヲ捕殺スベシ

四三　あをかめむし

學名　Nezara viridula L.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　椿象科　Pentatomidae.

形態上ノ特徴　全體綠色ニシテ稍々長方形ナリ、前翅ノ膜質部淡黑色ヲ呈ス、又或ルモノハ前頭及前胸背ノ前緣黃白色ヲ呈ス又前胸背ニ濃色點數個ヲ並列スルモノアリ

體長四五分、肩部ノ幅二分五厘內外

經過習性　年何回發生スルモノナルヤ未ダ明カナラズ

幼蟲ハ稻、田菁、木藍或ハ胡麻等ヲ嗜食ス、柑橘ニテハ成蟲ヲ見ルノミ、性遲鈍ニシテ捕フルコト容易ナリ、常ニ葉間ニアリ是レヲ捕フレバ一種ノ惡臭ヲ放ツ

島內ニ於ケル被害物　柑橘、胡麻、稻、木藍、田菁

分布　日本、支那、馬來、印度、亞弗利加、歐洲

島內分布狀況　全島ニ產ス

驅除豫防法

一、捕殺網ニテ捕殺スベシ

四四　みかんかめむし

學名　Solenostethium citrii Shiraki.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　椿象科　Pentatomidae.

形態上ノ特徴　短楕圓形ニシテ後部稍ヤ狹マリ、全體暗赭色ニシテ背面龜甲狀ニ隆起ス、稜狀部ハ著シク發達シテ殆ンド腹部ヲ覆ヒ、基部ニ近ク四個ノ小黑點ヨリ橫線二筋アリ他ノ椿象類ノ如ク前翅硬化セズシテ前後兩翅共膜質ナリ、體長五分肩部ノ幅三分五厘內外

經過習性　經過未ダ明カナラズ

成蟲時代ハ柑橘ニ來リ棲息スルコトアリ、性遲鈍ニシテ容易ニ飛バズ、幼蟲ハ未ダ柑橘樹ニテ發見セズ、成蟲ハ常ニ葉間ニアリ單獨棲ナリ

島內ニ於ケル被害物　柑橘

分布　臺灣

島內分布狀況　全島ニ產スルモ多カラズ、柑橘園ニ於テモ稀レニ見ルノミ

驅除豫防法

一、驅除スルニ及バズ

四五　みかんとげかめむし

學名　Rhynchocoris humeralis Thumb.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota　椿象科　Pentatomidae.

形態上ノ特徴　柑橘ニ寄生スル椿象類中最大ニシテ全體綠色、腹面少シク褐色ヲ帶ブ、頭部ハ扁平稍ヤ長方形ニシテ中央ニ二條ノ細黑縱線ヲ有ス、第一胸節ハ大ニシテ兩側著シク發達シ先端尖リテ刺狀ヲナセリ、故ニ名アリ又各腹環節ノ後緣角ハ尖リテ刺狀ヲナス、體長七分肩部ノ幅五分內外

經過習性　世代日數ハ未ダ明カナラザルモ五月及ビ九月ニ卵子多シ、成蟲態ニテ越年ス

幼蟲成蟲共ニ柑橘ノ養液ヲ吸收シテ生活ス、成蟲ハ葉ノ上面ニ數粒乃至十二三粒ノ卵子ヲ平カニ產附ス、卵子ハ球狀ニシテ滑澤アリ、初メハ淡綠ニシテ次第ニ濃色トナリ孵化後ハ白色トナリテ

小黑點ヲ殘ス、孵化當時ノ幼蟲ハ卵殼上ニ靜止シ一二日ヲ經テ葉面ニ移リ養液ヲ吸收ス、當時ハ殆ンド黑色ナレドモ長ズルニ從ヒ橙黃色トナリ腹部圓形ニ膨大ス、蛻皮ヲ重ヌルニ從ヒ成蟲ノ形ニ近ヅク、初メハ多少集合シテ棲息スルモ長ズルニ從ヒ漸次離散ス、又初メハ葉面ニアリテ生息スルモ長スルニ從ヒ嫩枝或ハ果面ニ集マルヲ見ル、幼蟲ハ手ヲ近ヅクレバ走去又ハ轉落ス、成蟲ハ直チニ飛去ス、何レモ捕フレバ惡臭ヲ放ツ、該蟲ニ侵サレタル果實ハ漿液ヲ減ズルノミナラズ果肉ヲシテ粗糙ナラシム

島內ニ於ケル被害物　柑橘

分布　臺灣、支那、暹羅、緬甸、印度

島內分布狀態、全島ニ產ス、平地ヨリ山地ニ多ク高燥地ヨリモ陰濕ノ地ニ多シ、柑橘ヲ侵ス椿象科中最モ恐ルベキモノナリ

驅除豫防法

一、捕蟲網ニテ捕殺スベシ

二、手ニテ捕フルモ可ナリ

三、早朝、打落採集法ヲ適用スルヲ可トス

四六　きしもふりかめむし

學名　Erthesina fullo Thunb.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　椿象科　Pentatomidae.

形態上ノ特徴　黑色ノ大形種ニシテ頭部扁平、尖出シテ先端少シク三角狀ヲナス、其先端ヨリ三條ノ細キ帶褐黃線ヲ後方ニ縱走ス、第一胸節ハ發達シテ大ナルモ肩部ハ後斜シテ鈍角ヲナス、翅ノ膜質部ハ帶褐暗黑色、他部ハ帶褐黃色ノ小斑ヲ密布ス、故ニ名アリ、體長七分五厘、肩部ノ幅三分五厘

經過習性　世代日數未ダ明カナラズ

幼蟲ハ**なんきんはぜ**又ハ相思樹ニ生息スルモ、柑橘ニハ見ルコトナシ、成蟲時代柑橘ニ來襲スルモ多カラズ、性遲鈍ニシテ手ニテ容易ニ捕フコトヲ得、常ニ葉間ニアルモ亦、枝幹上ニ見ルコトアリ、稍ヤ集合性アリ、是レヲ捕フレバ惡臭ヲ放ツ

島内ニ於ケル被害物　柑橘、相思樹、**なんきんはぜ**、棟

分布　臺灣、支那、印度、錫蘭、あんだまん

島内分布狀況　全島ニ產ス、南部ヨリ北部地方ニ多シ、被害大ナラズ

驅除豫防法

一、捕蟲網ニテ捕殺スベシ

二、手ニテ捕フルモ可ナリ

四七　こきしもふりかめむし

學名　Cappaea taprobanensis Dall.

昆蟲學上の位置

有吻目　Rhynchota.　椿象科　Pentatomidae.

形態上ノ特徴　**きしもふりかめむし**ニ酷似シテ小形ナリ、故ニ名アリ、尙ホ霜降狀ノ模樣ハ細ヤカニシテ鮮明ナリ體長三分强

經過習性　世代日數未ダ明カナラズ

成蟲時代ニノミ柑橘樹ニ來リ棲息スルコトアルモ多カラズ、性質ハヨク前種ニ似テ一層遲鈍ナリ

島内ニ於ケル被害物　柑橘

分布　臺灣、支那、瓜哇、すまとら、錫蘭、印度

島内分布狀況　全島ニ產ス山地ニ於テノミ是レヲ見ル、恐ルベキ害蟲ニ非ラズ

驅除豫防法

一、捕蟲網ニテ捕殺スベシ

二、手ニテ捕フルモ可ナリ

四八　こあをかめむし

學名　Elasmostethus membranaceus Shiraki.

昆蟲學上ノ位置

有吻目　Rhynchota.　椿象科　Pentatomidae.

形態上ノ特徵　全體綠色ニシテ小形、故ニ名アリ、眼、觸角、口吻及爪ハ黑色ニシテ背面ニハ帶紅紫黑色ノ大ナル二個ノ不正紋アリ、尾節ハ黑褐色ニシテ、上面紫紅色ヲ呈ス、體長二分五厘、肩部ノ幅一分四厘

經過習性　年幾回化生スルモノナルヤ未ダ明カナラズ

成蟲時代ニ、柑橘ニ來リ害スルコトアルモ多カラズ、性稍ヤ敏捷ニシテ、ヨク飛翔ス、捕フレバ惡臭ヲ放ツ、山地ニ多シ

島内ニ於ケル被害物　柑橘

分布　臺灣

驅除豫防法

一、捕蟲網ニテ捕殺スベシ

二、手ニテ捕フルモ可ナリ

四九　みかんはむぐりが

學名　Lithacolletis citrivola Shiraki.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.　細蛾科　Graciliaridae.

形態上ノ特徵　黃白色扁平細長ノ蟲ニシテ、各環節ハ兩側伸長シテ明ラカニ區別セラル、體長一分

內外成蟲ハ全體灰白色ニシテ前翅面ニ少シク黑色ノ小斑紋ヲ有ス、體長六七厘、開張二分弱

經過習性　年何回發生スルモノナルヤ未ダ明カナラズ

成蟲ハ葉ヨリ葉ニ轉々飛行シ、嫩葉ヲ索メテ一粒宛產卵ス、孵化セル幼蟲ハ直チニ表皮ヲ喰ヒ破リ葉肉內ニ入リ表皮下ニ沿ヒ、一分內外ノ幅ニ喰ヒ廻リ老熟スレバ、普通葉緣ニ接シテ少シク廣ク

成木ハサシテ衰弱セザルモ、幼木ニアリテハ著シク發育ヲ阻害セラル

驅除豫防法

一、苗木時代樹勢ヲ旺盛ナラシムベシ

喰ヒテ空室ヲ作リ、内ニ化蛹ス主ニ葉裏ニ蝕入シ嫩葉ニ多ケレドモ稀ニ充分伸展セル葉或ハ葉ノ表面ニ蝕入スルモノアリ

島内ニ於ケル被害物　柑橘

分布　日本、支那

島内分布狀況　全島ニ產ス古來ヨリ居ルモノヽ如ク深山又ハ僻遠ノ地ニモ產ス、

五〇　みかんのはまき

學名　Archips citrinella Shiraki.　葉捲蛾科　Tortricidae.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.

形態上ノ特長　成蟲ハ體長四分、開張九分五厘内外、全體黃白色ニシテ、少シク褐色ヲ帶ビ、前翅ノ中央ニ大ナル灰色紋アリ、又外緣ハ黑クシテ七八個ノ小黑點ヲ有ス、幼蟲ハ全體淡綠色ニシテ細長刺毛ヲ疎生シ、體長五六分ニ達ス、蛹ハ短大ニシテ黑褐色ヲ呈シ、四分内外ナリ

經過習性　年何回ノ發生ナルヤ未ダ明カナラザルモ、第一回ノ經過ヨリ推シテ年數回化生スルモノノ如シ

幼蟲ハ普通二三葉ヲ綴リ合セ内ニアリテ繩葉ノ先端ヲ食フ、老熟スレバ、其中ニ化蛹ス、成蟲ハ晝間ハ葉裏ニ靜止シ、夕刻ヨリ出デヽ葉面ニ一粒宛產卵ス、多クハ嫩葉ヲ選ブモ時ニ硬化セル葉ヲ侵ス

島内ニ於ケル被害物　柑橘

分布　臺灣

島内分布狀況　全島ニ產ス、稍ヤ南部ヨリ北部ニ多ク、平地ヨリ山地ニ近ヅクニ從ヒテ多シ、害大ナラズ

驅除豫防法

一、綴葉ノ上ヨリ摘ミテ潰殺スベシ

二、春季病害豫防トシテぼるどー液ヲ撒布スルニ當リ、該藥液内ニ亞砒酸劑ヲ混和シテ撒布スルヲ可トス

五一　おほあとときはまき

學名　Archips ingentana Christ.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera　葉捲蛾科　Tortricidae.

形態上ノ特徵　柑橘ヲ害スル葉捲蟲中最大ノモノナリ、幼蟲ハ細長ニシテ六七分ニ達シ、全體淡黃綠色、循板ハ淡褐、後絲濃黑ナリ、各體節ニハ數箇ノ疣狀突起アリテ各一本宛ノ白毛ヲ生ズ、蛹ハ褐色ニシテ四分五厘内外、成蟲ハ體長四分、開張一寸内外、帶褐紅黃色ニシテ背面黑色ヲ呈シ、前翅ハ帶紅黑褐色ニシテ數多ノ細波線ヲ横走シ微カニ雲狀紋ヲ現ハス後翅ノ前半ハ暗褐色ナリ

經過習性　年何回發生スルヤ未ダ明カナラズ

成蟲ハ日中葉間ニ靜止シ、夕刻ヨリ飛出シテ葉面ニ一二粒宛產卵ス、幼蟲ハ嫩葉ヲ好ミ、嫩葉ヲ纏合シ内ニアリテ食害ス、漸次移轉ス、絲ヲ張ルコト多シ、老熟スレバ薄繭ヲ營ミテ其内ニ化蛹ス

島内ニ於ケル被害物　柑橘、茶

分布　日本、支那、うっすりー、あむーる、印度

島内分布狀況　全島ニ產ス、北部ニ多ク柑橘ヨリハ茶樹ヲ好ミ、茶園ニテハ大害ヲ與フルコトアルモ、柑橘園ニアリテハ恐ルベキモノニアラズ

驅除豫防法

一、成蟲ハ燈火ニテ誘殺スルヲ可トス

二、幼蟲ハ被害葉ノ上ヨリ摘殺スベシ

三、幼蟲ノ發生多キ時ハ亞砒酸劑ヲ撒布スルヲ可トス

五二　たいわんしろはまき

學名　Oxygrapha formosana Shiraki.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目 Lepidoptera　葉捲蛾科 Tortricidae.

形態上ノ特徴　幼蟲ハ青綠色ニシテ小シク黃色ヲ帶ベリ、柑橘ニ寄生スル葉捲蟲中最小ナルモノニシテ充分長ズルモ四分ニ滿タズ、成蟲ハ**みかんのはまき**ニ酷似シテ小サク、全體灰白色ニシテ前翅ノ中央ニ三個ノ小黑點ヲ散在ス、體長二分五厘、開張五分內外ナリ

經過習性　年何回化生スルモノナルヤ未ダ明カナラズ

幼蟲時代ニノミ加害ス、成蟲ハ晝間ハ葉裏ニ蟄居シ夕刻ヨリ出テテ一粒宛葉面ニ產卵ス、孵化セルモノハ葉ノ一端ヲ折リ曲ゲテ內ニアリ、其ノ內面ヲ食フ、轉々居所ヲ變ジ、老熟スレバ其內ニ化蛹ス、多クハ嫩葉ヨリモ少シク硬化セルモノヲ嗜食ス

島內ニ於ケル被害物　柑橘

分布　臺灣

島內分布狀況　全島到ル所ニ產スルモ其害大ナラズ

驅除豫防法

一、被害葉ト共ニ摘除スルヲ可トス

二、ぼるどー合劑ヲ用ユル際亞砒酸劑ヲ加用スレバ効アリ

五三　わたのはまき

學名　Oxygrapha gossypiella Shiraki.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目 Lepidoptera　葉捲科 Tortricidae.

形態上ノ特徴　幼蟲ハ六七分ニ長ズ、青綠色ニシテ細長、褐色ノ二細條ヨリナル背線ヲ走ラス、其間白色ナリ、頭部又體ト同色、硬皮板ハ硬化セズ、普通ノ皮膚ト異ナルナシ、蛹ハ短大、成蟲ハ肥大短廣ニシテ灰黑或ハ暗褐色ニシテ前翅ノ前緣波狀ニ畦リ、中央ニ近クV狀紋アリ、體長一分六七厘、開張五分五厘內外

經過習性　年幾回化生スルモノナルヤ未ダ不明ナリ

項目＼世代	一代
化蛹	五月廿六日
羽化	六月三日

幼蟲時代ニノミ加害ス、柑橘ヨリハ樟ヲ好ム、柑橘ニアリテハ幼蟲ハ葉ノ表面ニ蜘蛛ノ如キ白色ノ細絲ヨリナル巢ヲ張リ其內ニ潛伏シ、晝夜ノ別ナク巢口部ヲ食フ、老熟スレバ、其內ニ化蛹ス、

樟ニアリテハ柑橘ニ於ケル如ク絲ヲ張ラズ、性敏捷ニシテ手ヲ觸ルレバ迅速ニ後退リシテ逃走ス、

成蟲ハ日中ハ翅ヲ半開ニ靜止シテ移動セズ、夕刻ヨリ活動シテ主ニ陰濕ノ場所ヲ選ビテ葉面ニ產卵ス

島内ニ於ケル被害物　柑橘、樟、棉

分布　臺灣

島内分布狀況　全島ニ產スルモ柑橘樹ニ取リテ恐ルベキモノニアラズ

驅除豫防法

一、被害葉ト共ニ摘去スベシ

二、打落採集法ヲ適用スルヲ可トス

三、ぼるどー合劑ヲ使用スル際亞砒酸劑ヲ加用スベシ

五四　さくらとびはまき

學名　Pandemis ribeana Hb.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera　葉捲蛾科　Tortricidae.

形態上ノ特徵　幼蟲ハ淡綠色ニシテ細長、頭部ハ黑褐色、體面ニ白色ノ短毛ヲ粗生ス、蛹ハ褐色ニシテ羽化ノ節繭外ニ蛻出スルヲ特徵トス、成蟲ハ體長二分五厘、開張七分內外、全體帶紅褐色ニシテ前翅稍ヤ濃厚、前緣ノ中央ニ近キ部分ヨリ後緣角ニ走ルモノト、外緣角ヲ掠メテ走ルモノトノ二斜帶アリ

經過習性　年幾回化生スルモノナルヤ未ダ明ナラズ

世代 / 項目	一代
老熟	六月七日
結繭	六月八日
化蛹	六月十日
羽化	六月廿二日

幼蟲時代ノミ加害ス、成蟲ハ晝間葉裏ニ靜止シ夕刻ヨリ飛ビ出デ、葉面ニ一二粒宛產卵ス、幼蟲ハ初メ葉ノ一部ヲ折合セ、內ニアリテ食害スレドモ長ズルニ從ヒ葉ト葉ヲ縫合シテ其內ニアリ、時々體ヲ出シテ葉緣ニ沿ヒテ食害ス、老熟スレバ薄繭ヲ營ミ內ニ化蛹ス、羽化スル時蛹殼ハ繭外ニ半バ以上出ヅルヲ特性トス

島内ニ於ケル被害物　柑橘、櫻、桃、茶樹

分布　日本、支那、印度、歐洲

島内分布狀況　全島ニ產スルモ其發生甚シカラズ、苗木ノ時ニハ被害稍々見ルベキモノアルモ長ズルニ從ヒ被害減少ス

驅除豫防法

一、成蟲ハ誘蛾燈ニテ誘殺スルヲ可トス

二、幼蟲ヲ被害葉ノ上ヨリ壓殺スルヲ可トス

三、被害甚シキ時ハ亞砒酸劑ヲ葉ニ撒布セバ効アリ

五五　おほみのが

學名　Clania variagata. Cram.

昆蟲學上ノ位置　鱗翅目 Lepidoptera.　避債蛾科 Psychidae.

形態上ノ特徵　幼蟲ハ黑褐色ニシテ肥大シ、胸脚ヨク發達シ腹脚ハ殆ト退化セリ、常ニ巢中ニ身ヲ隱シ本邦產中最大ノ種類ナリ、成蟲ハ雌雄其形ヲ異ニシ、雌ハ無翅無脚巢內ニアリ、全體灰黃色ニシテ肥大シ、少シク紡錐狀ヲナス、雄ハ翅肢共普通ニ發達シ、全體暗黑色ニシテ敏捷ニ飛翔ス、體狹長ニシテ體長五分、開張一寸內外アリ

經過習性　年二回發生シ幼蟲ノ狀態ニテ越年ス

雌ハ蛹殼內ニアリ、同殼內ニ、二千四五百ノ卵子ヲ產下ス、卵ハ鱗毛樣物ニテ包マル、孵化スレバ、幼蟲、巢外ニ出デ巢面ヲ傳ヒテ枝葉ニ移リ、生葉或ハ枯葉又ハ枯草塵芥等ヲ絹絲ニテ綴リ、袋狀ノ巢ヲ營ミ內ニ體ヲ隱シ胸脚ヲ出シテ步行ス、初メハ多ク葉ノ上面ニアリテ食スルモ長スルニ從ヒ葉裏ニ移リ、懸垂シテ網狀ニ食ス

島內ニ於ケル被害物　柑橘、相思樹、木藍、樹豆、木麻黃、佛桑華、くちなし、芭蕉、くずいも、菜豆、梨、桃、李、柿、葡萄、薔薇、珈琲、棉、蕃石榴、茶、龍眼、檬果、蓮霧、杉

分布　臺灣、濠洲

島內分布狀況　全島ニ產ス、其害モ亦尠カラザルモ柑橘樹ニハサシタル害ヲ與ヘズ

驅除豫防法

一、幼蟲捕殺ヲ可トス

二、亞砒酸劑ノ應用有効ナリ

五六　みかんいらが

學名　Nagoda nigricans Moore.

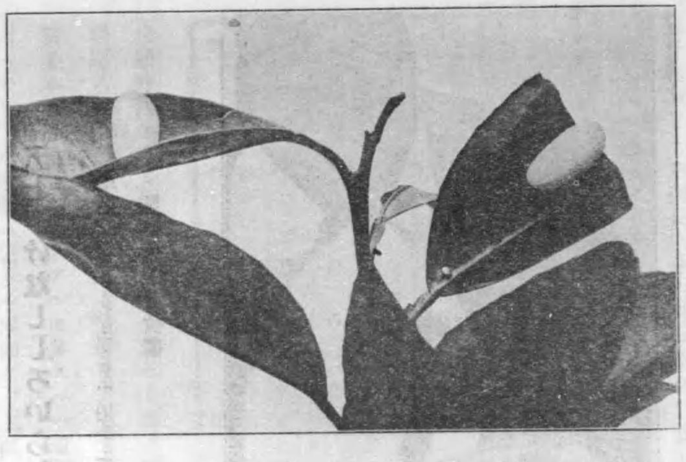
昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.　刺蛾科　Cochlidae.

形態上ノ特徴　楕圓形ニシテ全體青綠色、豐滿ニシテ各環節ノ分界全ク不明、背面ニ十二條ノ白色細波線ヲ縱走ス、無毛ニシテ滑澤ナリ、體長六分餘ニ及ブ、肢ハ退化シテ僅カニ痕跡ヲ止ムルノミ、成蟲ハ雌雄其色彩ヲ異ニス、雌ハ遙カニ大ニシテ全體白色、前翅面ニ黑褐色紋ヲ存シ、雄ハ全體黑色ニシテ前翅ノ中央ニ一個ノ小白點ヲ有ス、體長三—四分、開張七—九分

經過習性　年一回發生ス左表ノ如シ

世代＼項目	一代	世代＼項目	一代
孵化	十二月三日	老熟	三月廿七日
一回蛻皮	十二月十一日	結繭	三月三十日
二回蛻皮	十二月廿八日	羽化	十一月二十日
三回蛻皮	四十五年一月十四日	產卵	產卵セズシテ死セリ
四回蛻皮	二月七日		



成蟲ハ十一月頃ヨリ現ハル、葉面ニ點々產卵ス幼蟲ハ常ニ葉ノ上面ニアリ、葉緣ヨリ食害ス、四五月頃ニ至リテ老熟シ主ニ葉ト葉ノ間ニ薄膜ヲ張リテ縫合シ、內ニ膠質ヨリナル球狀ノ白繭ヲ營ミ十一月ニ入リテ化蛹スルモノヽ如シ成蟲ハ性敏活ニシテ、日中ハ葉裏ニ隱レ夕刻ヨリ出テヽ產卵ス

島內ニ於ケル被害物　柑橘、茶

分布　臺灣、錫蘭

島內分布狀況　僅カニ臺北ニテ採集シタルノミ、或ハ全島ニ產スベキモ今日迄他ニテ未ダ採集セズ茶樹ニアリテハ臺北桃園到ル所ニ多ク時ニ大發生ス

驅除豫防法

一、幼蟲ヲ捕殺スルヲ可トス

二、亞砒酸劑ニテ毒殺スルモ良シ

五七　けなししろいらむし

學名　Narasa nitobei Shiraki.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidaptera

刺蛾科　Cochlidae.

形態上ノ特徴　**みかんいらが**ト共ニ蛾蟲特有ノ毒毛ヲ缺キ、全體滑澤ニシテ暗白色、内ニ紅色ヲ帶ブモノアリ、中背及後腹背ニ淡黑色ノ斑紋ヲ現ハス、體ハ前方少シク狹マリ、中位頃迄漸次廣大シ夫ヨリ尾端ハ急ニ狹搾ス、背面ノ正中線隆起シ、側緣扁平ナルガ故ニ

宛ラ鞍狀ヲナシ體長六分内外ニ達ス、肢ハ全ク退化シテ僅カニ痕跡ヲ見ルノミ、成蟲ハ全體黄褐ノ鱗毛ニテ被ハレ黑色ノ鱗片ヲ混セリ、翅ノ周緣黑クシテ、黑線ヲ引ケルガ如シ、體長三分、開張八分内外

經過習性　年二回乃至三回發生スルモノヽ如シ左表ノ如シ

項目／世代	二代	一代	參考	備考
孵化	四十四年十一月一日	四十五年三月三十、日	四十五年十月八日	種々ノ方法ニヨリ試ミタルモ產卵セザリシガ故ニ柑橘園ヨリ毎回幼蟲ヲ採集シテ飼育セリ故ニ第三回ナルヤ否ヤノ判斷ニ苦シム
一回蛻皮	十二月十五日	四月七日	十月廿四日	
二回蛻皮	十二月廿八日	四月十三日	十一月五日	
三回蛻皮		四月廿日	十一月十三日	
四回蛻皮		四月廿七日		
老熟	四十五年一月十四日	五月六日	十二月八日	
結繭	一月十六日	五月九日	十二月十日	
羽化	三月十六日	九月二十八日		

幼蟲時代ニノミ加害ス、常ニ葉ノ上面ニアリ、葉緣ヨリ食フ、老熟スレバ葉間ニ粗ニ吐絲シ内ニ球狀ノ白繭ヲ營ム、成蟲ハ夕刻ヨリ出デヽ、葉面ニ一二粒宛點々產卵シテ、他株ニ移ル、幼蟲ハ一葉上ニ二頭位見ルコトアルモ多クハ一頭宛棲息シ、一枝上ニ一頭乃至三四頭ヲ見ル、初メ葉ノ表面ニアリ、不規則ニ舐ムルガ如ク、上面ヨリ食フモ長ズレバ葉緣ヨリス

島内ニ於ケル被害物　柑橘、茶

分布　臺灣

島内分布狀況　全島ニ產スルモ多カラズ

驅除豫防法

一、幼蟲及繭ハ手ニテ捕殺スルヲ可トス

二、亞砒酸劑ヲ以テ毒殺スルモ可ナリ

五八　おびいらが

學名　Orthocraspedatrima Moore.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.

刺蛾科　Cochlidae.

形態上ノ特徵　全體淡綠色

ニシテ刺毛ヲ疎生シ美麗ナリ、刺毛ニ觸ルレバ疼痛ヲ感ズ、形稍ヤ長方形ニシテ背面暗黑、體側及腹面ハ淡綠色、體長六分內外ニ達ス、成蟲ハ帶紅褐色ニシテ前翅面ニハ橫走セル帶狀紋ヲ有シ、後翅ハ無紋ニシテ前翅同樣外緣ニ三條ヨリナレルガ如キ細線ヲ走ラス體長三分五厘開張六分內外

經過習性　年三回發生スルモノヽ如シ左表ヲ參照スベシ

項目＼世代	一代	二代	三代	備考
孵化	二月十六日	八月十五日	十月二日	飼育シテ得タル成蟲ニ產卵セシムベク工夫セルモ目的ヲ達シ得ザリシカバ柑橘園ニテ卵又ハ幼蟲ヲ採集シテ繼續セリ故ニ不完全ナルモノナリト雖モ大體ヲ窺知スルヲ得ベキヲ信ズ
一回蛻皮	二月二十五日	八月二十三日	十月四日	
二回蛻皮	三月一日	八月二十八日	十月九日	
三回蛻皮	三月十日	九月四日	十月十四日	
四回蛻皮	三月十五日	九月十一日		
老熟	三月二十七日	九月十九日	十月十八日	
結繭	三月二十九日	九月二十一日	十月十九日	
羽化	四月二十日			

成蟲ハ一二粒宛點々產卵ス、幼蟲ハ葉ノ上面ニヨリ葉緣ニ沿フテ食フヽ、老熟スレバ葉ノ裏面又ハ葉ト葉ノ間ニ黑褐色ノ絲ヲ疎ラニ張リ、內ニ同色ノ絹絲ト護謨質物ヨリナル短楕圓形ノ硬キ繭ヲ營ミ、內ニ化蛹ス、楕普通蛹態ニテ越年シ、早春羽化ス

島内ニ於ケル被害物　柑橘

分布　臺灣

島内分布狀況　柑橘ニアリテハ年ニヨリ稍々多ク見ルコトアレドモ例年ハ稀レニ見ルノミ

驅除豫防法

一、春季病害豫防トシテ、ぼるどー合劑ノ撒布ニ際シ、亞砒酸劑ヲ加用スレバ毒殺スルヲ得ベシ

二、幼蟲、蛹等ヲ捕殺スルヲ可トス

五九　あかほしいらむし

學名　Susica taiwania, Shiraki.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera　刺蛾科　Cochlidae.

形態上ノ特徵　柑橘ヲ害スル**いらむし**中最大ノモノニシテ、全體鮮綠色ニシテ扁平楕圓、稍ヤ前後ノ兩端狹リ木葉狀ヲ呈ス、背線白ク其兩側ヲ走レル青綠色ノ線ニ依リテ分界セラル、該線ノ兩側ニ接シテ八對ノ小赤色點ヲ羅列ス、內五對目ノモノ特ニ大ニシテ明カナルガ故ニ名アリ、體側ニ位セル氣門モ亦赤色ナリ、體面ニハ戟蟲特有ノ毛ヲ有ス、體長七八分ニ達ス、成蟲ハ暗黑色ニシテ光澤アリ前翅ノ中央ニ近ク黑色ノ一細線ヲ斜走ス、體肥大開張一寸一分內外

經過習性　世代未ダ明カナラザルモ左表ニヨリテ推測スレバ年二三回ナルベシ

項目／世代	孵化	一回蛻皮	二回蛻皮	三回蛻皮	四回蛻皮	老熟	結繭	羽化
孵化	五月十三日	同	二十一日	同	二十七日	六月三日	同 十九日	七月八日	同 十日	八月十日

幼蟲ハ常ニ葉ノ上面ニ在リ、葉緣ニ沿ヒテ食害ス、老熟スレバ土中ニ入リテ黑色球狀ノ硬キ繭ヲ營ミテ化蛹ス、成蟲ハ夕刻ヨリ活動シ葉面ニ一二粒宛產卵スルモノヽ如ク未ダ曾テ一葉上ニ二頭ノ幼蟲アルヲ見タルコトナシ、又羽化スル際、蛹殼半以上繭外ニ出ヅルヲ常トス

島內ニ於ケル被害物　柑橘、相思樹

分布　臺灣

島內分布狀況　全島ニ產スルモ北部ニ多シ、柑橘園ニハ稀レニ見ルノミ

驅除豫防法

一、捕殺スルヲ可トス

二、亞砒酸劑ニテ毒殺スルヲ可トス

六〇　ふたすぢいらが

學名　Conia bilinea Wlk.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目 Lepidoptera　刺蛾科 Cochlidae.

形態上ノ特徴　幼蟲ハ**あかほしいらむし**ニ似テ少シク小形、且ツ扁平ナリ、又背面ニ赤色ノ小點ヲ有セズ、背線ハ白色ニシテ中央ニ桃紅色ノ細線ヲ走ラス成蟲ハ全體帶褐黄色ニシテ前翅面ノ中央ニ近ク二本ノ細線ヲ横走ス、故ニ名アリ體長四分、開張九分内外

經過習性　年二三回發生スルモノヽ如シ、大正二年飼育セル結果ハ左ノ如シ

世代 / 項目	孵化	一回蛻皮	二回蛻皮	三回蛻皮	四回蛻皮	老熟	結繭	羽化
孵化	三月二日	三月八日	三月十三日	三月十八日	三月二十五日	四月二日	四月四日	四月二十五日

幼蟲時代ノミ加害ス、成蟲ハ夕刻ヨリ活動シ葉面ニ一二粒宛點々産卵ス、幼蟲ハ常ニ葉ノ表面ニアリ初メハ葉表ノ上面ヨリ舐食スルモ長ズルニ及ベバ葉緣ヨリ食フ、老熟スレバ、葉裏ニアリテ絲ヲ張リ、折リテ曲グルカ又ハ葉ト葉ノ間ニ少シク絲ヲ張リテ内ニ短楕圓、白色ノ硬キ繭ヲ營ム

島内ニ於ケル被害物　柑橘

分布、臺灣、だるましや、しっきむ、まにぷーる、がんじゃむ、まらっか、印度、爪哇

島内分布狀況　全島ニ産スルモ甚ダ稀ナリ

驅除豫防法

一、幼蟲、繭等ヲ捕殺スルヲ可トス

二、亞砒酸劑ヲ應用スルヲ可トス

六一　はいぐろいらが

學名　Contheyla brunneus Shiraki.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目 Lepidoptera　刺蛾科 Cochlidae.

形態上ノ特徴、幼蟲ハ**あかほしいらむし**形ニシテ扁平、背線上ニ紫紅色ノ一肉突起アリ、其後方ニ二個ヨリナル赤色ノ紋ヲ有スルヲ特徴トス、他ハ青綠色ニシテ七分内外ニ達ス、成蟲ハ全體暗黑色ニシテ鱗片、粗糙、開張一寸内外

經過習性、年二回カ多クモ三回ヲ出デザルベシ、大正二年飼育ノ結果ヲ表出シテ參考トス

世代 / 項目	一代	二代	備考
孵化	大正二年十月二十八日		大正二月十月二十八日孵化當時ノ幼蟲ヲ採集シテ飼育ニ供シ來レルモ不幸ニシテ十一月下旬死セルガ故ニ、十一月下旬採
一回蛻皮	十一月六日		
二回蛻皮	十一月十三日		

三回蛻皮	十一月二十七日	十二月五日　集ノモノヲ以テ補充繼續セリ
四回蛻皮		十二月二十日
結繭		十二月三十一日
羽化		大正三年　四月五日

幼蟲時代ニノミ加害ス、成蟲ハ葉間ニ潛伏シ、夕刻ヨリ出動シ、葉面ニ一二粒宛卵子ヲ產附ス、幼蟲ハ初メ葉ノ表面ニアリ、舐食スレドモ少シク長ズレバ葉緣ニ沿フテ食ス、老熟スレバ土中ニ入リ光澤アリテ濕氣ヲ帶ベルガ如キ黑色ノ球狀ニ近キ繭ヲ營ミテ化蛹ス、羽化ノ際半以上蛹殼脫ケ出ヅルヲ常トス

島內ニ於ケル被害物　柑橘、**なんきんはぜ**

分布　臺灣

島內分布狀況　臺北附近ニテ採集セルモ、柑橘ヨリ**なんきんはぜ**ヲ嗜食ス

驅除豫防法

一、幼蟲、繭ヲ捕殺スルヲ可トス

二、亞砒酸劑ヲ應用スルヲ可トス

六二　あとばねいらが

學名　Thosea bicolor Shiraki.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera　　刺蛾科　Cochlidae.

形態上ノ特徵　幼蟲體長七分ニ達ス、全體黃綠色ニシテ美麗ナリ、體ノ周緣ニ十一對ノ肉突起ヲ有シ枝狀ノ毛ヲ叢生ス、內前緣ニアル二對ハ帶紫黑褐色ニシテ其間ノ緣邊モ亦同色ナリ、緣邊ニアル突起ハ後方ニ進ムニ從ヒ次第ニ長シ、體、**あかほしいらむし**ト同形ニシテ扁平、背部隆起シ頂面平カナリ、中央ニ大ナル帶紫暗褐色ノ一大紋アリ、其前方ニハ二個後方ニ二個ノ小ナル紋アリテ共ニ黃色ニテ緣ドラル、亞背線トモ思ハルル部分ニ九對ノ肉突起アリテ枝狀ニ毛ヲ粗生ス、其下方ニ九對ノ陷凹部アリテ帶紫暗褐色ヲナシ、其周緣黃色線ニテ緣ドラル、成蟲ハ帶褐黑色ニシテ光澤アリ、前翅ニ一橫線ト、一ツノ大ナル橫帶ヲ有ス、體長雄蟲ハ四分、開張七分內外

經過習性　左ノ飼育表ノ結果ニ依レバ年二三回ナルベシ

項目	孵化	一回蛻皮	二回蛻皮	三回蛻皮	四回蛻皮	老熟	結繭	羽化
世代	大正二年十一月十九日	十一月三十日	十二月十五日	十二月廿二日	大正三年一月十日	一月二十日	一月二十二日	四月八日

幼蟲時代ニノミ加害ス、成蟲ハ夕刻ヨリ活動シテ葉面ニ一二粒宛産卵シ幼蟲ハ初メ葉ノ表面ニアリテ舐食スルモ長スレバ葉先ヨリ漸次、中肋ヲモ共ニ食フ、老熟スレバ土中ニ入リテ光澤アル黑色球狀ノ硬キ繭ヲ營ミテ化蛹ス

島内ニ於ケル被害物　柑橘

分布　臺灣

島内分布狀況、今日迄僅カニ金包里ニテ採集シタルノミ、平地ヨリハ山地ニ棲息スルモノヽ如シ

驅除豫防法

一、幼蟲繭ヲ捕殺スベシ

二、亞砒酸劑ヲ應用スルヲ可トス

いらむし類幼蟲ノ區別法

一、體面ニ毛ヲ有セザルモノ

(イ) 楕圓形ニシテ肥大、全體青綠色ナルモノ……（**みかんいらが**）

(ロ) 西洋梨形ヲナシテ地色ハ白ク之ニ黑色ノ模樣アリ一見鳥糞ニ類ス（**けなししろいらむし**）

二、體面ニ毛ヲ有スルモノ

(a) 長方形ノモノ（普通ノ**いらむし**形）

背面黑ク他部青綠色ヲナス……（**おひいらが**）

(b) 楕圓形ナルモノ

(イ) 正中線隆起シ背線白ク其周緣青綠八對ノ紅點ヲ有ス……（**あかぼしいらむし**）

(ロ) 前種ニ酷似シテ扁平背線白ク中央ニ二條ノ細キ桃紅線ヲ走ラス…（**ふたすぢいらが**）

(ハ) 背上ニ紫紅色ノ一肉突起ト其後部ニ二赤色點ヲ有ス……（**はいぐろいらが**）

(ニ) 前種ニ酷似シ背面ニ一個ノ大ナル帶紫暗褐色ノ紋ヲ有ス……（**あとはねいらが**）

六三　たいわんごまだらこけが

學名　Miltochrista arcuata Moor.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.　燈蛾科　Arctiidae.

形態上ノ特徵　幼蟲ハ全體黃褐色ノ軟毛ヲ密生ス、體長五分内外ニ及ブ、成蟲ハ體長二分三厘、開張七分内外ニシテ全體、帶淡紅色ニシテ前翅稍ヤ濃ク、翅ノ中央ニ近ク黑色ノ橫線アリ、該橫線ヨリ内ニ六個外方ニ十七個ノ小黑點ヲ有ス

經過習性　年幾回發生スルヤ未ダ明カナラザルモ成蟲ハ六月中旬最モ多ク、初秋ノ候再ビ成蟲ヲ見

ルヲ以テ、年二回以上發生スルモノナルベシ

幼蟲時代ニノミ加害シ、幼蟲ハ常ニ葉ノ表面ニアリテ葉緣ニ沿ヒテ食フ、老熟スレバ葉ノ表面ニ疎繭ヲ營ミ、繭面ニ自己ノ體毛ヲ纏ヒテ内ニ化蛹ス、成蟲ハ日中飛出スルノ性アリ、能ク柑橘ノ花上ニ現ハルヽコトアリ

島内ニ於ケル被害物　柑橘

分布　臺灣、支那、錫蘭、印度

島内分布狀況　全島ニ產スルモ其數多カラズ、殊ニ柑橘園ニテハ稀レニ採集セラルヽノミ

驅除豫防法

一、打落採集法ニヨリテ幼蟲ヲ捕殺スベシ

二、成蟲時代ニ捕蟲網ニテ捕殺スベシ

三、亞砒酸劑ノ使用モ可ナリ

六四　まへあかひとり

學名　Amsacta lactinea Cram.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.　燈蛾科　Arctiidae.

形態上ノ特徵　幼蟲ハ三齡マデハ體色樺色又ハ淡褐ニシテ疣狀突起アリ、其上ニ黑色ノ長毛ヲ生ジ一見毒蛾ニ類スルモ、長ズルニ從ヒ全體長黑毛ヲ密生シ、體長一寸四五分ニ達ス、成長ハ全體、白色ニシテ前翅ノ前緣紅色ナリ、故ニ名アリ後翅ニ黑點ヲ有ス、體長六分五厘開張二寸內外

經過習性　年幾回發生スルモノナルヤ、未ダ明カナラザルモ野外ノ調査ニヨレバ三回ナルガ如シ

項目＼世代	一代	二代	備考
孵化	四十五年二月十七日	六月二十四日	明治四十五年二月十三日柑橘樹ニテ採集セル卵塊ヲ孵化セシメテ飼育シ來レルモノ九月九日ノ產卵ヲ終リテ斃死ス、卵子ハ無結ニシテ三回目ノ經過ヲ知ル能ハザリシモ幼蟲態ニテ越年スルガ故ニ年三回ト見ルヲ至當トセンカ
一回蛻皮	二月二十八日	六月二十九日	
二回蛻皮	三月十日	七月三日	
三回蛻皮	三月二十一日	七月十七日	
四回蛻皮	三月三十日	七月二十二日	
結繭	四月十三日	七月三十一日	
蛹化	四月十五日	八月一日	
羽化	五月二十九日	八月二十七日	
產卵	六月十一日	九月九日	

幼蟲ハ活潑ニシテヨク地上ヲ疾走シ、日夜ノ別ナク葉上ニアリテ食害ス、老熟スレバ土塊或ハ落葉間ニ粗糙ノ繭ヲ營ミ、中ニ化蛹ス、繭面ニハ自體ニ毛ヲ附着ス、成蟲ハ日中ハ葉間ニ潛伏シ夕刻ヨリ出デヽ產卵ス、卵子ハ普通葉上ニ四五十粒ヲ平ニ產卵ス、燈火ニ飛來スルノ性アリ、幼蟲

態ニテ越年ス

島内ニ於ケル被害物　柑橘、葱、胡瓜、玉蜀黍、胡麻、菜豆、棉

分布、日本、支那、印度

島内分布狀況　全島ニ產ス、發生多キモ大部分ハ寄生蟲類ノ爲メニ斃ルヽガ故ニ、大被害ヲ見ルコトナシ、殊ニ柑橘ニアリテ多カラズ

驅除豫防法

一、打落採集法ニヨリテ捕殺スベシ

二、燈火誘殺法ヲ適用スベシ

六五　はいいろひとり

學名　Creatonotus transiens Walk,

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera　燈蛾科　Arctiidae.

形態上ノ特徵　幼蟲、體長一寸二三分ニ達ス、圓筒狀ニシテ細長、全體暗黑色ニシテ各體節ニ橫列セル數個ノ疣狀突起ヲ有シ、各疣狀突起ヨリハ暗褐色ノ長毛ヲ疎生ス、背線橙黃色ニシテ太ク明

カナリ、成蟲ハ開張一寸五六分體長七分內外、胸背ハ桃色ヲ帶ベル淡白ノ軟毛ニテ被ハレ腹背ハ橙黃色ニシテ背線ノ部分ニ七個ノ黑點ヲ有シ、腹面ハ胸腹共ニ暗黑色ニシテ腹部ニ五條ノ黑點ヨリナル縱線アリ、翅ハ帶紅暗黑色ニシテ前翅ニ四個ノ小黑點ヲ有ス、

經過習性

項目＼世代	第一回 大正二年	第一回 大正三年飼育
孵化	三月十日	三月九日
一回蛻皮	三月十七日	三月十五日
二回蛻皮	三月二十三日	三月廿二日
三回蛻皮	三月三十日	三月廿八日
四回蛻皮	四月五日	四月二十日
老熟	五月一日	五月二日
結繭	五月二日	五月七日
化蛹	五月四日	五月十日
羽化	五月十五日	五月十六日

孵化當時ヨリ三齡迄ハ群棲スルノ性アリ、四齡ニ至レバ次第ニ離散ス、擬死ノ性アリ樹ヲ打ツカ手ヲ觸ルレバ轉落ス、老熟スレバ主ニ落葉內ニ絲ヲ張リテ、內ニ化蛹ス、成蟲ハ日中ハ葉間ニ靜止シ、夕刻ヨリ飛出シテ產卵ス、卵ハ多ク葉面ニ平ニ產附セラル、成蟲ハ慕火性ヲ有ス

島内ニ於ケル被害物　柑橘、桑

分布　臺灣、琉球、支那、印度

島内分布狀況　全島ニ產スルモ大發生ヲナセシコトナシ

驅除豫防法

一、打落採集法ヲ行フベシ

二、成蟲ニハ燈火誘殺法ヲ適用スルモ可ナリ

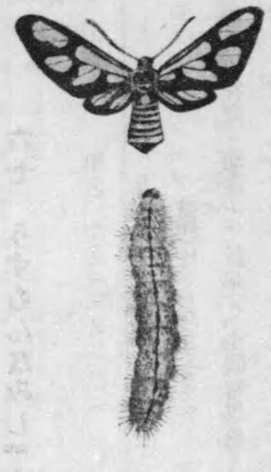
六六　みかんかのこが

學名　Syntomis sp.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera　鹿子蛾科　Syntomidae

形態上ノ特徵　成蟲ハ全體黑色ニシテ、顏面ト胸部ノ周緣ト前肢ノ腿節及腹ノ各環節トハ橙黃色ノ鱗毛ニテ掩ハレ、前翅ニハ五個、後翅ニハ二個ノ大ナル透明紋ヲ有ス、尾節濃黑ニシテ紺色ヲ現ハス、體長三分五厘、開張一寸五分內外、幼蟲ハ七八分ニ長ジ、體色暗褐色（蕃石榴ヲ食シテ生長セルモノハ黑褐色ナリ）ニシテ各節八個ノ大ナル疣狀突起アリ、各突起ヨリハ黃褐色ノ短毛ヲ放射



狀ニ叢生シ、頭ハ淡紅褐背線黑色ナリ、蛹ハ淡黃色ニシテ五分內外、頭部及尾節ノ腹面ハ橙黃、胸部ノ背面ニハ十數個、腹部ニハ背線ニ沿フテ九個、側緣ニ各八個、顏面及翅鞘面ヲ多クノ縱線（內中央ニアル二條ハ著シ）アリ腹節ニハ各三個宛（內尾節ニハ二個）ノ黑點ヲ有セリ

經過習性

項目＼世代	一代	二代	備考
產卵		四月五日	二月一日ヨリ飼育セルモノハ、幼蟲ヲ採集シテ第一回ノ蛻皮ヨリ觀測セルモノナリ、飼育セルモノヨリ出デタル成蟲ハ少數ニシテ產卵セシムルコト不可能ナリシガ故ニ成蟲ヲ捕ヘ來リテ產卵セシメタルモノニテ繼續セリ
孵化	大正二年二月一日	四月十九日	
一回蛻皮	二月十二日	四月廿六日	
二回蛻皮	二月廿七日	五月三日	
三回蛻皮	三月六日	五月十六日	
四回蛻皮	三月十四日	五月廿一日	
老熟	三月十七日	五月廿七日	
結繭	三月廿五日	六月八日	
化蛹	四月五日	六月廿日	
羽化		七月一日	

年幾回化生スルヤ不明ナルモ、右表ニヨリテ觀ルニ、一世代ヲ經過スルニ、二三ケ月間ヲ要スルガ故ニ、年多クモ四回ヲ出デザルベシ

島内ニ於ケル被害物　柑橘、蕃石榴

分布　臺灣

島内ニ於ケル發生狀況　全島到ル所ニ見ルモ柑橘園ニテハ稀ニ見ルノミ

驅除豫防法

一、幼蟲ハ打落採集法ニヨルヲ可トス

二、成蟲ハ捕蟲網ニテ捕殺スルヲ可トス

六七　うすもんなみしゃく

學名　Boarmia sp.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.　尺蠖蛾科　Geometridae.

形態上ノ特徴　幼蟲ハ二齡迄ハ、全體暗黑色ニシテ第四及第五、六、七ノ各環節ノ接合部白色ナリ、右ノ白線ハ氣門線ニ至リテ止マル第三齡後ハ帶綠黃褐色ニシテ微カニ白線ノ痕跡ヲ止メ、圓筒狀ニシテ細長、頭ハ半球狀ニシテ割合ニ大ナリ、體長一寸二三分ニ達ス

經過習性　年幾回發生スルモノナルヤ未ダ明カナラザルモ、明治四十四年ヨリ四十五年ニ亘リテ飼育セル結果ニヨレバ數回發生スルモノナルベシ、即チ左表ノ如シ

項目＼世代	一代	二代	三代	備考
一回蛻皮	十月二日	十二月二十一日		幼蟲ヲ採集シ來リテ飼育スルガ故ニ完全ナル期シ難シ殊ニ稀少ナルガ故ニ採集容易ナラズ
二回蛻皮	十月七日	一月三日		
三回蛻皮	十月十日	一月十二日		
四回蛻皮	十月十三日	一月廿五日	六月十三日	
老熟	十月廿八日	二月三日	六月十八日	
化蛹	十一月一日	二月九日	六月廿日	
羽化	十一月二十七日	三月十四日	七月一日	

幼蟲時代ノミ加害ス、成蟲ハ日中葉裏ニ潛伏シ、夕刻ヨリ出デ、葉ニ產卵スルモノヽ如シ、幼蟲ハ初メ葉緣ニアルモノ多キモ、三齡後ニ至レバ小枝上ニ移リテ靜止スルモノ多シ、靜止ノ狀態ハ體ヲ直立シ、腹脚ト尾脚ニテ支持シ、四十度位ノ角度ヲ保ツヽ手ヲ觸ルレバ頭ヲ內方トシ圓形ニ體ヲ彎曲ス、老熟スレバ土中ニ入リテ化蛹ス

島内ニ於ケル被害物　柑橘

分布　臺灣

島内分布狀況　臺北附近ニテ採集セルノミ、其數甚ダ少ク未ダ大發生ヲナシタルコトナシ

驅除豫防法

一、打落採集法ヲ適用スルヲ可トス

二、松脂合劑二十倍液ヲ撒布スルヲ可トス

六八　こよつめえだしやく

學名　Boarmia irrorata Brem et Grey.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.　尺蠖蛾科　Geometridae.

形態上ノ特徵　體圓筒狀ニシテ帶紅褐色、體面ニ黑色ノ小長斑ヲ散布シ、頭ハ頭頂ノ兩側角張リテ角狀ヲナシ、氣門ハ紅色ニシテ明カナリ、體長二寸一二分ニ達ス、成蟲ハ**くすえだしやく**ニ酷似シ少シク小形ナリ

經過習性　年幾回發生スルモノナルヤ未ダ明カナラザルモ、明治四十五年春季飼育ノ經過ヲ見ルニ年數回ノ發生ヲナスモノノ如シ

世代＼項目	
老熟	四月七日
化蛹	四月八日
羽化	四月十九日

幼蟲時代ニノミ加害ス、成蟲ハ日中葉間ニ靜止シ夕刻ヨリ出動ス、葉面ニ卵子ヲ產附シ時ニ燈火ニ迷ヒ來ルコトアリ、幼蟲ハ初メ葉上ニアルモ、間モナク枝條ニ移リ食ヲ求ムル時ノミ葉ニ移ル四五齡ニ達スレバ、日中ハ殆ンド食ヲ求ムルコトナク、枝上ニ**くすえだしやく**ノ如ク胸脚ト尾脚ニテ止マリ、第七ト第八環節ノ部分ヲ揚起シテ山形ニ體ヲ支持ス、老熟スレバ土中ニ入リテ化蛹ス

島内ニ於ケル被害物　柑橘、菜類、桑、棉

分布　臺灣

島内分布狀況　全島ニ產ス、柑橘樹ニテハ稀レニ見ルノミ

驅除豫防法

一、打落採集法ヲ適用スベシ

二、松脂合劑二十倍液ヲ撒布スルヲ可トス

六九　くすえだしやく

學名　Boarmia ocaciaria Boisd.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.

尺蠖蛾科　Geometridae.

形態上ノ特徴　幼蟲ハ細長ニシテ第三環節ト四節トノ間ニテ少シク折ル、體色多種ニシテ斑紋ヲ異ニスルガ故ニ左ニ二種ノ例ヲアグ、暗綠種ハ第五環節ノ背面ニ二個ノ疣狀突起アリ、第六節ノ背線上ニ一個ノ黑點アリ又第七節ノ背線上ニ彗星狀

ノ黑點ヨリナル紋アリ第十一節ノ背面ニハ二個ノ小白點ヲ有セリ、綠色種ハ背面ニ散粉セルガ如キ微小ノ黑點アリ、頭ハ割合ニ小サク淡褐色ニシテ黑褐ノ小點ヲ密布ス、第五節ノ背面ニ大ナル二個ノ疣狀突起アリ、又第五、六、七ノ三節ノ前緣ニ各一個宛ノ黑點アリ、內第七節ニアル黑點ノ後部一帶ハ黑クシテ大ナル斑紋ヲナス、又第三節ヨリ起リ第十二節ニ亘リテ背側ヲ走ル二條ノ白色細線アリ、該線ハ細クシテ、時々斷絕シ僅カニ五、六、八、九、十、十一ノ各節ニハ微小點トナリテ殘存ス、其他第十節ノ側面氣門ノ周圍ハ黃褐色ナルヲ特徴トス、體色ニハ其他黑褐色ナルモノ淡綠色ナルモノ、綠褐色ナルモノ等アリ、皮膚少シク硬化シテ粗糙ナリ體長一寸五六分ニ達ス、成蟲ハ白色ニシテ前翅ヨリ後翅ニ亘リ小黑點ヨリナル帶狀紋ヲ並走ス、翅ノ裏面ニハ各一個宛ノ黑點ヨリナル紋ヲ有セリ

經過習性　年幾回發生スルモノナルヤ未ダ明カナラザルモ、明治四十五年ヨリ大正二年ニ亘リ飼育セル結果ニ依レバ年數回發生スルモノナルベシ

世代 ＼ 項目		
三回蛻皮	十一月八日	三月八日
四回蛻皮	十一月十八日	三月十四日
老熟	十一月廿六日	三月廿八日
化蛹	十一月廿九月	三月三十日
羽化	十二月廿一日	四月八日

幼蟲時代ニノミ加害ス、成蟲ハ日中葉裏ニ潜伏シ夕刻ヨリ活動ヲ初ム、葉面ニ卵子ヲ產附ス、燈火ニ誘殺セラルヽコトアリ、幼蟲ハ常ニ新條ニ止マリ時々食ヲ攝ル、腹脚退化シテ僅カニ一對ヲ殘スノミ、腹脚ハ尾脚ト相接セリ、爲メニ歩行スルニ際シ胸脚ト尾脚トニテ運行スルガ如クナルガ故ニ著シク體ヲ屈伸ス、之レ尺蠖ノ名アル所以ナリ靜止スルトキハ胸脚ト尾脚トニテ體ヲ支持シ背ヲ彎曲シテ腹部ヲ空ニ浮カセリ老熟スレバ土中ニ入リテ化蛹ス

島内ニ於ケル被害物　柑橘

分布　臺灣、支那、爪哇、ぼるねを、濠洲、にゅーじいらんど、緬甸、錫蘭、印度、またがすかる亞弗利加

島内分布狀況　全島ニ產ス、柑橘園ニアリテハみかんこえだしやくニ亞ギテ多キモ未ダ柑橘ノ發育ヲ阻害スル程ノ發生ヲ見ズ

驅除豫防法

一、打落採集法ヲ適用スベシ

二、松脂合劑ヲ撒布スルヲ可トス

七〇　みかんえだしやく

學名　Boarmia sp.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.

尺蠖蛾科　Geometridae.

形態上ノ特徵　體長一寸六七分、圓筒狀ニシテ少シク扁平頭ハ割合ニ小ク、體ノ背面ト同樣ノ淡紅褐色ノ小斑點ヲ散在ス第一、二、三體節ノ背面ニ紅褐色ノ小點左右ニ一個宛有リ、第四節ニハ十二個ノ小白點ヨリナル横線ヲ有ス、第五、六、七、

八ノ各節背面ニ微カナル紅褐ノ小點左右一個宛ヲ有ス第五、六、七及第十一節ノ各背面ニハ小白點ヨリナル横線ヲ有ス、内背線ノ兩側ニアルモノ殊ニ明カナリ、又第四節ノ側面ニ微カニ黑斑ヲ現ハセリ、成蟲ハ體長四分、開張一寸内外、帶褐灰白色ニシテ、不規則ニ波狀線ヲ横走シ、翅ノ中央ニ一個宛黑褐色ノ圓キ紋アリ

經過習性　年四五回化生スルモノヽ如シ、明治四十五年ヨリ大正二年ニ亘リテ飼育セル結果ハ左表ノ如シ

項目＼世代	一代	二代	三代	五代	代(?)
孵化					
一回蛻皮		三月十一日	五月廿八日	十月九日	
二回蛻皮		三月十七日	六月二日	十月十七日	
三回蛻皮		三月廿一日	六月八日	十月廿五日	
四回蛻皮		三月廿五日	六月十二日	十一月二日	
老熟	二月二十五日	六月三十一日	六月十五日	十一月十日	
化蛹	二月廿八日	四月二日	六月十八日	十一月十七日	二月十七日
羽化	三月十二日	四月十三日	六月十九日	十一月廿日	三月七日
			六月廿七日	十二月九日	四月二日

成蟲ハ飼育箱内ニテ產卵セザルニ依リ、何レモ幼蟲ヲ採集シテ繼續セリ、右表ニヨレバ五月ト十月トノ間ニ一回アルガ如ク想像セラルヽモ、同ジ二月ニ發生スル蟲ノ蛹期ヲ見ルニ一ハ十二日一ハ三十日ヲ要セルヨリスレバ、外圍ノ狀態ニヨリ永キ間蛹態ニテ過スヤモ知レズ

幼蟲時代ニノミ加害ス、成蟲ハ日中葉間ニ潛伏シタ刻ヨリ出動シテ葉面ニ產卵ス、幼蟲ハ孵化スルヤ、思ヒ思ヒニ離散ス、主ニ葉緣上ニ靜止シ時々食ヲ攝取ス、全ク群居ノ性ナク老熟スレバ土中ニ入リテ化蛹ス

島内ニ於ケル被害物　柑橘

分布　臺灣

島内分布狀況　臺北ニテ採集シタルコトアルノミ、其數甚ダ少シ

驅除豫防法

一、打落採集法ヲ應用スルヲ可トス

二、松脂合劑二十倍液ヲ撒布スルヲ可トス

七一　みかんほそえだしゃく

學名　Boarmia sp.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.　尺蠖蛾科　Geometridae.

形態上ノ特徴　體著シク細ク赤褐色ニシテ、一寸五分ニ達ス、頭ハ割合ニ大ニシテ頭頂黑褐、顏面灰白色ナリ、淡黑色ノ背線ハ間々斷絶シ、亞背線ハ淡色ニシテ體ノ約後半部ハ明カナラズ、又體節ノ背面ニハ各四個宛ノ小黑點ヲ有セリ、成蟲ハ大ナル翅ヲ有シ全體灰白色ニシテ黑褐色ニ彩ラレ、前後翅共ニ外緣鋸齒狀ニ缺刻シ、翅ノ外觀枯葉ノ如シ開張一寸一分內外

經過習性　年幾回發生スルモノナルヤ未ダ明カナラズ

幼蟲ハ日中、一絲ヲ引キ腹脚ト尾脚ニテ支持シ、枝ト三十度計リノ角度ヲ保チ直立シテ靜止ス、其狀小枝ノ如シ、主ニ夕刻ヨリ食ヲ求ム、老熟スレバ枝ニ白毛ノ薄繭ヲ營ミ內ニ化蛹ス

島內ニ於ケル被害物　柑橘

分布　臺灣

島內分布狀況　臺北ニテ採集セルノミ、柑橘園ニハ甚ダ稀ナリ

驅除豫防法

一、打落採集法ヲ適用スルヲ可トス

二、松脂合劑二十倍液ヲ撒布スルヲ可トス

七二　みかんこえだしゃく

學名　Hypoxidra talaca Wlk.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.　尺蠖蛾科　Geometridae.

形態上ノ特徴　幼蟲ハ細長圓筒狀ニシテ全體、帶褐灰白色、淡黑ノ小點ヲ密布ス頭ハ扁平方形ニシテ顎頂部、紫褐色ヲ呈ス、體ノ各環節部ニ白色ノ小點ヲ並列シ、第十一節ノ背面ニ朱色ヲ呈セル二突起アリ、又第一及第四ヨリ第十一節ニ至ル九環節ノ兩側ニアル氣門ハ、第十一節上ニアル突起ト同色ニシテ明カナリ、體長二寸ニ達ス、成蟲ハ全體帶褐暗黑色ニシテ體ノ割合ニ大ナル翅ヲ有ス、翅ハ薄クシテ破レ易ク、前翅ヨリ後翅ニ亘リテ、中央ヲ橫走スル太キ暗黑帶アリ、又前翅ノ外緣角ノ部分、圓形ニ彎入シ、後翅ノ外緣ノ中央ハ突出シテ尾狀ヲナセリ

經過習性　年幾回發生スルモノナルヤ未ダ明カナラザルモ、大正元年及二年ニ飼育セル結果ヨリスレバ數回ノ發生ヲナスベシ

項目＼世代		
二回蛻皮	十月二十七日	二月二日

三回蛻皮	十一月二日
四回蛻皮	十一月十日
老熟	十一月十七日
化蛹	十一月二十日
羽化	十二月九日
	二月八日
	二月十七日
	三月三日
	三月七日
	四月二日

幼蟲時ノミ加害ス、成蟲ハ日中葉間ニ隱レ夕刻ヨリ出動ス、葉面ニ卵子ヲ產附ス、幼蟲ハ群居スルコトナク、初メハ主ニ葉上ニアレドモ、長ズルニ從ヒ小枝上ニ靜止シ、時々葉ニ移リ又ハ枝上ニアルマヽニテ葉ヲ食フ、老熟スレバ土中ニ入リテ化蛹ス

島內ニ於ケル被害物　柑橘、甘藷

分布　臺灣、錫蘭、印度、緬甸、爪哇、ぼるねを、せれべす、非律賓

島內分布狀況　柑橘ヲ害スル尺蠖中、最モ多ク全島到ル所ニ見ルモ、未ダ柑橘ニ大害ヲ與ヘタルコトナシ

驅除豫防法

一、打落採集法ヲ適用スベシ

二、松脂合劑二十倍液ヲ撒布スルヲ可トス

七三　あとのこばえだしゃく

學名　Luxiaria contigaria Wlk.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.　尺蠖蛾科　Geometridae.

形態上ノ特徵　幼蟲ハ一寸內外ニ長ズ、體圓筒形ニシテ稍ヤ肥ヘ帶綠灰白色ニシテ體形切翅類ノモノニ酷似ス、成蟲ハ帶紅褐色ニシテ後翅ハ稍ヤ淡ク、前翅ヨリ後翅ニ亘リテ二三條ノ細キ波狀線ヲ走ラス、前翅ノ中央ニ近ク前緣ヨリ後緣ニ亘リテ三個內外ノ白色點ヨリナル線ヲ有ス、後翅ノ外緣鋸齒狀ノ缺刻ヲ有スルガ故ニ**あとのこば**ノ名アリ、體長五分、開張一寸內外

經過習性　年何回發生スルモノナルヤ未ダ明カナラズ

幼蟲時代ニノミ加害ス、成蟲ハ日中、葉間ニ潛伏シ、夜間出動シテ葉面ニ卵子ヲ產附ス、幼蟲ハ群棲スルコトナク孵化スルヤ直チニ離散ス、初メハ葉上ニアレドモ長ズレバ葉緣、又ハ枝上ニ住ス、而シテ、其步行スル狀、尺蠖トシテハ屈伸著シカラズ、老熟スレバ枝上ニ粗繭ヲ營ミテ內ニ化蛹ス

島內ニ於ケル被害物　柑橘

分布　日本、すまとら、ぼるねを、錫蘭、印度

島内分布狀況　未ダ僅カニ臺北ニテ採集セラレタルノミ其害尠シ

驅除豫防法

一、打落採集法ヲ適用スベシ

二、松脂合劑二十倍液ヲ撒布スルヲ可トス

七四　みかんくちば

學名　Arcilasisa plagiata Wlk.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.　夜蛾科　Noctuidae.

形態上ノ特徴　幼蟲ハ體長一寸七八分ニ達ス、肥大ニシテ皮膚軟弱黑褐色ニシテ頭ハ橙黃色、背線ハ黑ク第一節ヨリ三節迄ト第十節以後ノモノヽミ明カニ見ユ、第四節ヨリ第六節ニ亘リ側面ニ鄙狀ノ黃白紋アリ、又、第十節ト第十一節ニ亘リテ、同樣ノ紋ヲ有ス、尙第十一節ハ背面隆起シ、尾角狀ヲ呈シ、其側面黃褐色ナリ、蛹ハ七八分肥大ニシテ中央膨大尾端ニ星狀ニ六刺ヲ有ス、成蟲ハ開張一寸八分、體長八分、胸部及前翅面ハ帶黃褐色ニシテ腹背及後翅ハ暗黑色ナリ、前翅ノ外緣ハ鋸齒狀ヲナシ七個ノ小黑點ヲ並列ス、又前緣角ヨリ後緣ニ向ヒテ大波狀ニ走ル細キ黃褐線アリ、又前緣ニ沿ヒ殆ンド中位ニ三角狀ヲナセル腎狀紋アリ、是レヲ挾ミテ前緣ヨリ後緣ニ亘ル黑色ノ小點ヨリナル點線アリ、翅ノ裏面ハ前後翅共殆ンド同色ニシテ外緣ニ沿ヒ前翅ニハ六個、後翅ニハ五個ノ小黑點ヲ有シ、尙、微細ノ黑斑ヲ散布ス

經過習性　年幾回化生スルヤ未ダ明カナラズ、大正二年飼育ノモノハ、五月七日化蛹シ、五月二十日ニ羽化セリ、

幼蟲ハ單棲性ニシテ常ニ葉緣ニ沿ヒテ靜止シ、嫩葉ヲ好ミテ貪食ス、是レニ觸ルレバ捲縮シテ擬死シ老熟スレバ土中ニ入リテ化蛹ス、成蟲ハ日中、葉間或ハ隱所ニ潛伏シ夕刻ヨリ飛出ス

島内ニ於ケル被害物　柑橘、葱、甘藍、まにら麻、萵苣、枝葉、茶樹

分布　臺灣、爪哇、ぼるねを、錫蘭、印度

島内分布狀況　全島ニ分布ス

驅除豫防法

一、打落採集法ヲ行フヲ可トス

二、松脂合劑二十倍液ヲ撒布スルヲ可トス

七五　みかんあしぶと

學名　Opliusa sp.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.　夜蛾科　Noctuidae.

形態ノ特徴　體長一寸五六分ニ達ス、地色帶黄白色ニシテ黑色ノ小圓點ヲ密布ス、第四節大ニシテ爲メニ側方ヨリ見ル時ハヘ字形ヲナス、頭ハ割合ニ小ニシテ淡綠色ヲ呈シ、背面ハ不明ナレ共連球狀ノ模樣アルガ故ニ背線ノ觀アリ、亞背線ノ下部ニ位スル位置ニ各節ニ一對宛ノ小黑點アリ、同黑點中第四節ニアルモノ最モ大ニシテ一見眼狀紋ノ如シ又第十一節ノ背面ニ角狀突起ヲ有シ尾脚ハ後方ニ伸出シテ尾狀ヲナス、蛹ハ黑褐色ニシテ白粉ヲ裝ヘルガ如キ色ヲ顯ハシ體長七分、成蟲ハ灰白色ニシテ翅先尖リ外緣ニ沿フニ一條ノ黑線アリ

經過習性　年幾回化生スルモノナルヤ未ダ明カナラズ

幼蟲ハ葉面ニアリ、葉緣ニ沿ヒテ靜止シ多クハ夕刻ヨリ食ヲ求メ、葉ノ先端ヨリ食ヒ食跡一直線ヲナス、老熟スレバ葉間ニ疎繭ヲ營ミ內ニ化蛹ス

島內ニ於ケル被害物　柑橘

分布　臺灣

島內分布狀況　今日迄ノ所、僅カニ臺北ニテ採集セラレタルノミ

驅除豫防法

一、幼蟲時代ニ打落採集法ニ依リテ驅除スベシ

二、幼蟲時代松脂合劑二十倍液ヲ撒布スルモ効アリ

七六　たばこが

學名　Heliothis obsoleta Fab.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.　夜蛾科　Noctuidae.

形態上ノ特徴　幼蟲ハ九分內外ニ達ス、頭及體共ニ鮮綠色ニシテ背線及亞背線ハ濃色ナリ、體ノ全面ニハ白キ微細ノ點ヨリナル縮緬狀ノ模樣アリ、各部ニ數個ノ微突起アリテ、各銀色ノ短毛ヲ生ジ、第十一節ノ半ヨリ折レテ狹窄シ、尾脚ハ細小ニシテ直立セリ、氣門下線ハ黃綠色ニシテ背腹ノ分界ヲナス、成蟲ハ灰白或ハ、黃褐色ニシテ前後兩翅ノ外緣ニ沿ヒテ太キ黑帶ヲ有ス

經過習性　年幾回發生スルモノナルヤ未ダ明カナラズ、大正二年飼育ノ結果ニ依レバ四月一日老熟

セルモノハ五月一日ニ羽化シ、十一月四日ニ老熟セルモノハ一月十二日ニ羽化セリ、幼蟲ハ單棲性ニシテ常ニ葉緣ニ沿ヒテ靜止シ、葉緣ニ沿フテ貪食ス、是レニ觸ルレバ捲縮シテ擬死シ、容易ニ動カズ、又稚時ハ晝夜ノ別ナク食ヲ求ムレドモ長ジテ四齡後ニ至レバ日中モ普通土中ニ入リテ潛伏ス、又老熟スレバ土中二三寸ノ深サニ入リテ化蛹ス

島内ニ於ケル被害物　柑橘、煙草、蕃茄、食用酸漿、棉、玉蜀黍

分布　日本支那ヲ初メ東洋、西洋諸國

島内分布狀況　全島ニ產ス、花蓮港、臺北附近特ニ多シ、柑橘ニテハ大害ヲナスコトナキモ酸漿、蕃茄、煙草等ハ甚ダシク侵サルヽコトアリ

驅除豫防方法

一、打落採集法ヲ行フベシ

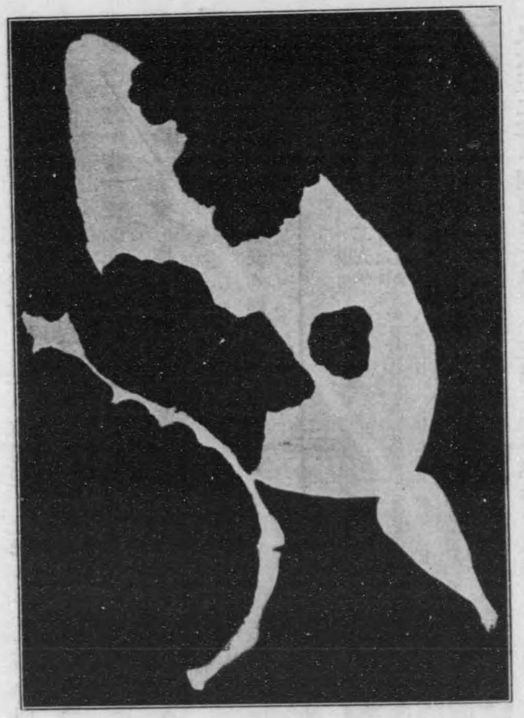
二、亞砒酸劑ヲ使用スルヲ可トス

七七　はすもんよたう

學名　Prodenia litura Fabr.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.　夜蛾科　Noctuidae.



形態上ノ特徵　幼蟲ハ淡綠色ニシテ各節ニ微ナル黑點ヲ散在シ、頭ト循板ハ黑ク又第四節ノ兩側背ニ稍大ナル黑點ヲ有ス、一回蛻皮スレバ、背線明カトナリ、體ノ彩色著シク複雜トナル、頭ハ紅褐ヲ呈シ第四節ハ全部黑色トナル等著シキ變化アリ、而シテ第二回ノ蛻皮ヲ終レバ地色、暗白色トナリ、色彩亦簡單トナル、第三回ノ蛻皮ヲナシ四齡トナレバ特有ノ色彩ヲ現ハスニ至ル、即チ地色帶綠暗黑ニシテ背線通リ亞背線ノ上ニ半月狀ノ黑斑ヲ併有シ內、第四ト第十一節ニアルモノ大ニシテ殆ンド圓形ヲナシ、又氣門

ノ上部ニ黑點ヲ有ス、五齡ノモノハ前同樣ノ色彩ニシテ唯ダ鮮明トナリ微細ノ色彩ヲモ見得ルニ至ル、充分長スレバ一寸三四分ニ達ス、成蟲ハ體長五分五厘、開張一寸一分內外、胸背及前翅面ニハ多ク黑斑ト紫色紋トヨリナル複雜ナル模形ヲ有シ、內前緣ヨリ後緣角ニ向ッテ走ル褐色ノ斜帶及ビ外緣ニ沿ヒテ橫ル帶紫暗白ノ帶條著シ、而シテ腹背ト後翅ニハナク唯紫色ノ光澤ヲ放ッノミ

經過習性

年八回發生ス即チ左表ノ如シ

項目＼世代		五代	六代	七代	八代	一代	二代	三代	四代
產卵	三十九年七月六日	七月廿三日	八月廿日	九月十九日	十一月一日	二月七日	三月廿六日	五月七日	六月十一日
孵化 幼蟲採集	七月六日	七月廿一日	八月廿四日	九月十三日	十月十八日	二月十三日	四月一日	五月十三日	六月十四日
化蛹	七月廿五日	八月十三日	九月九日	十月十日	四十年一月十六日	三月九日	四月廿三日	五月廿日	六月廿九日
羽化		八月十九日	九月十七日	十月廿六日	二月四日	三月廿二日	五月一日	六月九日	七月八日
世代日數	七月廿五日	二十九日	三十一日	四十四日	九十九日	四十八日	四十三日	二十六日	三十二日

又大正二年ニ飼育セルモノハ左表ノ如キ經過ヲ取レリ

項目＼世代	二代	三代	四代	五代	六代	七代	八代	一代
產卵 卵子採集	二月廿八日	四月廿四日	六月廿日	七月廿日	八月十六日	九月十七日	十一月二日	大正二年一月十五日
孵化	四月廿九日	六月廿四日	七月廿三日	八月十九日	九月廿日	十一月九日	一月廿五日	
一回蛻皮	三月八日	五月八日	六月廿七日	七月廿六日	八月廿五日	十月二日	十一月十三日	一月廿九日
二回蛻皮	三月十四日	五月十四日	六月三十日	七月廿九日	八月廿八日	十月五日	十一月十六日	二月四日
三回蛻皮	三月廿三日	五月廿日	七月三日	八月一日	八月廿一日	十月八日	十一月廿九日	二月十五日
四回蛻皮	三月廿七日	五月廿六日	七月五日	八月四日	九月三日	十月十三日	十一月廿九日	二月廿四日
老熟	四月一日	六月一日	七月九日	八月七日	九月八日	十月十六日	十二月八日	三月三日
化蛹	四月五日	六月三日	七月十日	八月八日	九月九日	十月十八日	十二月十二日	三月五日
羽化	四月廿一日	六月十六日	七月十八日	八月十四日	九月十五日	十月廿一日	一月六日	三月廿七日
世代日數	六十二日	五十八日	三十一日	二十八日	三十三日	四十七日	七十五日	七十六日

一雌ノ產卵數ハ五百粒內外ナリ、試ミニ一卵塊ヨリ孵化セルモノヲ、其儘飼育シ五齡ニ及ビテ生存蟲數ヲ調ベタルニ四百三十五頭アリタリ、又變態ノ觀察ハ多數ノ變化セル日ヲ記入セルガ故ニ、一二日ノ伸縮ハ免カレズ

幼蟲ハ群棲ヲ好ミ、稚時ハ主ニ葉ノ裏面ニアリテ上面ノ表皮ヲ殘シテ斑ニ食シ、長ズルニ及ビ葉緣ニ沿フテ食フ、蟲ニ觸ルレバ捲縮、擬死シテ轉落ス老熟スレバ土中ニ入リテ蛹化ス、成蟲ハ稀ニ燈火ニ來ル晝間ハ葉間ニ、潛伏シ夕刻ヨリ飛出シテ幼蟲ノ食スル植物ノ莖葉上ニ卵子ヲ平ニ產附シ其上ヲ黃褐色ノ體毛ニテ被覆ス

島內ニ於ケル被害物　柑橘、葱、菜類、里芋、蓮、瓜類、甘藷、薄荷、桑、田菁

分布　日本、支那、印度、濠洲

島內分布狀況　全島ニ產ス、時々大發生ヲナシテ、大害ヲ與フ、柑橘ニテハ恐ルベキモノニアラズ

驅除豫防法

一、打落採集法ヲ可トス

二、明溝遮斷法ヲ適用スベシ

七八　たいわんきどくが

學名　Porthesia taiwania Shiraki.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.　毒蛾科　Lymantriidae.

形態上ノ特徴　體圓筒狀第四、五ノ環節少シク肥大シ、背面ニ黑色ノ毛塊ヲ有シテ隆起スルガ故ニ側面ヨリ觀レバヘ字狀ヲナセリ背線ハ紅色ニシテ其兩側黃褐ナリ、各體節ニ黑色ノ短キ集毛ヲ有シ美麗ナリ體長九分內外ニ達ス成蟲ハ全體黃色ノ鱗片ヲ被ムリ、體長二分五六厘開張七分五厘內外

經過習性　年六回內外發生スルモノヽ如シ、明治四十四年及大正三年ニ飼育セル結果ヲ表示スレバ左ノ如シ

項目＼世代	一代	二代	三代	四代	五代	六代	備考
產卵	二月三日	四月九日	六月廿二日			十一月八日	羽化後四五日以內

項目＼世代	一代	二代	備考
產卵	二月廿三日	四月十七日	產卵當時ノ卵ヲ採集シ來リテ試驗ニ供シ二代繼續セルモ二代目ノ產メル卵子無精卵ナリシ爲メ失敗ニ歸セリ
孵化	三月三日	四月二十一日	
一回蛻皮	三月八日	四月廿三日	
二回蛻皮	三月十三日	四月廿六日	
三回蛻皮	三月十八日	四月三十日	
四回蛻皮	三月廿三日	五月十日	
老熟	三月廿八日	五月二十四日	
化蛹	四月三日	六月二日	
羽化	四月十二日	六月十日	
世代日數	五十四日	六十日	

右ハ四十四年飼育ノモノニシテ左表ハ大正三年飼育ノモノナリ

項目＼世代	一代	二代	三代	四代	五代	六代	備考
孵化	二月十五日	四月十六日	六月廿七日	八月十九日	十月十一日	十一月十五日	二ニ普通產卵シ終リ
一回蛻皮	二月廿三日	四月廿四日	七月一日	八月廿四日	十月十八日	十一月十五日	產卵後四五日ニテ
二回蛻皮	二月廿八日	五月四日	七月四日	八月三十日	十月廿五日	十一月廿九日	斃死スルヲ普通トス、表中三代迄連
三回蛻皮	三月五日	五月十二日	七月九日	九月三日	十一月一日	十一月六日	繼四代後ニ幼蟲ヲ
四回蛻皮	三月十一日	五月廿日	七月十七日	九月四日	十一月三日	十二月七日	トリテ繼續セリ
老熟	三月十九日	五月廿五日	七月廿二日	九月六日	十一月七日	十二月十九日	
結繭	三月廿一日	五月廿六日	七月廿四日	九月十日	十一月廿日	十二月廿四日	
化蛹	三月廿三日	五月廿九日	七月廿七日				
羽化	三月廿九日	六月五日	八月一日				
世代日數	六十五日	六十八日	五十一日			一月十日 七十四日	

幼蟲時代ニノミ加害ス、成蟲ハ日中葉裏ニ靜止シ、手ヲ觸ルヽモ容易ニ飛ビ去ラズ、時ニ肢ヲ縮メテ落ツルコトアリ、夕刻ニ至レバ元氣一變シ能ク飛翔ス、雌雄相求ムレバ、葉裏ニ產卵シ黃褐色ノ尾毛ニテ被包ス、數粒乃至數十粒ヲ一塊トナシ、一雌ニテ二三塊ニ分產ス、產卵シ終レバ元氣俄カニ衰退シテ飛翔力スラ失フ、燈火ニ迷ヒ來ルノ性アリ、幼蟲ハ孵化當時ハ暫ク群居スルモ漸次離散シ三齡後ニ至レバ全ク群棲性ヲ認ムルコト能ハズ、孵化當時ハ葉面ニアリテ舐食スルモ長ズルニ從ヒ葉緣ニ沿フテ食フ、又花及幼果ヲ好ム性アリ、老熟スレバ葉、又ハ枝上ニ毛ヲ混ジテ暗褐色ノ薄繭ヲ營ミ內ニ化蛹ス

島內ニ於ケル被害物　柑橘、胡瓜、菜類、刀豆、山梔、枇杷、棉、梭、桑、相思樹、茶樹

分布　臺灣

島內分布狀況　全島ニ產シ、毒蛾中最モ普通ニ見ル種類ナリ、大發生ヲナスコトアルベキモ、寄生蟲ノ爲メニ斃ルヽモノ多ク、未ダ大害ヲ與ヘタルヲ聞カズ、然シ其數尠少ナラザレバ年々被ムル損害ハ蓋シ大ナラン

驅除豫防法

一、打落採集驅除ヲ行フベシ

二、卵子ノ附著セル葉ヲ除去スベシ

三、誘蛾燈ヲ適用スルヲ可トス

四、松脂合劑二十倍液ヲ撒布スルヲ可トス

七九　はぐろきどくが

學名　Porthesia formosana Shiraki.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目 Lepidoptera.　毒蛾科 Lymantridae.

形態上ノ特徵　幼蟲ハ**たいわんきどくが**ニ近酷ス、一見其別種ナルヲ判ジ難キ程ナルモ頭部割合ニ大ニシテ黑色ナルト背線黃色ニシテ**たいわんきどくが**ノ如ク赤線ヲ有セザルト第四環節ノ背面、稍ヤ腫起シ黑色ノ集毛ヲ有シ、且ツ、**きどくが**ノ如ク各環節ノ背側ニ有スル二個宛ノ疣狀突起明カナラザルノ差アリ、體長一寸二分內外、成蟲ハ形貌**たいわんきどくが**ニ等シ、唯前翅ハ黑色ニシテ、前緣ト外緣ハ濃黃色ヲナシ腹部ノ背面ハ黑シ

經過習性　年數回發生スルモノナルベシ

項目＼年代	明治四十五年	大正二年	備考
一回蛻皮		三月十七日	幼蟲ヲ採集シテ飼育セルモ

二回蛻皮	七月一日	三月廿八日	
三回蛻皮	七月四日	四月七日	
四回蛻皮	七月八日	四月十二日	
老熟	二月廿七日	七月十九日	四月十七日	ノナリ、該蟲ノ採集ハ困難ナルガ故ニ完全ナル飼育ヲナスコト不可能ナリ
結繭	二月廿八日	七月廿日	四月十八日	
化蛹	三月五日	七月廿五日	四月廿四日	
羽化	三月廿二日	八月五日	四月廿九日	

成蟲ハ日中葉ノ裏面ニ靜止シ、夕刻ヨリ飛出シテ主ニ葉ノ表面ニ塊狀ニ卵子ヲ產附ス、尾毛ヲ以テ其上ヲ覆フ、幼蟲ハ群棲ヲ好マズ、孵化後、數日ニシテ離散ヲ初ム、幼蟲ハ常ニ葉ノ上面ニアリ葉緣ニ沿フテ食害シ、是レニ觸ルレバ馳リテ逃避スルモ少シク急ナレバ轉落、擬死シ暫時ニシテ直チニ走去スルノ性アリ、老熟スレバ葉間ニ毛ヲ混ゼル暗褐色ノ薄繭ヲ營ミテ內ニ化蛹ス

島內ニ於ケル被害物　柑橘、**なんきんはぜ**

分布　臺灣

島內分布狀況　明治四十五年三月新竹廳下大湖ニ於テ、初メテ三頭採集サレタルモノニシテ其後臺北ニテ稀レニ見ルノミ、一體ニ山地ニ多キモノヽ如シ

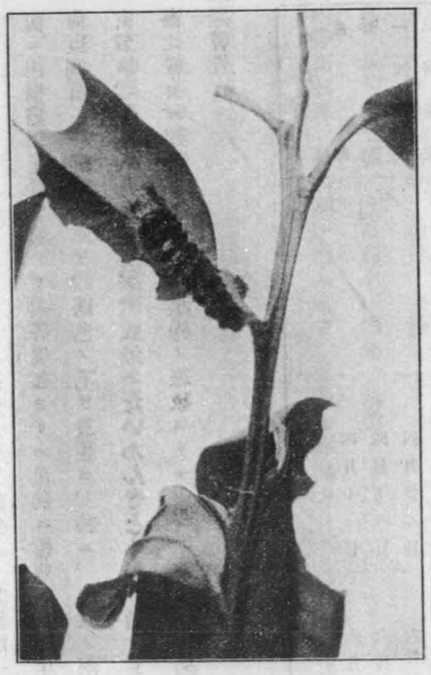
驅除豫防法

一、松脂合劑二十倍液ヲ撒布スルヲ可トス

二、誘蛾燈ヲ用ヒテ成蟲ヲ誘殺スルヲ可トス　三、幼蟲ハ打落採集法ニ據リテ驅除スルモ可ナリ

四、卵子ノ附着セル葉ヲ除去スルモ可ナリ

八〇　ほしきどくが



學名　Euproctis flavinata Wlk.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.

毒蛾科　Lymantridae.

形態上ノ特徵　幼蟲ハ形**たいわんきどくが**ニ類シ全體黑色ニシテ頭部ト胸背ニアル各疣狀突起ニ有スル毛ハ褐色ナリ體ノ第一節ヨリ第十二節ニ亘リ各側ニ並列セル疣狀突起中、第一節ニアルモノハ大ニシテ

黑色毛ヲ放生シ其他ノモノヨリハ褐色ノ毛ヲ放生ス、其他第一節ヨリ第十二節ニ至ル各環節ノ背面ニ四個宛ノ疣狀突起アリ、各突起ヨリハ星狀ニ短刺毛ヲ放生ス內胸節ニアルモノハ明カナラズ尙腹側面ニ一縱列アリテ、同色ノ毛ヲ放生ス、特ニ、四五ノ兩節背面ニハ黃褐色ノ短カキ軟毛ヲ密着ス、體長八九分ニ及ブ、成蟲ハ**たいわんきどくが**ト殆ンド同形同色ヨク混同スルモ仔細ニ觀察比較セバ翅面ハ微カナル黑褐ノ斑紋ヨリナルコトト腹部ニ黑色ノ鱗片ヲ有セザルノ差アリ

經過習性

項目／世代	一代	二代	三代	備考
產卵		四月十一日	六月十五日	幼蟲ヲ採集シ、少數ノモノニテ試驗セルガ爲メニ繼續シ能ハザリキ
孵化		四月十八日	六月二十日	
一回蛻皮		四月廿二日	六月二十四日	
二回蛻皮		四月廿八日	六月廿七日	
三回蛻皮		五月四日	七月一日	
四回蛻皮		五月九日	七月三日	
老熟	三月二日		七月六日	
結繭	三月三日		七月七日	
化蛹	三月八日		七月八日	
羽化	三月廿八日		七月十五日	
世代日數			四十一日	

右表ニ依ル時ハ年數回發生スルモノナルベシ

成蟲ハ日中葉裏ニ靜止シ夕刻ヨリ出動ス、主ニ葉ノ表面ニ塊狀ニ卵子ヲ產附シ尾毛ニテ蔽フ、幼蟲ハ群棲ヲ好マズ孵化後二三日ニシテ離散ス、常ニ葉ノ上面ニアリテ食害ス、是レニ觸ルレバ擬死シテ容易ニ動カズ、老熟スレバ葉間或ハ、枝幹ノ裂ケタル部分ニ、好ミテ結繭ス、繭ハ淡黑色ニシテ體毛ヲ混ゼリ

島內ニ於ケル被害物　柑橘、茶樹

分布　臺灣、支那、ぼるねを、緬甸、錫蘭、印度

島內分布狀況　島內到ル所ニ產シ、其數モ亦尠カラズト雄モ寄生蜂ノ爲メニ斃サルヽモノ多ク爲メニ未ダ大發生ヲナセルヲ聞カズ

驅除豫防法

一、成蟲ハ誘蛾燈ニテ誘殺スルヲ可トス

二、幼蟲ハ打落採集法ヲ適用スルヲ可トス

三、松脂合劑二十倍液ヲ撒布スルコトヲ可トス

四、採卵驅除ヲ行フヲ可トス

八一　だんだらきどくが

學名　Euproctis unipunctapex, Shiraki.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.　毒蛾科　Lymantridae.

形態上ノ特徴　幼蟲ハ九分内外ニ達ス、全體黑色ニシテ第四節ヨリ第十一節ニ至ル八節ノ背面ニ四個宛ノ疣狀突起アリテ、其上ニ黑褐色ノ短毛ヲ密生シ、其周緣白色線ニテ區劃セラル、又體側ヲ走ル白色線上ニ尾節ニハ四個他各節ニハ一個宛ノ小ナル疣狀突起アリ、各突起上ヨリ白色ノ長毛ヲ放生セリ、又第二三ノ兩節背面ニハ數條ノ白線ヲ横走ス、成蟲ハ形貌**たいわんきどくが**ニ似テ少シク大、全體淡黄色ニシテ前翅面ハ淡黑ノ斑紋ニテ彩ラレ外緣角ニ一個ノ小黑點アリ、後翅ハ中央淡黑色ヲ呈セリ、開張一寸一分、蛹ハ長サ四分五厘、腹部ハ八節ヨリナリ、第四節迄ハ僅カニ背面ノミ現ハレ、各節ニ四個宛ノ小突起ヲ有セリ、又第五ヨリ第七ニ至ル各節ニハ十個、第八節ニハ四個ノ小突起アリテ、各々暗褐色ノ短毛ヲ粗生セリ、全體褐色第五節以下ノ部分ハ色淡シ翅鞘ハ第四節ノ節端ニ終ル

經過習性　明治四十五年及大正二年ノ飼育結果ニヨレバ年數回發生スルモノナルベシ

項目＼世代	一代	二代	三代	備考
孵化			四月十八日	該蟲ハ甚ダ稀レニシテ採集容易ナラズ何レモ幼蟲ヲ採集シ來リテ經過ヲ調査セルモノ其數一二頭宛ニ過ギザルガ故ニ滿足ナル成績ヲ出シ能ハザリキ
一回蛻皮			四月二十五日	
二回蛻皮			四月二十八日	
三回蛻皮			五月七日	
四回蛻皮	二月四日	四月九日	五月十五日	
老熟	二月十三日	四月十五日	五月二十二日	
結繭	二月十五日	五月二十三日		
化蛹	二月廿一日	五月二十八日		
羽化	三月十九日	五月八日	六月十三日	

幼蟲時代ニノミ加害ス、成蟲ハ日中葉裏ニ潜伏シ夕刻ヨリ出動ス、葉面ニ塊狀ヲナシテ產卵スルモノヽ如ク思ハルヽモ未ダ見タルコトナシ、幼蟲ハ孵化當時ハ暫ク群居スルモ漸次離散スルモノノ如ク、三齡後ノ幼蟲ハ一葉上ニ二頭ヲ見ルコト稀ナリ、性**はぐろきどくが**ノ如ク敏捷ナラザルモ手ヲ觸ルレバ走リテ逃グ、老熟スレバ葉又ハ枝上ニ毛ヲ混ゼル薄繭ヲ營ミテ化蛹ス

島内ニ於ケル被害物　柑橘、**おほばぐ**、茄子

分布　臺北

島内分布狀況　甚ダ稀レニ採集セラルヽノミ、今日迄大發生ヲナセルコトナシ

驅除豫防法

一、幼蟲ハ打落採集驅除法ヲ適用スルヲ可トス

二、幼蟲ニ松脂合劑ヲ撒布スレバ効アリ

三、採卵驅除ヲナスモ可ナリ

八二　こしろもんどくが

學名　Orgyia postica Wlk.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.　毒蛾科　Lymantridae.

形態上ノ特徴　幼蟲ハ細長圓筒狀ニシテ、頭部紅褐色ヲナシ體ノ第一環節ノ前緣ヨリ角狀ニ長毛ヲ外方ニ突出ス、第四、五、六節ノ背面ニ淡黃色ノ直立セル集毛アリ、第一ト二ノ間及第二ト三ノ間ハ黑色ナリ、又第十一節ノ背面ニハ尾角狀ニ長毛ヲ直生シ、又尾節ニハ、後方ニ向ヒテ長毛ヲ叢生セリ、尙體ノ周邊ヨリ長毛ヲ叢生シテ美麗ナリ、體長一寸二三分ニ長ズ、成蟲ハ雌雄其形ヲ異ニシ雄ハ帶褐黑色ニシテ翅面ニ雲狀ノ紋ヲ有シ、完全ナル翅ヲ有スルモ雌ノ翅ハ退化シテ僅カニ痕跡ヲ止メ、全體帶黃灰色ニシテ殆ンド橢圓形ヲナセリ、體長雌ハ五分內外

經過習性　年六七回發生スルモノノ如シ、明治三十八年及四十四年ノ飼育表左ノ如シ

項目＼世代	一代	二代	三代	四代	五代	六代	七代
產卵		四月六日	五月廿九日	七月三日	九月八日	十一月四日	十一月廿五日
孵化	二月二十五日	四月十六日	六月四日	七月十日	九月十七日	十一月六日	一月十三日
一回蛻皮	三月四日	四月二十二日	六月八日	七月十七日	九月二十五日	十一月十三日	一月二十日
二回蛻皮	三月九日	四月二十七日	六月十一日	七月二十四日	十月二日	十一月十八日	一月二十八日
三回蛻皮	三月十五日	五月一日	六月十四日	八月二日	十月十日	十一月廿六日	二月三日
四回蛻皮	三月二十四日	五月五日	六月十九日	八月十日	十月十七日	十二月五日	二月十一日
老熟	三月二十九日	五月九日	六月二十五日	八月十七日	十月二十四日	十二月十日	二月十九日
結繭	三月三十日	五月十日	六月二十六日	八月十九日	十月二十五日	十二月十一日	二月二十一日
化蛹	四月一日	五月十三日	六月二十八日	八月二十一日	十月二十六日	十二月十二日	二月二十二日
羽化	四月五日	五月十八日	七月二日	八月二十七日	十一月二日	十二月廿一日	三月二日
世代日數	五十六日	四十八日	四十日	六十一日	六十一日	五十三日	七十三日

世代	產卵	孵化	結繭	羽化	世代日數
一世紀	三十八年十二月三十日	三十九年一月十一日	三月七日	三月二十一日	八十二日
二世紀	三月二十四日	四月四日	四月二十五日	五月四日	四十二日
三世紀	五月七月	五月十六日	六月九日	六月十八日	四十三日
四世紀	六月二十日	六月二十七日	七月二十二日	八月二日	四十四日
五世紀	八月四日	八月十二日	九月九日	九月十九日	四十七日
六世紀	九月二十四日	十月四日	十月三十日	十一月十一日	四十九日

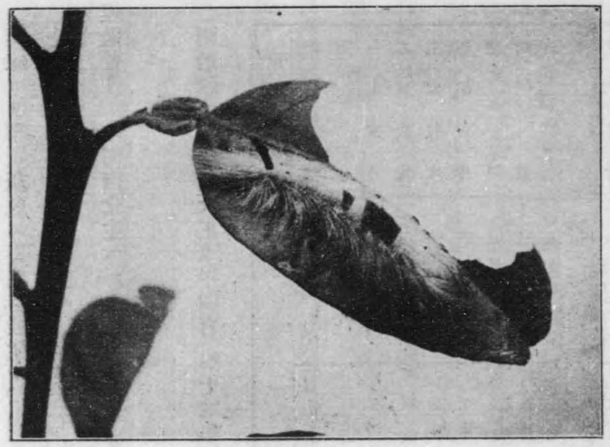
幼蟲時代ニノミ加害ス、幼蟲ハ初メ群棲スルモ長ズルニ從ヒ離散ス、擧動不活潑ニシテ常ニ葉上

ニアリ、老熟スレバ葉間及樹幹又ハ太キ枝面ニ毛ヲ混ゼル淡褐色ノ薄繭ヲ營ミ内ニ化蛹ス、雌蟲ハ全ク飛翔力ナク繭上ニアリ、雄ノ來ルヲ待チ受精セバ繭面ニ卵子ヲ平ニ產附ス一雌ノ產卵數七百四十八粒ヲ算セリ

島内ニ於ケル被害物　柑橘、桃、梨、枇杷、葡萄、薔薇、茶、桑、棉、檬果、相思樹、榕樹

分布　日本、支那、にゆーぎにや、ぼるねを、緬甸、印度

島内分布狀況　全島ニ產ス、時ニ大發生ヲナスモ寄生蟲ノ爲メニ斃死スルモノ著シク、爲メニ農作物ニ大害ヲ加フルニ到ラザルモ、**たんわんきどくが**ニ亞ギテ多キガ故ニ、其害ヲ計量シタランニハ、恐ルベキ數ニ達スルヤモ知レズ



驅除豫防法

一、打落採集驅除ヲ適用スベシ

二、捕殺スベシ殊ニ繭及卵ハ採集容易ニシテ其効多シ

三、幼蟲ニ松脂合劑二十倍液ヲ撒布セバ効アリ

八三　ももどくが

學名　Orgyia viridescene Wlk.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.

毒蛾科　Lymantridae.

形態上ノ特徵　圓筒狀ニシテ細長少シク扁平ナリ、地色白クシテ第四、五、六、七環節ノ背面ヨリ淡黃褐色ノ叢毛ヲ直生ス第一第二及第二第三ノ叢毛間ハ黑色ナリ第一環節ノ前緣ヨリハ角狀ニ先端總

狀ヲナセル黑白ノ長毛ヲ發シ第十一節ノ背面ヨリハ上方ニ向ヒ尾角狀ニ長毛ヲ生ゼリ、尾節ニハ周緣ヨリ帶黃灰色ノ長毛ヲ放生シ、內ニ黑毛ヲ混ズ、體長二寸內外ニ達ス、成蟲ハ體長五六分開張一寸七分內外、灰褐色ニシテ黑色ノ不規則斑紋ヲ散在ス前肢ノ腿節著シク太シ

經過習性　年何回化生スルモノナルヤ未ダ明カナラザルモ左ノ飼育表ニ依レバ數回發生スルモノナルベシ

明治四十四年及大正二年飼育（四十四年飼育ノモノハ繼續セルモノナリ）成績

項目／世代	一代	二代	三代	二代	三代
產卵		四月七日	六月九日		
孵化		四月十九日	六月十八日		
一回蛻皮		四月二十七日	六月二十五日	大正二年	五月八日
二回蛻皮		五月三日	七月二日	四月廿六日	五月十五日
三回蛻皮	明治四十四年	五月十一日	七月八日	五月一日	五月二十二日
四回蛻皮	三月五日	五月二十日	七月十七日	五月四日	五月三十日
老熟	三月十五日	五月二十七日	七月二十八日	五月八日	六月八日
結繭	三月十七日	五月二十八日	七月三十日	五月九日	六月九日
蛹化	三月二十日	五月三十日	八月五日	五月十三日	六月十二日
羽化	四月三日	六月五日	八月十二日	五月十九日	六月十八日
世代日數		六十四日	七十日		

幼蟲時ノミ加害ス、成蟲ハ日中葉間ニ蟄シ、夕刻ヨリ出動ス、卵子ハ葉面ニ平ニ產附ス、一卵塊ハ二三百粒ヨリナル、幼蟲ハ初メ群居スルモ間モナク離散ス、常ニ葉面ニアリテ葉緣ニ沿フテ喰フ性敏捷ニシテ、ヨク走ル、常ニ移動シテ、一所ニ永ク存在スルコトナシ、老熟スレバ葉間ニ白色ノ粗繭ヲ營ム、繭面ニハ自體ノ毛ヲ附着ス、該毛ハ幼蟲時代ノモノト同樣皮膚ニ觸ルレバ直チニ刺サリテ疼痛ヲ感ゼシム

島內ニ於ケル被害物　柑橘、桃、桑

分布　臺灣、錫蘭

島內分布狀況　全島ニ產スルモ多カラズ

驅除豫防法

一、打落採集驅除ヲ行フベシ

二、捕殺スベシ

三、松脂合劑二十倍液ヲ撒布セバ効アリ

四、採卵驅除ヲ行フベシ

八四　みかんどくが

學名　Dasychira mendosa Hubu.

昆蟲學上ノ位置　毒蛾科 Lymantridae.　鱗翅目 Lepidoptera.

形態上ノ特徴　幼蟲ハ圓筒狀ニシテ暗黑色ヲ呈シ各節ニ赤色ノ疣狀突起ヲ有シ該突起ヨリハ白毛ヲ星狀ニ放生ス、第一節ノ前緣兩側ヨリ黑色ノ集毛ヲ角狀ニ突出シ第四、五、六、七ノ四環節ノ背面ヨリハ黃褐色ノ直立セル集毛ヲ生ズ、又第四節ノ側面ヨリハ白毛ノ集毛ヲ

放セリ、第五節ノ側面ニハ黑色ノ總狀集毛ヲ有シ、又第十一節ノ背面ニハ尾角狀ニ集毛ヲ放出セリ、體長一寸五分內外ニ及ブ、成蟲ハ**ももどくが**ニ酷似シ、少シク大ニシテ腹及後翅ハ暗黑色ナリ、雄ハ前翅ノ基部ニ近ク、圓紋ヲ有シ、又前緣ニ沿フテ一二個ヲ併有スルモノアリ、後翅及腹部ハ黃褐色ナリ

經過習性　明治四十五年ノ飼育調査ニヨレバ年六回ノ發生ヲナスモノヽ如シ

項目＼世代	一代	二代	三代	四代	五代	備考
產卵	二月十日	四月五日	五月二十二日	六月二十五日		第一代ヨリ四代迄繼續五代ノモノハ幼蟲ヲ採集シ來リテ觀察セルモノナリ
孵化	二月十五日	四月十六日	五月二十九日	六月二十九日		
一回蛻皮	二月二十一日	四月二十一日	六月三日	七月七日		
二回蛻皮	二月二十二日	四月二十四日	六月五日	七月十一日		
三回蛻皮	二月二十七日	四月二十九日	六月八日	七月十五日		
四回蛻皮	三月五日	五月四日	六月十一日	七月十九日		
老熟	三月八日	五月十四日	六月十九日	七月二十三日	十月二十五日	
結繭	三月九日	五月十五日	六月二十日	七月二十五日	十月二十六日	
化蛹	三月十三日	五月十六日	六月二十一日	七月二十七日	十月二十九日	
羽化	四月四日	五月二十日	六月二十四日	八月一日	十一月二日	
世代日數	六十九日	四十八日	三十五日	四十二日		

成蟲ハ日中葉裏ニ靜止シ、夕刻ヨリ飛出シ、葉ノ表面ニ五百七十四粒內外ヲ平ニ產附ス、卵子ハ球狀ニシテ淡黃滑澤ナリ、幼蟲ハ二齡迄ハ群棲スルモ三齡ニ至レバ次第ニ離散ス、是レニ觸ルレ

バ靜止シテ動カズ(三齡前ハ逃走スルノ性アリ)常ニ葉面ニアリア、緣ニ沿フテ食ヒ老熟スレバ葉間ニ毛ヲ混ゼル淡黑ノ粗繭ヲ營ミ内ニ化蛹ス

島内ニ於ケル被害物　柑橘、枝葉、**まつばうど**、相思樹、桑、蘆竹、菜豆、茶樹

分布　臺灣、瓜哇、緬甸、錫蘭、印度、濠洲

島内分布狀況　明治四十四年十二月初メテ本場内ニテ採集サレタルモノニシテ四十五年ニハ可成リノ發生アリタリ、而シテ例年ハ殆ンド見ルコトナシ

驅除豫防法

一、幼蟲ハ打落採集法ニテ驅除スベシ

二、採卵又ハ三齡前幼蟲ヲ捕殺スルヲ可トス

三、松脂合劑二十倍液ヲ撒布スルモ可ナリ

毒蛾ノ幼蟲區別法

一、角狀毛ヲ有セザルモノ(**きんけむし、どくが**形)

(a) 背線ヲ有スルモノ

(イ) 黃色ノ背線内ニ紅色ノ一縱線ヲ有スルモノ……(**たいわんきどくが**)

(ロ) 黃色ノ背線ヲ有シ前種ヨリ大ナルモノ……(**はいぐろきどくが**)

(b) 背線ヲ有セザルモノ

(イ) 黑色ニシテ黃褐ノ横線ト同色ノ短毛ヲ叢生スルモノ……(**ほしきどくが**)

(ロ) 黑色ニシテ白色ノ横線ト體側ヨリ白色ノ長毛ヲ生ズルモノ……(**だんだらきどくが**)

二、角狀毛ヲ有スルモノ(**つのけむし**形)

(a) 背線ヲ認メ得ザルモノ

(イ) 一見黃褐色ニシテ背面ニ二横黑帶アルモノ……(**こしろもんどくが**)

(ロ) 全體白色ニシテ背面ニ二横黑帶アルモノ……(**ももどくが**)

(b) 背線ヲ認メ得ラルルモノ

全體黑色ニシテ紅點ヲ有シ體側ニ黑色ノ總狀毛ヲ有スルモノ……(**みかんどくが**)

八五　あげは

學名　Papilio xuthus Linn.

昆蟲學上ノ位置

鱗翅目　Lepidoptera.　鳳蝶科　Papilionidae.

形態上ノ特徵　幼蟲ハ四齡迄ハ黑色シニテ白斑ヲ混ジ鳥糞ニ類スルモ五齡トナレバ、全體淡綠色ト

ナリ、鮮麗第二、三ノ兩環節膨大シ、第三節ノ後緣ニ近ク褐色ノ帶紋アリテ、其兩端ニ眼狀紋アリ後緣ハ藍黑色ヲ呈ス、第六、七環節ニ亘リテ斜走スル細キ黃白線及第七節ヨリ八節ニ亘レルモノト第十一節ノ後緣ヲ廻ル白色ノ斜線アリ、體長一寸五六分ニ達ス、成蟲ハ黑色ニシテ黃斑ニテ色彩セラレ、後翅ニ翅尾ヲ有シ美麗ナリ、體長七八分、開張二寸八分內外

經過習性　年五回內外ノ發生ヲナスモノノ如シ

項目＼世代	一代	二代	三代	四代	五代
產卵	三月二十七日	五月二日	六月十九日	八月三日	九月十九日
孵化	三月三十日	五月十五日	六月二十七日	八月六日	九月二十三日
一回蛻皮	四月四日	五月十九日	七月一日	八月九日	九月二十五日
二回蛻皮	四月八日	五月二十一日	七月三日	八月十一日	九月二十八日
三回蛻皮	四月十三日	五月二十三日	七月五日	八月十四日	十月一日
四回蛻皮	四月二十二日	五月二十六日	七月十三日	八月二十日	十月五日
老熟	四月二十九日	五月二十九日	七月十五日	八月二十一日	十月七日
化蛹	四月二十四日	五月三十日	七月二十日	八月三十日	十月二十三日
羽化	五月一日	六月八日	七月三十九日	四十二日	四十九日
世代日數	四十八日	四十五日			

附言　各代共卵及幼蟲ヲ採集シ來リテ繼續セリ、世代日數ノ計算ハ卵期一週間、羽化ヨリ產卵スル迄ノ間ヲ一週日ト假定セリ

幼蟲時代ニノミ加害ス、成蟲ハ雌雄共ニ花蜜ヲ求メテ生活ス、壽命約三週間トセラルルモ未ダ確メズ、夕刻藪中ニ入リ翅ヲ背上ニ合セ懸垂ノ狀態ニ靜止ス、翌朝七八時頃ヨリ出動ス、飛翔ノ際上下シ波狀ニ進行ス、雌雄相求メ產期到レバ主ニ嫩葉ノ裏面ニ一粒宛產附ス、當時炎暑甚シケレバ特ニ內方ノ葉ヲ求メテ產卵ス一卵ヲ產スルニ數分ヲ要ス、卵子ハ球狀ニシテ淡綠護謨質物ニテ葉ニ粘着ス、少シク强ク手ヲ觸ルレバ離脫ス幼蟲ハ卵殼ヲ喰ヒ破リテ出ヅ、暫時ニシテ葉緣ニ進ミ食ヲトル充分喰ヘバ葉ノ上面ニ靜止ス飽食シテハ休息スルコト老熟スル迄相同ジ、全ク單獨性ナルモ性遲鈍ニシテ移動スルコト甚ダ少ケレバ一枝上ニ多クノ產卵アリタル場合宛然群居セルノ觀アリ、然シテ該蟲ニ手ヲ觸ルレバ體ノ第一節ノ前端ヨリ叉狀ノ臭角ヲ出シテ惡臭ヲ放ツ、長ズルニ